
鹿野まちづくり計画に関するアンケート 集計結果 完全版

8 属性（中学生／40代以下／60代以下／70代以上 × 男女）別分析

回答総数 322件（うち属性が特定できた有効回答317件）

回答者内訳：中学生男性39・中学生女性28・40代以下男性31・40代以下女性50・60代以下男性49・60代以下女性45・70代以上男性36・70代以上女性39

Q1～Q3 回答者の属性（集落・年齢・性別）

有効回答317件の居住集落・年齢・性別の内訳と、本資料で用いる8分類

Q1 集落別			
勝谷地区	68	立町	9
殿町	35	鬼入道	8
大工町	27	紺屋町	8
法楽寺	26	小鷲河地区	8
鍛冶町	20	鹿野町外	7
山根町	16	広木	7
水谷	15	南川	6
上町	14	小畑	5
閑野	12	ひまわり団地	4
下町	10	不明	4
新町	10	二ツ家	2

Q2 年齢別 / Q3 性別			
中学生（7～9年生）	68	女性	162
20代	3	男性	155
30代	36	中性	1
40代	42		
50代	39		
60代	55		
70代	60		
80代	10		
90代以上	8		

本資料の8分類（年代4区分×男女）			
中学生男性	39人	60代以下男性	49人
中学生女性	28人	60代以下女性	45人
40代以下男性	31人	70代以上男性	36人
40代以下女性	50人	70代以上女性	39人
※中学生＝7～9年生／40代以下＝20～40代／60代以下＝50～60代／70代以上＝70代以上。性別無回答等は集計対象外。			

Q1～Q3 回答者の属性 分析と今後の方向性

この設問の結果から読み取れることと、今後取り組んでいくべき方向性

結果から読み取れること

有効回答は317件。中学生67件、40代以下81件、60代以下94件、70代以上75件と、四つの年代区分がほぼ均衡し、世代間の比較に耐える構成になっている。

男性155件・女性162件とほぼ同数で、性別による見え方の違いを安定して読み取ることができる。

集落別では勝谷地区が最多で、殿町・大工町・法楽寺などが続く。回答が一桁にとどまるところもある。

中学生が全体の約2割を占めることは、10年後の担い手世代の意識を直接聞けている点で本調査の大きな強み。

今後取り組んでいくべき方向性

回答数を増やすために、より設問を少なくしたり、自治会長に回収の声掛けをしていただくなどする工夫が必要。

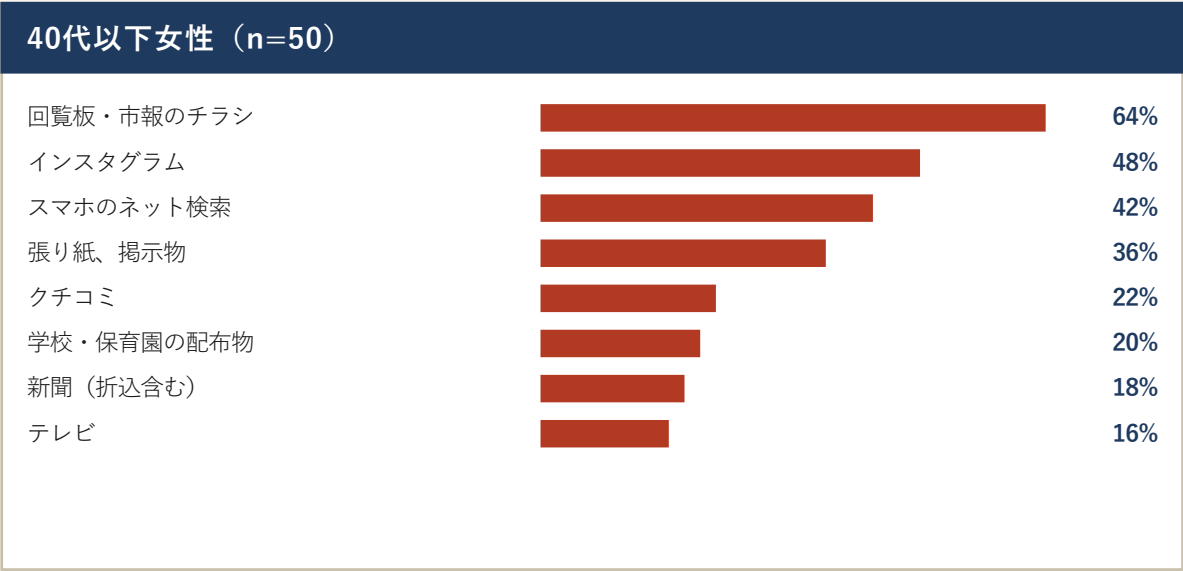
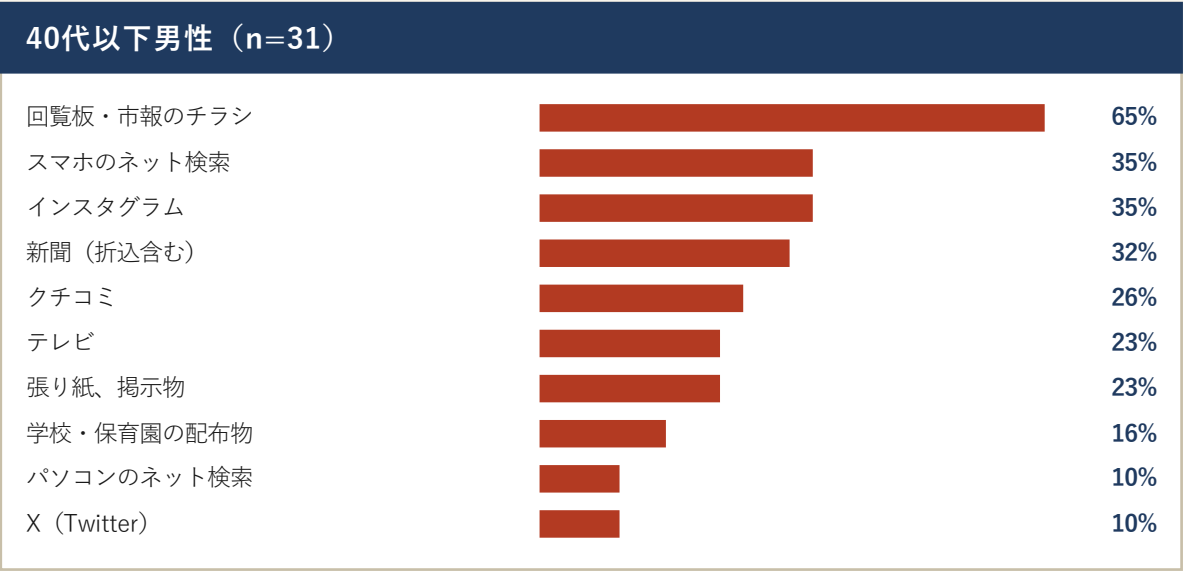
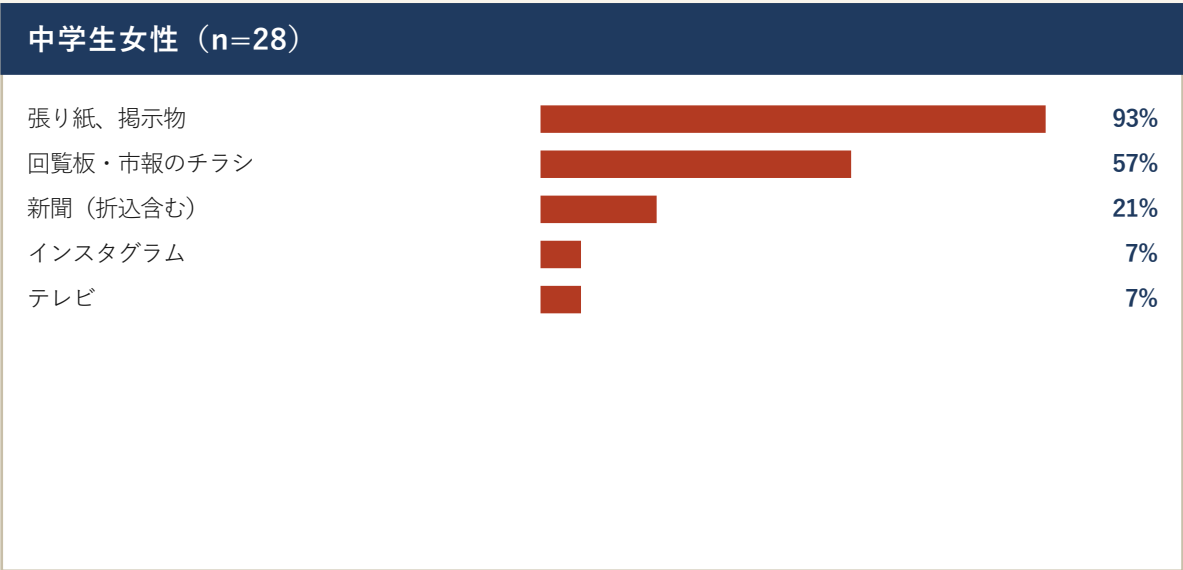
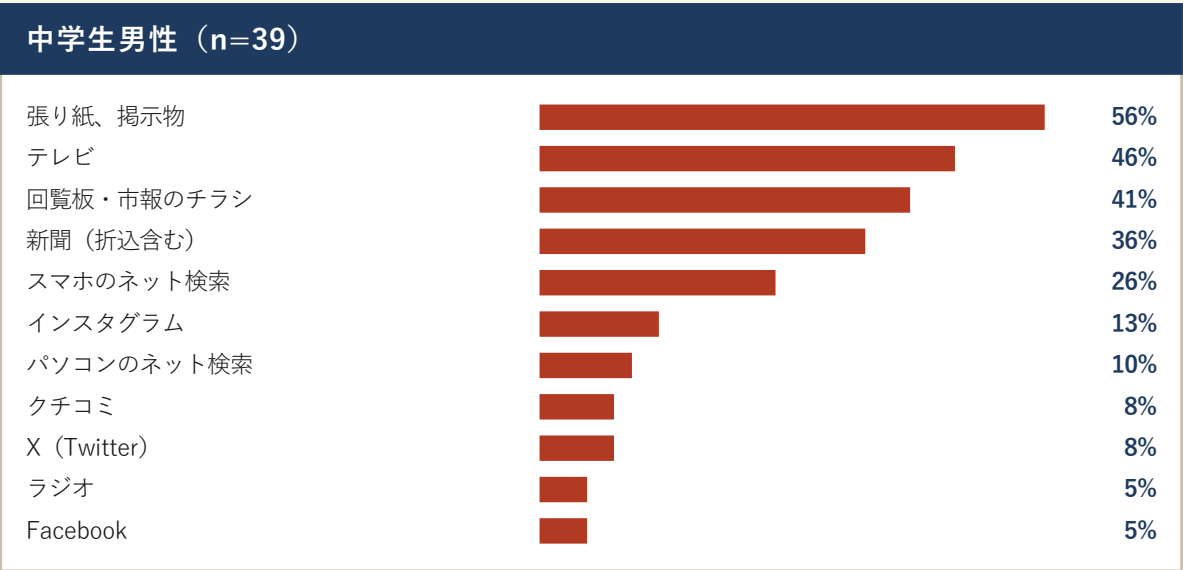
8分類のクロス集計を計画の基礎資料として常用し、施策ごとに「誰の声か」を明示する。

中学生の回答は継続的に取得できる仕組み（学校との連携）を制度化し、経年で変化を追う。

次回調査では未回答項目を減らすため、設問様式と回答導線を見直す。

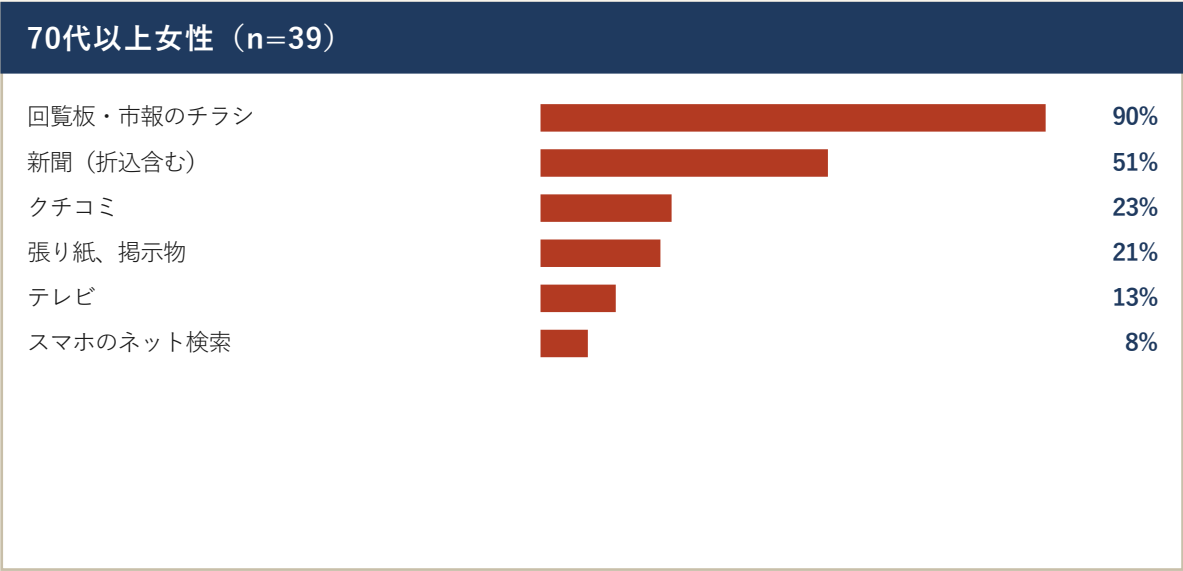
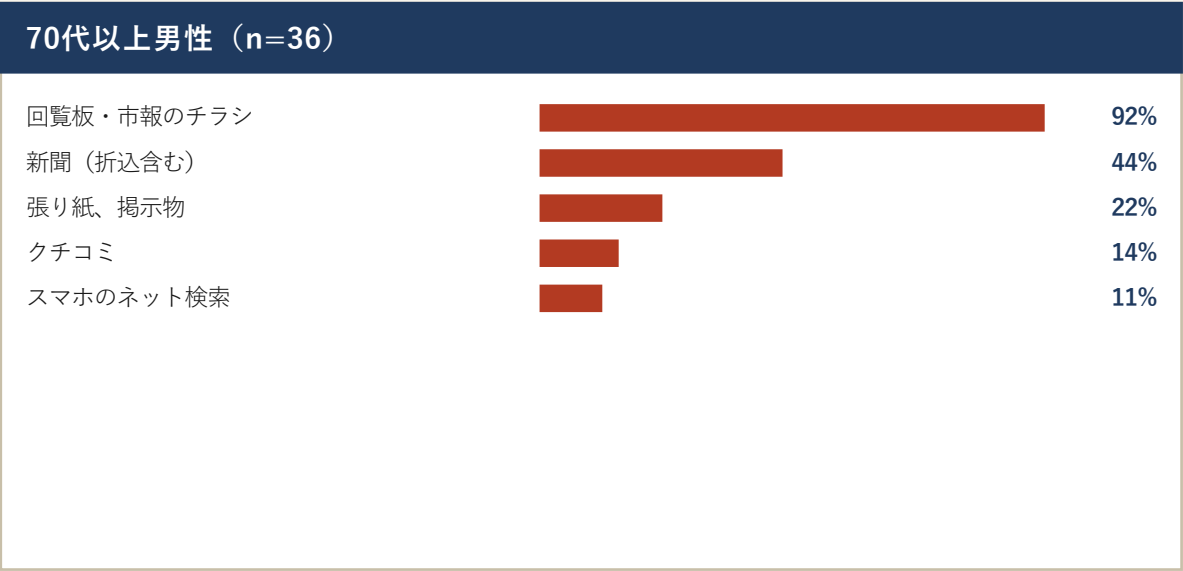
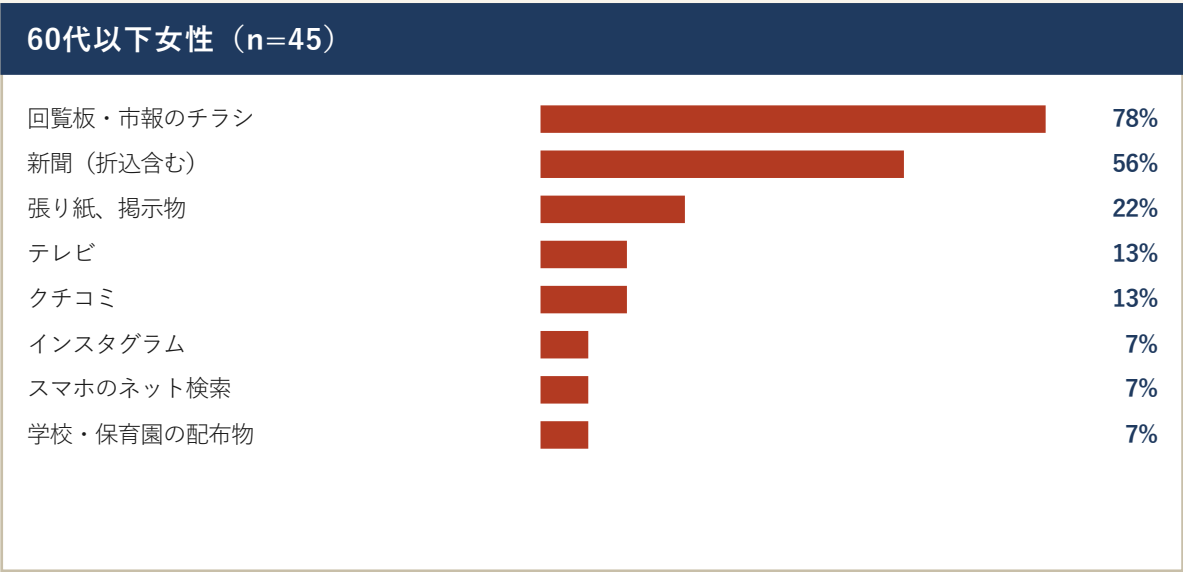
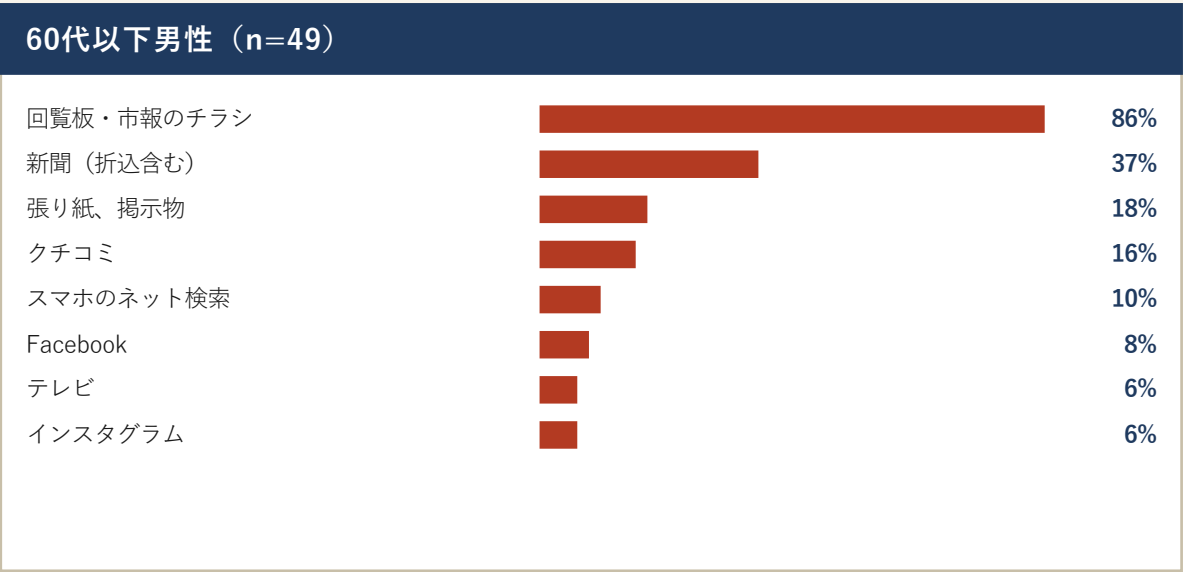
Q4 イベント情報の入手経路（中学生・40代以下）

各属性の回答者数に占めるチェック率。回答率5%以上の項目をすべて掲載。



Q4 イベント情報の入手経路（60代以下・70代以上）

各属性の回答者数に占めるチェック率。回答率5%以上の項目をすべて掲載。



Q4 イベント情報の入手経路 分析と今後の方向性

この設問の結果から読み取れることと、今後取り組んでいくべき方向性

結果から読み取れること

全体では「回覧板・市報のチラシ」が229件と圧倒的で、70代以上では9割超が挙げる基幹メディアとなっている。

中学生は「張り紙・掲示物」が最多（男性56%・女性93%）で、校内等の掲示が強く機能している。

40代以下はインスタグラム（男性35%・女性48%）とスマホ検索が上位に入り、他世代と情報経路が大きく異なる。

60代以上では新聞が4～5割と高く、SNSは1割未満。情報の届き方が世代で二極化している。

今後取り組んでいくべき方向性

回覧板・チラシは当面の基幹手段として維持し、掲載レイアウトの読みやすさを改善する。

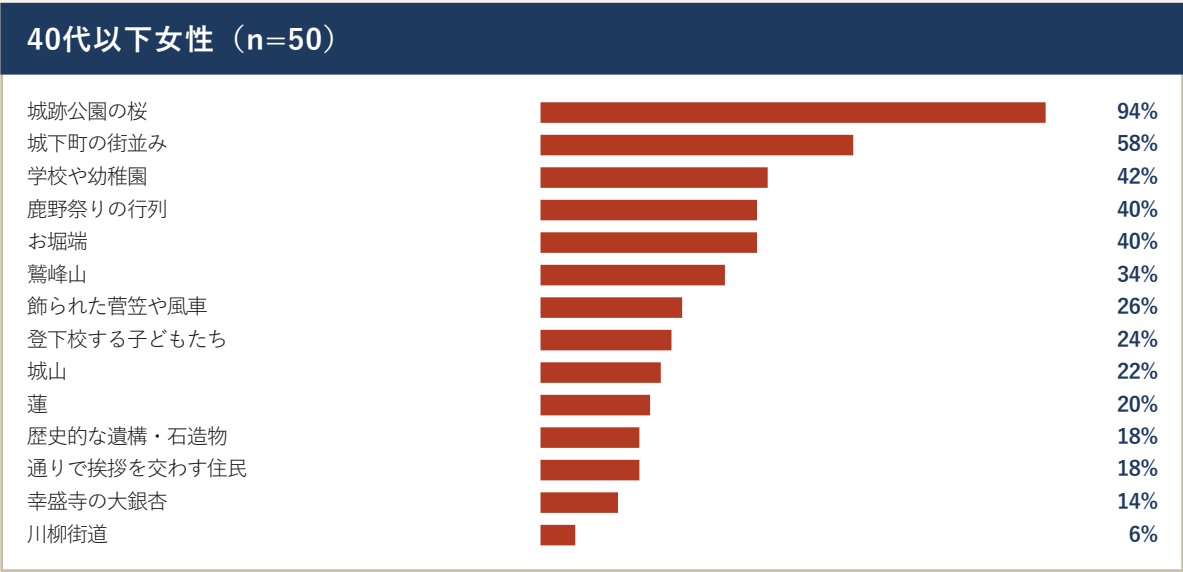
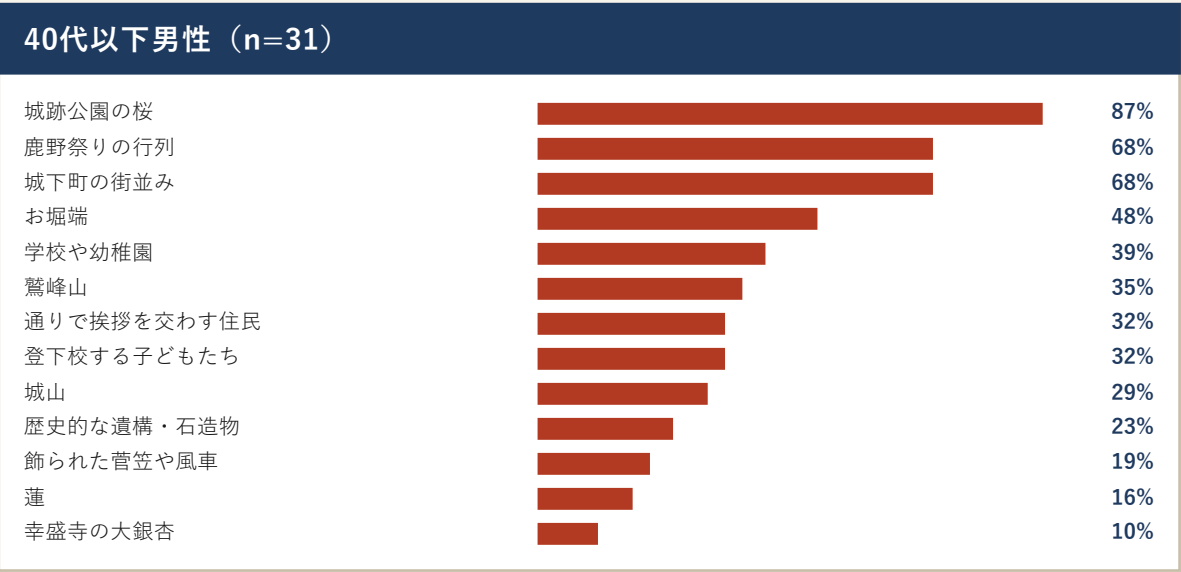
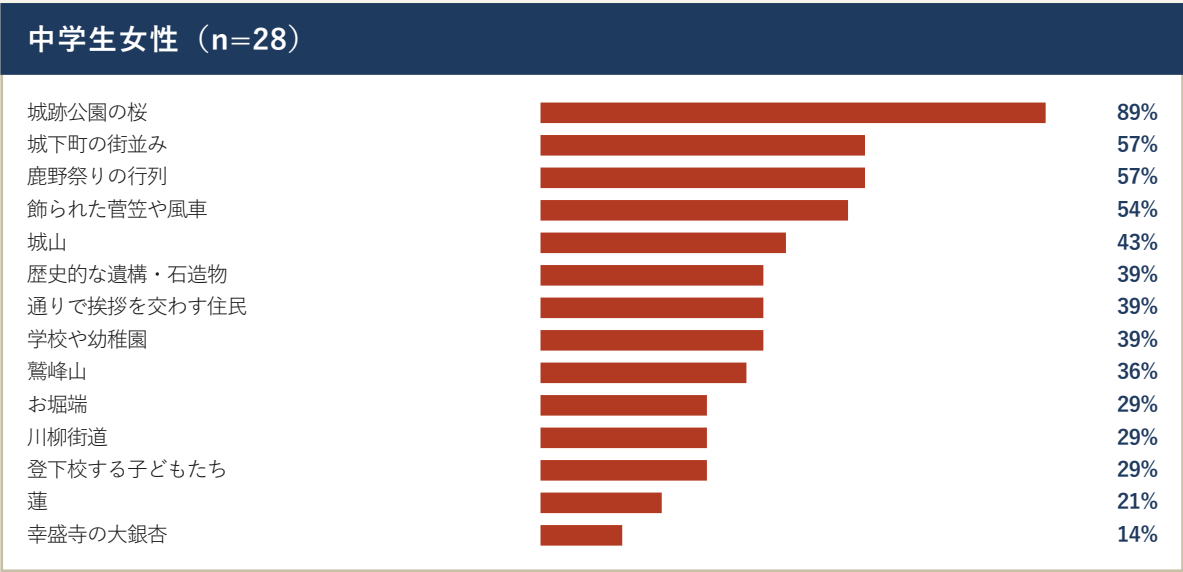
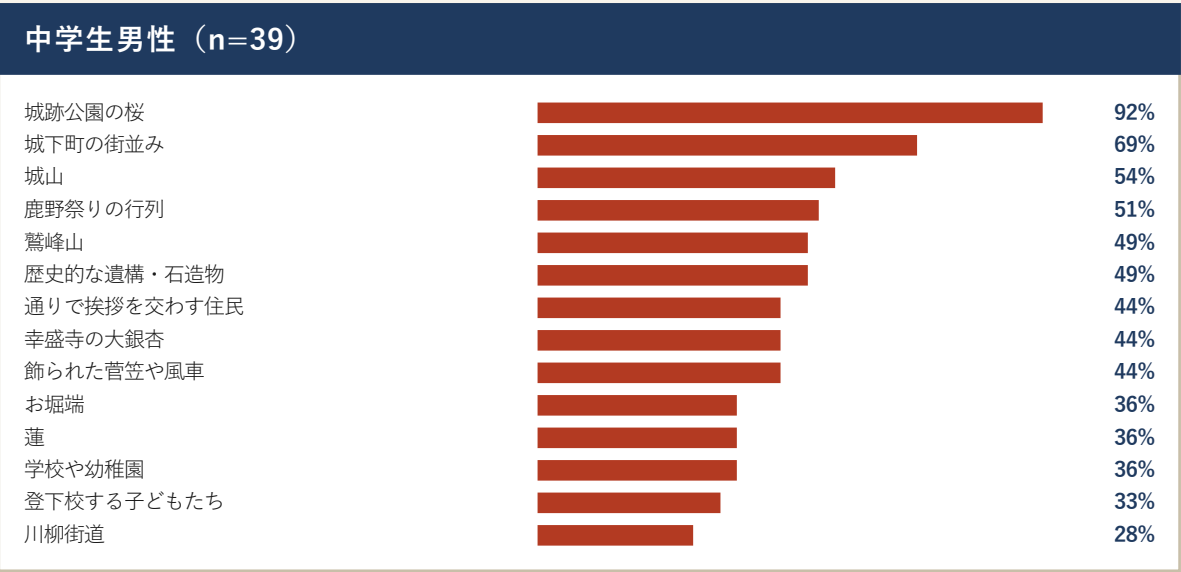
40代以下向けにインスタグラムの公式運用を定例化し、イベント告知を画像中心で発信する。

中学生には校内掲示・学校配布物という確実な経路を活用し、学校と連携した告知枠を確保する。

同一内容を「紙・掲示・SNS」の3経路へ同時に流す運用ルールを作り、世代間の情報格差を埋める。

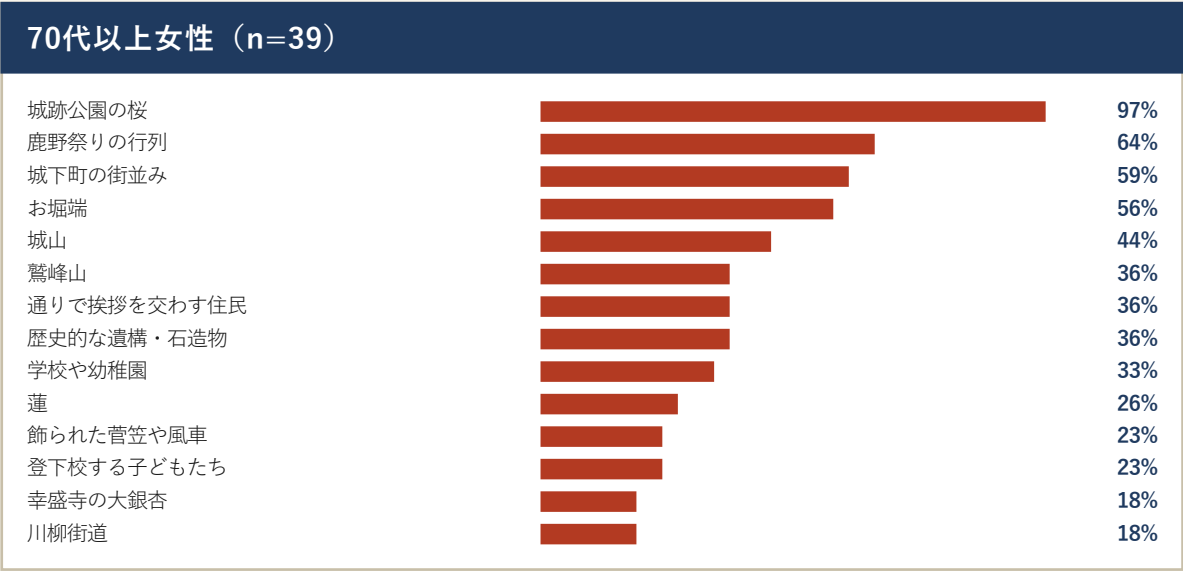
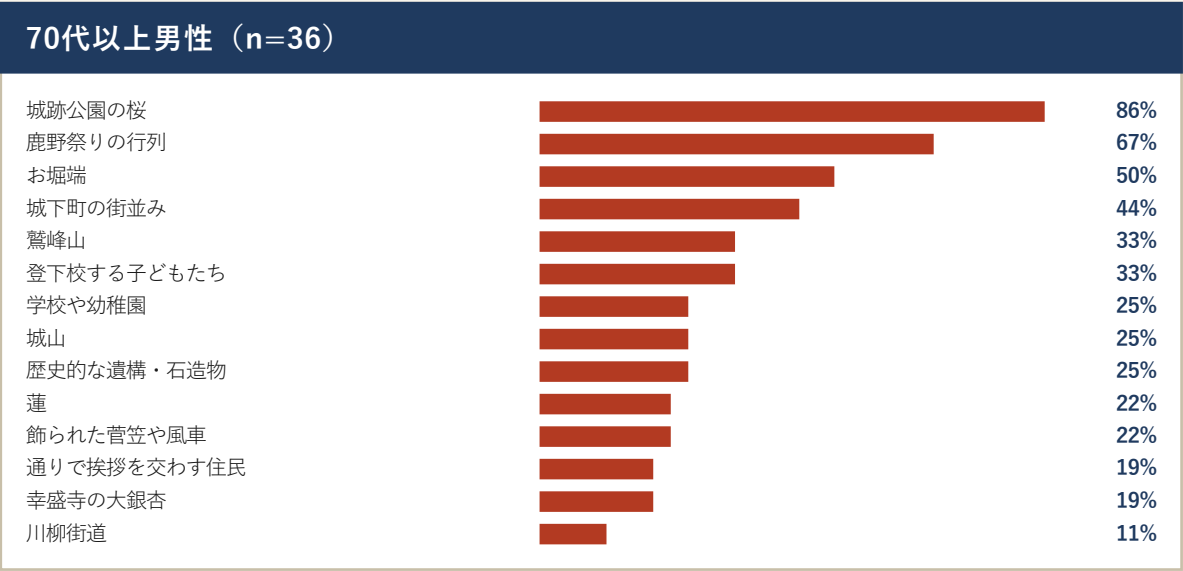
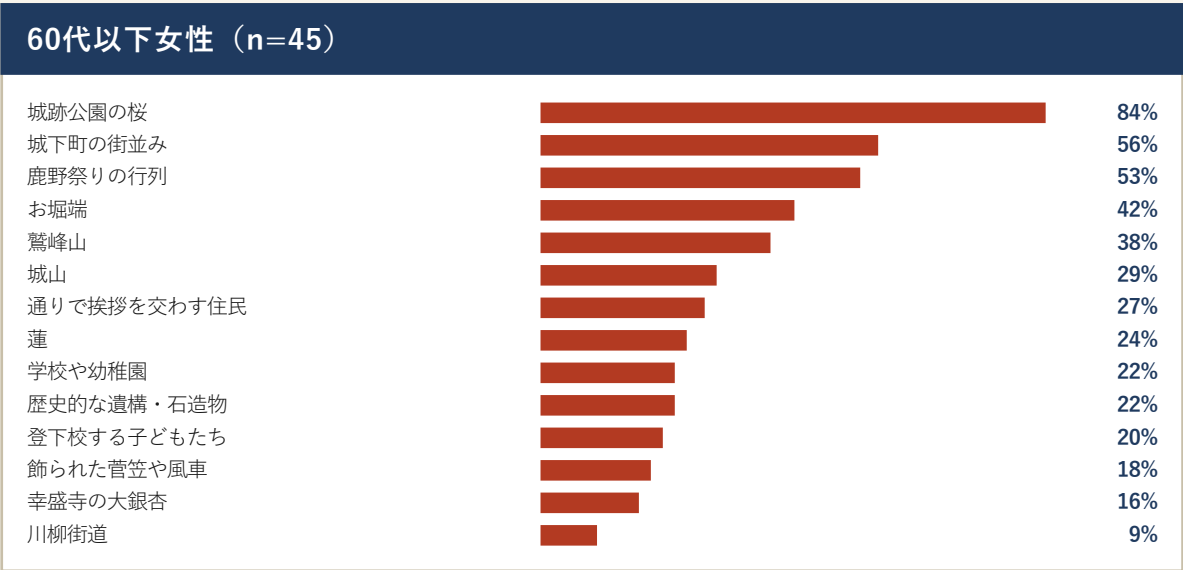
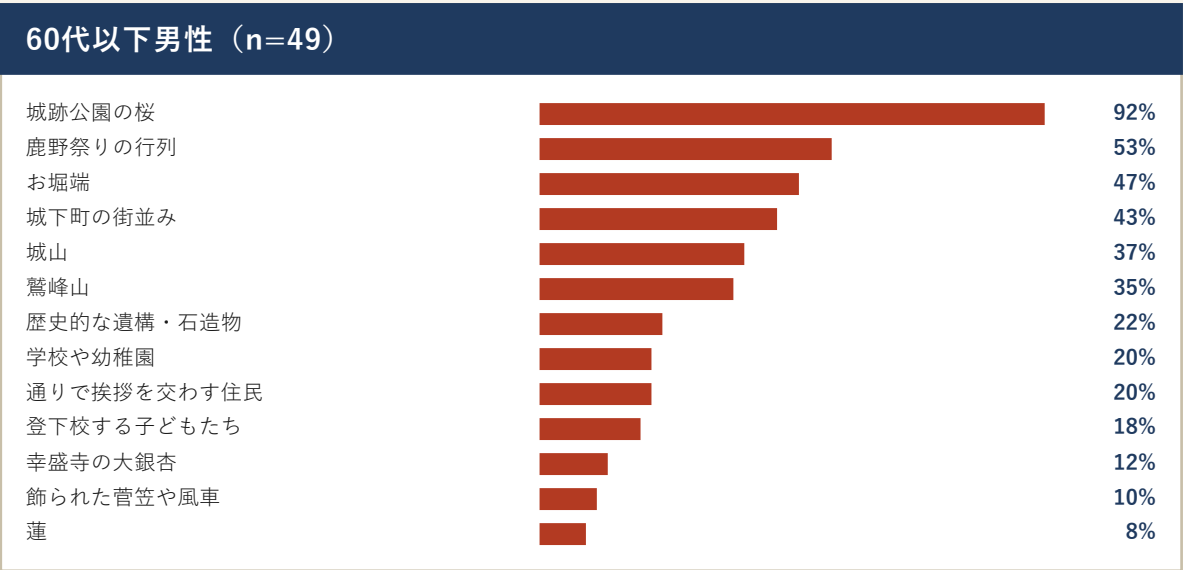
Q5 好きな風景・未来に残したい場所（中学生・40代以下）

各属性の回答者数に占めるチェック率。回答率5%以上の項目をすべて掲載。



Q5 好きな風景・未来に残したい場所（60代以下・70代以上）

各属性の回答者数に占めるチェック率。回答率5%以上の項目をすべて掲載。



Q5 好きな風景・未来に残したい場所 分析と今後の方向性

この設問の結果から読み取れることと、今後取り組んでいくべき方向性

結果から読み取れること

「城跡公園の桜」は全属性で8～9割超と突出し、世代・性別を越えた鹿野の共通シンボルになっている。

「城下町の街並み」「鹿野祭りの行列」「お堀端」が続き、歴史的景観と祭りが一体で支持されている。

中学生は「城山」「歴史的な遺構・石造物」「幸盛寺の大銀杏」「飾られた菅笠や風車」の選択率が高く、日常の通学路の風景に愛着がある。

「通りで挨拶を交わす住民」「登下校する子どもたち」など、人の営み自体を残したい風景として挙げる回答も一定数ある。

今後取り組んでいくべき方向性

現在は城山まもりたいなど特定の団体、住民に偏っている桜や城下町の景観維持のための活動の裾野を、広報や声掛けの仕組みを改善することで広げていく。

「鹿野祭りの行列」を残していくために、各町が抱える課題を、町の枠を超えて検討し、解決していく体制が求められる。

「挨拶」「登下校」といった無形の風景を守るため、見守り活動や地域行事の担い手確保を継続する。

残したい風景の写真記録を住民参加で蓄積し、10年後の変化を検証できる基礎データにする。

Q6 思い入れの深い風景・場所 全回答（1／4）

Q5で選んだ中で特に思い入れの深いもの（原文のまま掲載・全184件）

・毎年春には、家族で花見に行き、たくさん思い出があるため、城跡公園の桜への思い入れが深い。（40代以下・女性）

・街並みに溶け込む菅笠や風車が風情があっていいなと思います。城下町らしさを引き立てているのではないのでしょうか。（40代以下・女性）

・桜（40代以下・男性）

・桜（40代以下・女性）

・桜の風景（70代以上・男性）

・綺麗な夜桜風景（60代以下・男性）

・鹿野祭りの行列（70代以上・男性）

・桜は県内でも誇れると思う（60代以下・女性）

・桜 子供の成長と共に見てきたから（60代以下・女性）

・城跡公園の桜、毎年必ず訪れ文字通り華があるから（40代以下・男性）

・町外の方から桜がすごいと聞かから（40代以下・女性）

・城下町の町並み。他の街にはあまり無いものだから。（60代以下・男性）

・城跡公園の桜 城下町の街なみ この二つはワンセットで鹿野の原風景をつくり出しているから。（60代以下・男性）

・鹿野と云えば桜と祭だから（鹿野地区）（60代以下・男性）

・夜の城山の堀と桜の景色は美しい。（60代以下・男性）

・情緒が豊か（60代以下・男性）

・城跡公園の桜 毎年お花見に行っているから（40代以下・女性）

・町外者だったので、初めて鹿野祭りをみて感動した（60代以下・女性）

・鹿野の桜 鳥取でも有名だと思うから。（40代以下・女性）

・鹿野祭りの行列は、未来に残したいです。先人たちが未来へ残したいと思ったからこそ続いているものであり、鹿野祭りが続いていること、続けたいという想いがあることで、上記のような誇れるものが多く残っていると思うからです。そしてこの先の未来に繋げていくことで、他のものも繋がっていくと思います。（40代以下・女性）

・城跡公園の桜木 毎日見守ってるから。桜が咲く春は絶景です。（60代以下・男性）

・鹿野祭り。山車の迫力が印象的だから。（40代以下・男性）

・毎年、何度も花見してます（60代以下・男性）

・満開の夜桜が綺麗（40代以下・女性）

・鹿野城跡の桜はやお堀端は、愛犬の散歩でよく歩きました。桜の季節はとても綺麗で自慢です。祭りの行列は息子たちが参加していたので思い入れがあります。（60代以下・女性）

・桜は毎年写真を撮って楽しんでます（60代以下・女性）

・夜桜 綺麗だから（中学生・男性）

・城跡公園の桜、よく見に行くから（中学生・男性）

・元気祭りに参加してとても面白かったからのこしたい（中学生・男性）

・鹿野祭り すごく人が多かったから（中学生・女性）

・川柳街道 登下校をする時に横を見たら川柳があるから（中学生・女性）

・城跡公園の桜、毎年見ているし鹿野の春の風物詩のように思っているから（中学生・女性）

・鹿野祭りで参加した事があるから。（中学生・女性）

・風車 学校で作ったから（中学生・男性）

・通りで挨拶を交わす住民 いつも嬉しいから。（中学生・女性）

・鹿野城跡公園の桜 毎年1回は家族と見に行くから（中学生・男性）

・城跡公園の桜 夜桜がとても綺麗だったから（中学生・男性）

・鹿野の桜が綺麗なのもあって鹿野に住んだから（40代以下・女性）

・春に咲く桜は毎年楽しみです（60代以下・女性）

・特にない（40代以下・女性）

・夜桜がとても綺麗だから。子供達の挨拶、横断歩道で渡った後、振り返りお辞儀をする姿にステキだなんて思います。（40代以下・女性）

・ここ数年で祭りの形態は変わってきていますが、祭りを支えて来た町民の想い、心意気は次の世代にも伝えていけたらと思っています。鹿野の風土として。（60代以下・女性）

・通りで挨拶を交わす関係が残ればいいと思います。お互い様の精神で穏やかに過ごせると思います。（40代以下・女性）

・城山の桜は一見の価値があり。（40代以下・男性）

・住民、人があってこそ鹿野だと思うから（70代以上・女性）

・桜 小さい頃からあった景色だから（40代以下・女性）

・祭 出身者の心のよりどころだから（60代以下・男性）

・鹿野で育っていく中で祭りとともに成長してきました。様々な人との出会いやつながりが生まれ鹿野という町がどんどん好きになりました。鳥取から出て生活している友だちも祭りに合わせて帰ってくるなど人とのつながりを生む祭りが大好きだから絶対に残していきたいです。（40代以下・男性）

・城址公園の夜桜 鹿野が誇る、ライトアップに輝く美しい風景（70代以上・男性）

・城山は鹿野のシンボルと言えると思います。（70代以上・女性）

・城跡公園の桜 鹿野にしかない景色だから（60代以下・男性）

・城跡公園の夜桜は素晴らしい。ライトアップが上手です。（60代以下・女性）

・蓮 鹿野で生まれ育ったが特に思い入れはなかった。こどもが産まれてから、鹿野の名所はどこかを考えると、蓮の花だと思うようになった（こどもが産まれたのが夏だったから）（40代以下・男性）

・鷲峰山。車から見える姿がきれい（60代以下・男性）

Q6 思い入れの深い風景・場所 全回答（2／4）

Q5で選んだ中で特に思い入れの深いもの（原文のまま掲載・全184件）

- ・夜桜の美しさが特に綺麗（60代以下・男性）
- ・桜ももちろんですが、田畑などの風景です。手入れされている田畑の景観が好きです。これらが将来耕作放棄地となるのではないかと心配しています（40代以下・女性）
- ・祭りとは桜は鹿野の代名詞でもあるし小さい頃から見えてきた大好きなものだから（40代以下・女性）
- ・鹿野祭り 220年口伝で行われ、自分の町に誇りを持ち、他の町の誇りを傷付けない。祭礼であり神事。（60代以下・男性）
- ・城山と街並み シンボルだから（60代以下・男性）
- ・鹿野祭りの行列と城下町の街並み 祭りは何百年も続く誇る祭りで、住民が一体となる。その祭りが似合う街並みは大切にしたい。（70代以上・女性）
- ・鹿野祭（40代以下・男性）
- ・毎年綺麗な蓮田の風景が好きで、蓮の花言葉にちなんだ清らかな心を持ち穏やかな人生を送って欲しい、また泥から出て花を咲かせる強さから、困難に負けず強く生きて欲しいとの願いを込めて子どもの名前にも蓮の文字を入れました。（40代以下・女性）
- ・桜が綺麗だったから。（中学生・男性）
- ・きれいだから（中学生・男性）
- ・鹿野祭りの行列（中学生・男性）
- ・桜きれいだから（中学生・女性）
- ・鷺峰山 家からいつも見えるから（中学生・男性）
- ・家族と夜桜を見に行った（中学生・男性）
- ・歴史的な景観（中学生・女性）
- ・川柳街道 自分のが選ばれるのがたなしみだから（中学生・男性）
- ・城下町の街並み 理由は歴史あるものだと思うから（中学生・女性）
- ・城跡公園の桜 綺麗だから（中学生・男性）
- ・桜 学校でよく見るから（中学生・男性）

- ・城跡公園の桜 満開の桜がきれいだから。（中学生・男性）
- ・桜 理由 綺麗だった（中学生・男性）
- ・城北公園の桜 綺麗で観光スポットになってるから。（中学生・男性）
- ・鷺峰山、いろいろと登ってるから（中学生・男性）
- ・城下町と学校 理由は歴史あるものだと思うから（中学生・女性）
- ・鹿野祭り 参加したことがあり、いつまでも続けていきたいと思ったから（中学生・男性）
- ・鹿野祭りで楽しかったから（中学生・男性）
- ・桜：綺麗だから（中学生・男性）
- ・城跡公園の桜・・すごく綺麗だから（中学生・女性）
- ・鹿野ならではの懐かしさを感じるから。（中学生・女性）
- ・城跡公園の桜 桜が綺麗だから（中学生・男性）
- ・鷺峰山 6年生で初めて登った時の景色がとても綺麗だったから。（中学生・男性）
- ・鹿野祭り 2年に一回の大切な取り組みだから（中学生・女性）
- ・鹿野城跡公園の桜はとても綺麗で毎年桜が咲き始める季節になると家族で来ているからです（中学生・男性）
- ・城下町の街並み：建物を壊さず外観をそのままにし昔ながらの趣が残っているから（中学生・女性）
- ・通りで挨拶を交わす住民 理由：挨拶ができる鹿野っ子っていうからそれを持かせたいと思うし、挨拶でされる側もかえされた側も嬉しくなるから。鹿野祭りの行列 理由：鹿野ならではのイベントだから。（中学生・女性）
- ・家族と見に行った（中学生・男性）
- ・城跡公園の桜 夜桜が綺麗だから（中学生・男性）
- ・特にはないけど新しい建築より古い建築の方が好きだから（中学生・男性）

- ・川柳街道。よく見かけるから。（中学生・男性）
- ・さくらで理由は 学校の近くにあるから（中学生・女性）
- ・川柳街道 自分の作品があるから。（中学生・男性）
- ・城跡公園の桜 桜まつり楽しかったし鹿野祭りの練習で笛吹ながら見る夜桜きれいだったから（中学生・女性）
- ・城下町の桜 綺麗だから（中学生・女性）
- ・鹿野全体（中学生・男性）
- ・城跡公園の桜 毎年、家族や友達と見に行くから（中学生・女性）
- ・桜 毎年春になると多くの人で賑わうから（中学生・女性）
- ・鹿野祭りの行列：他の町ではあまりない2日間かけて朝から夜までする大変なお祭りだから（中学生・女性）
- ・城跡公園の桜 友達と一緒に遊んだから（中学生・男性）
- ・朝やお昼の普通の桜や夜にライトアップされている桜が綺麗だから・城下町とか通る時に回る風車などが昔ながらの風景でいいと思ったから（中学生・女性）
- ・学校や幼稚園をもっと楽しく楽に過ごせる場所にしたい（中学生・女性）
- ・風車は、作ったことがあるから（中学生・女性）
- ・城跡公園の桜 夜桜が綺麗だから（中学生・男性）
- ・鹿野のさくらはとても人気で県外からも人が来るので残したいです（中学生・男性）
- ・きれいだから（中学生・男性）
- ・登下校する子どもたち 理由地域の住民の方から挨拶をされたりしたりすること（中学生・女性）
- ・鹿野祭り 参加した事があるから（中学生・男性）
- ・桜も古くなって枝が折れたりする中、ずっと花見ができるようにしてほしい。（60代以下・女性）

Q6 思い入れの深い風景・場所 全回答（3／4）

Q5で選んだ中で特に思い入れの深いもの（原文のまま掲載・全184件）

- ・城山神社祭礼 世代間交流、共通の話題 （40代以下・男性）
- ・城跡公園の桜。満開の桜毎年見て感動しています。 （40代以下・女性）
- ・城跡公園の夜桜が最高！ （40代以下・男性）
- ・お堀端:これぞ鹿野というスポット、鳥の劇場と共に守っていきたい （40代以下・女性）
- ・桜 毎年楽しみにしている。1番綺麗 （60代以下・女性）
- ・田園風景 住みたいと思った景観だから （40代以下・男性）
- ・蓮の花は、満開だと映える。 （60代以下・女性）
- ・鹿野祭りは思いがありますのでいつまでも継続したいです。 （60代以下・男性）
- ・鹿野祭りの行列。過去現在未来の町の人たちと繋がる貴重な機会だから。（40代以下・男性）
- ・桜がきれいだった （40代以下・男性）
- ・自分も参加したから （40代以下・男性）
- ・城山。暇な時に友達と登ったり、自然を感じられるいいスポットだから。（中学生・女性）
- ・桜がきれい （40代以下・女性）
- ・鹿野祭り、子供の頃から参加していて、とても大切に思うから。 （60代以下・男性）
- ・鷲峰山 色々な美しさを見せてくれるから （40代以下・男性）
- ・鹿野祭りの行列は、地域住民全員が長い歴史で培ってきた行事であり、もし立ち消えしたら復活はできないため。 （60代以下・男性）
- ・お堀端は中学時代含め昔を思い出すきっかけになる風景であるため （40代以下・男性）
- ・城跡公園の桜 特に夜桜は毎年楽しみにしているから （60代以下・男性）
- ・桜 毎年楽しみだから （60代以下・女性）

- ・桜は素晴らしいと思います。近くにあると有難みを感じないかもしれませんが、夜桜は特に幻想的で、遠方の知り合いもわざわざ見物に行くと言ってくれます。 （70代以上・女性）
- ・城跡公園の桜 （70代以上・女性）
- ・人が宝だと思うので （60代以下・女性）
- ・祭りが似合う町並み作りが素敵で、他所に誇れると思います。 （40代以下・女性）
- ・タイムスリップしたかの様な、他所では味わえない空気感のある城下町の街並み。 （60代以下・男性）
- ・城下町の風情と文化にまつわるもの全てです。 （70代以上・女性）
- ・街並みが素敵だから （40代以下・女性）
- ・城跡公園の桜、入学、卒業の時の風景 （60代以下・女性）
- ・近年、城跡公園の桜はSNS、インターネット等々で全国的に知られるようになり、見物客が多くみられることにより、鹿野を知っていただき良いことだと思います。 （70代以上・男性）
- ・レトロな街並み風景 （70代以上・男性）
- ・少子化の中、町が発達しない。子供が増える様な鹿野であってほしい。（70代以上・女性）
- ・桜の花が綺麗 （70代以上・男性）
- ・子どもたちをはじめ、様々な年齢の人達の挨拶がとても心地良く聞こえてくる町のため。 地域の人たちがあたたかいなと感じ、子どもたちが安心して登下校できる環境だと思うから。 （60代以下・女性）
- ・鹿野祭りの行列。若い者からお年寄りまでが一緒になって行動する。（70代以上・男性）
- ・茶苑小路 景色が素敵、住吉神社 鯉が素敵 （60代以下・男性）
- ・城跡公園と桜は最高です。又お堀端とのマッチ （70代以上・女性）
- ・登下校中、横断歩道を渡ったら、お辞儀をしてくれる生徒達。 （40代以下・女性）
- ・桜とお堀端 （70代以上・男性）

- ・城跡公園、お堀端の桜が咲く頃の鹿野祭りは幼い頃からずっと今まで見てきたのでとても印象深い。 （60代以下・女性）
- ・桜、学校、幼稚園、どれも思い出 （70代以上・女性）
- ・旧鹿野小学校、中学校周辺は毎日通った学生時代の思い出。四季を感じられて卒業アルバム（中学校）の風景写真は鹿野だけの特別なものだったから。 （40代以下・女性）
- ・鷲峰山：鹿野に返ってきて鷲峰山を見ると我が町の山（鷲峰連峰）帰って来たなあーとなつかしく思う。お堀端：子供の頃このお堀でよく泳いだことを思いだす。公園の桜の木も枯れては移植し何代も同じ位置に定植してあり昔のままで良い。 （70代以上・男性）
- ・城跡公園の桜、毎年綺麗で楽しみにしています。 （60代以下・女性）
- ・城跡公園の桜/ずっと住んでいるから （40代以下・男性）
- ・城下町の街並みは歴史あるものなので未来に残すべき （60代以下・女性）
- ・やっぱり鹿野と言えば桜、城山だと思います。鷲峯山もこのままの景観であってほしい。（風車等、立てないで！！） （60代以下・男性）
- ・城下町の街並みは、私が町中を歩いても気持ちが良く、観光されている方もきれいで静かな町ですねと言って下さること。登下校する子どもたちは、子ども達は元気よく、私たちを元気にしてくれる鹿野の宝です。通りで挨拶を交わす住民は、挨拶でみんな温かな気持ちになります。 （70代以上・女性）
- ・鹿野といえば春、桜だと思うから （60代以下・女性）
- ・時代と共に変化していくものが多い中で、鹿野といえば・・・というものはそのまま残してほしい。鹿野に来て何も無いから行かないというのは、人が集まらないと思うので、何かあれば行きたいと思ってもらえる鹿野にするためには、チェックをした項目が未来に残したいもの。通りで挨拶を交わすことは、いつの時代でもどこの地域でもそうであってほしい。（60代以下・女性）
- ・鷲峰山を源流とする河内川が好きだから （60代以下・男性）
- ・鹿野まつり、春の桜まつり （70代以上・女性）
- ・鹿野祭りで町内の各家での接待 （70代以上・男性）

Q6 思い入れの深い風景・場所 全回答 (4/4)

Q5で選んだ中で特に思い入れの深いもの（原文のまま掲載・全184件）

・川柳海道のハナミヅキをデッサンして作品にいたしました。それは七宝です。（70代以上・女性）

・城跡公園の桜、特にライトアップされた夜桜は感動的です。（70代以上・女性）

・お堀端 (60代以下・女性)

・桜の中でも水谷に行くところが一番いいのでは。(70代以上・女性)

・外にはない風景→ゆったりした場所 リラックスできる (70代以上・女性)

・鹿野祭り ・昔、登下校するのに多くの子ども達がいた光景（70代以上・男性）

・免許返納を最近し、徒歩、鹿野バス、他、また時に徒歩でと、キョロキョロおしゃべり。本来の性格を後期高齢者となって・・・それに付き合ってもらえるかつてのママ友の存在。（70代以上・女性）

・鹿野の町づくりの元となるお城まわりと、そこに教育の場があるのは理想的。（60代以下・男性）

・鹿野祭りの行列 鹿野町の存在感が大きく示される。この文化を持つこと
に誇りを持てる (70代以上・女性)

・鹿野祭りの行列は鹿野町の文化遺産として重要価値が高い。鹿野町の存在価値を高める。町民の生き甲斐につながる。(70代以上・男性)

・桜。鳥取市でも鹿野は桜のイメージと結びつくかた（40代以下・男性）

・鹿野祭りの行列をはじめて見た時、自分の子供が出たらどんな感じがなあと感じたり、古き良きものを見ているようで感動した。

・城跡公園の桜は春の花見の定番です。

・春は鹿野祭と桜が鹿野の誇るところ。江戸から続く文化は残したい。

・やはり桜です。家族と毎年来ているので

- ・桜の風景、人々の交流の場であること

・城跡公園の桜、初めて見に行った時、夜水面に映った桜がとてもきれいだった

- ・桜、毎年家族と来てる

・春は桜と祭りがいい

・城跡公園の桜は、夜桜が本当にきれいです。結婚する前、結婚してから、子供たちと毎年訪れています。子どもの同級生や知り合いに会うこともあり、毎年の楽しみです。

・桜、お堀端、鹿野祭り 町外の人にも見せてあげたい

・城跡公園の桜をはじめて見た時、すごく感動したから

Q6 思い入れの深い風景・場所 分析と今後の方向性

この設問の結果から読み取れることと、今後取り組んでいくべき方向性

結果から読み取れること

記述の大半が城跡公園の桜に集中し、「家族と毎年花見に行く」「子どもの成長と共に見てきた」など個人史と結び付いた語が多い。

「鹿野と言えば桜と祭り」のように、桜と祭りをセットで原風景として語る回答が複数みられる。

「町外の人にすごいと言われる」という外部評価を誇りの根拠にする記述が目立つ。

一方で、手入れや老木化への不安、駐車場・トイレなど受け入れ環境への言及も散見される。

今後取り組んでいくべき方向性

桜の樹勢診断と更新計画を立て、次世代への植え継ぎを住民参加で進める。

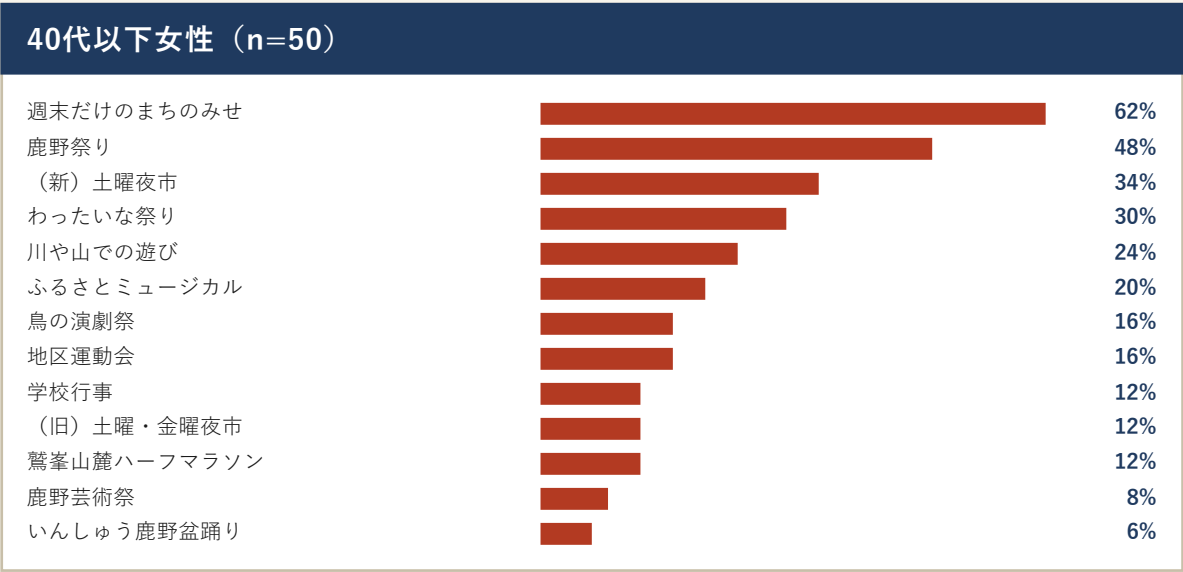
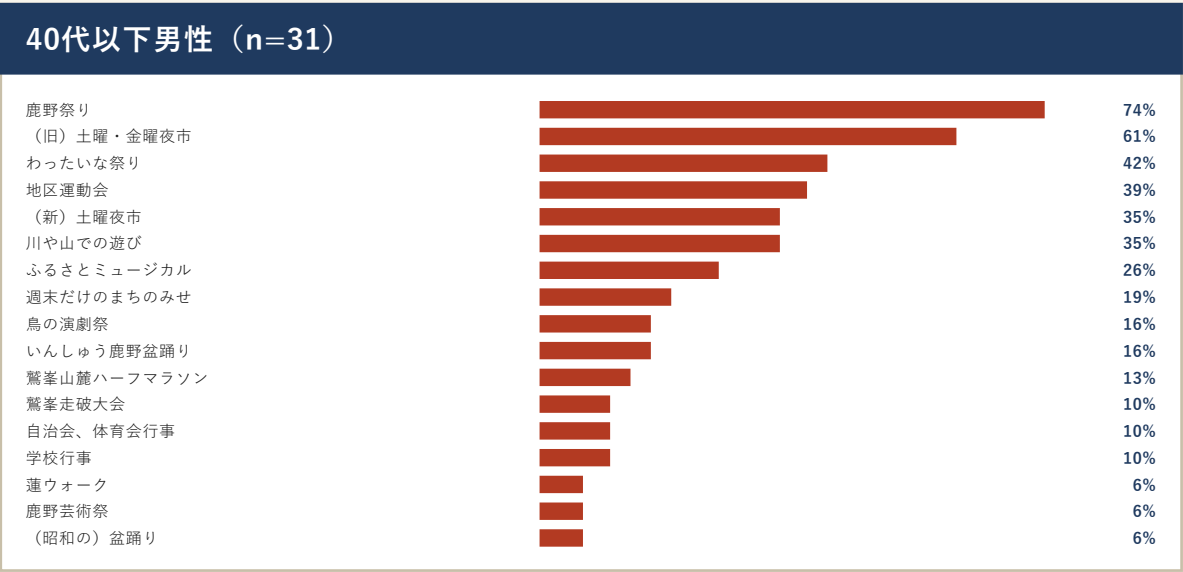
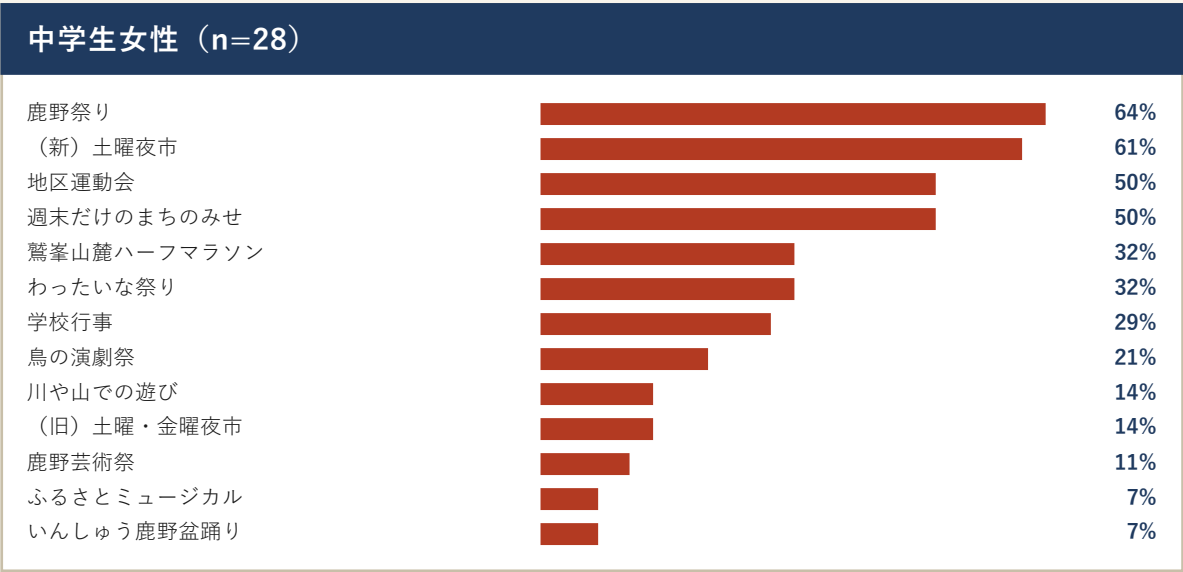
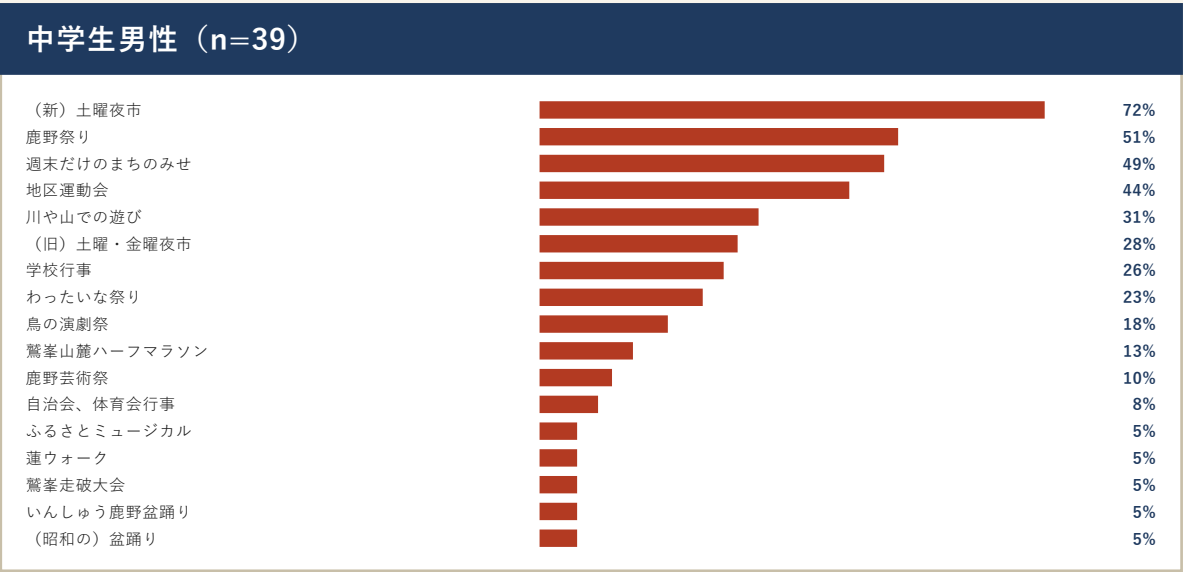
花見期の受け入れ環境（駐車・トイレ・案内）の改善を、収益化とセットで検討する。

住民の思い出の語りをアーカイブ化し、学校教材や情報発信の素材として活用する。

桜と祭りを一体のブランドとして打ち出し、春以外の季節の来訪動機づくりにつなげる。

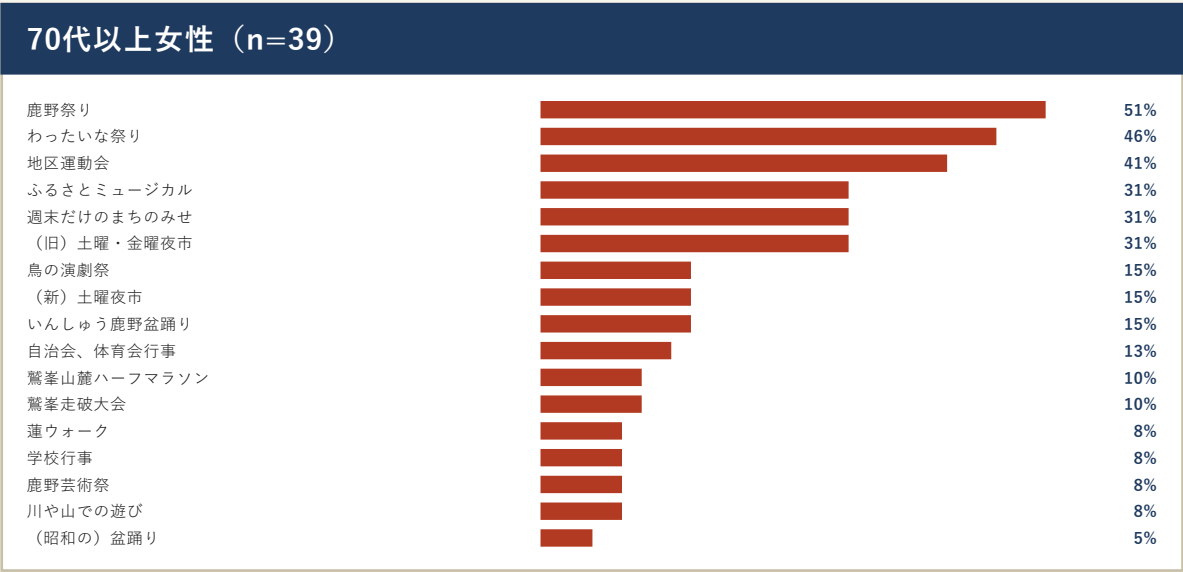
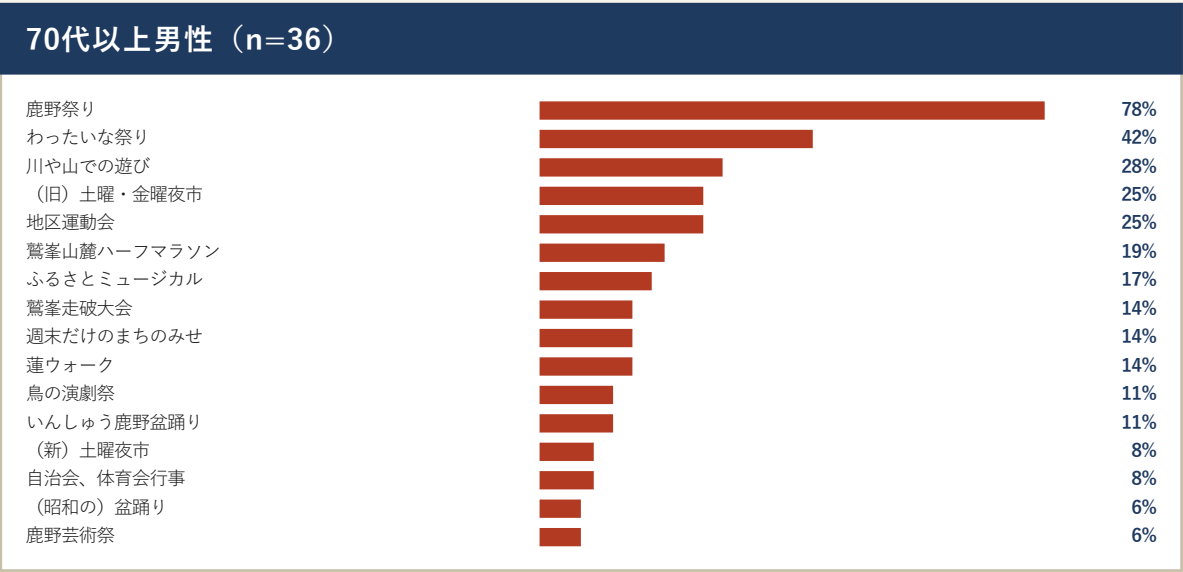
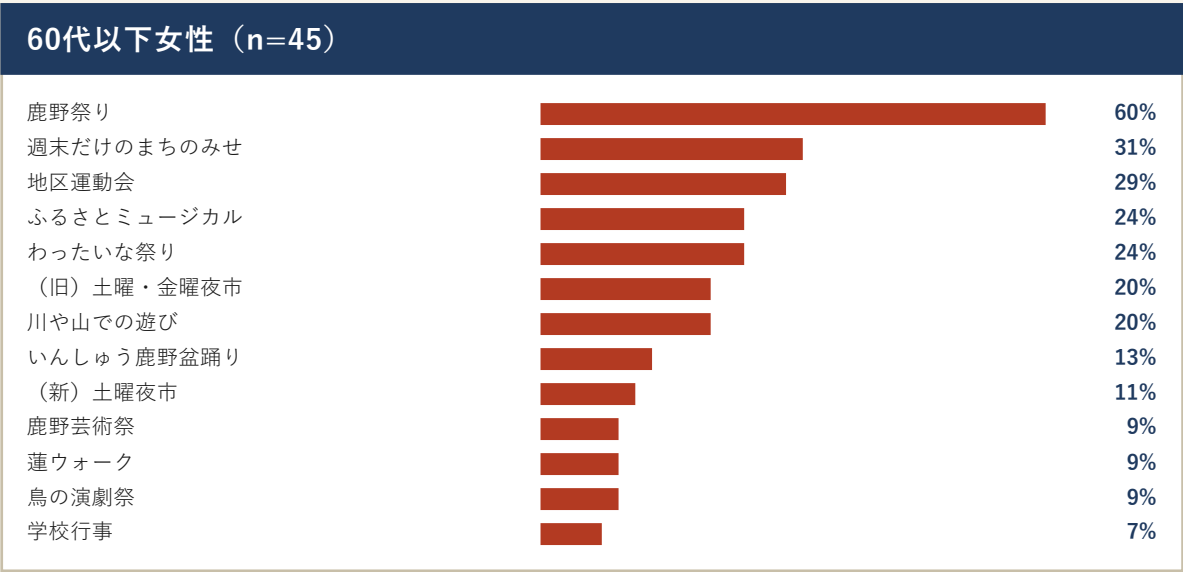
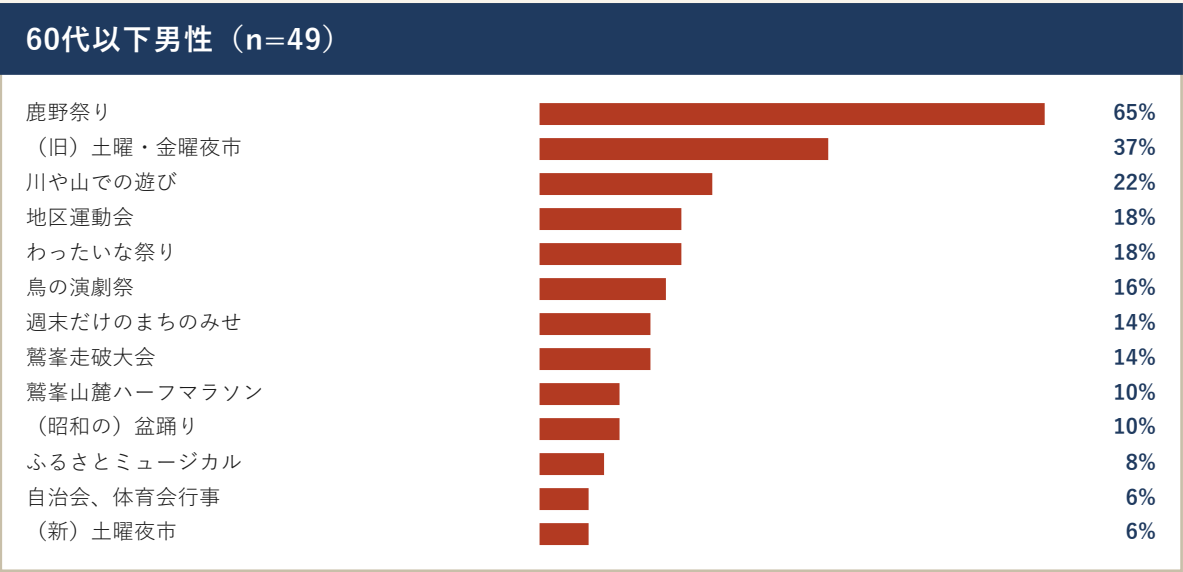
Q7 好きなイベント・昔の楽しかった思い出（中学生・40代以下）

各属性の回答者数に占めるチェック率。回答率5%以上の項目をすべて掲載。



Q7 好きなイベント・昔の楽しかった思い出（60代以下・70代以上）

各属性の回答者数に占めるチェック率。回答率5%以上の項目をすべて掲載。



Q7 好きなイベント・行事 分析と今後の方向性

この設問の結果から読み取れることと、今後取り組んでいくべき方向性

結果から読み取れること

「鹿野祭り」が全体192件で首位。特に40代以上の男性で7割前後と高く、地域の中核行事として定着している。

中学生は「（新）土曜夜市」「週末だけのまちのみせ」が上位で、近年始まった取組が世代の原体験になりつつある。

40代以下女性は「週末だけのまちのみせ」が62%と突出し、子育て世代が楽しめるイベントとして地位を確立している。

「（旧）土曜夜市・金曜夜市」「わったいな祭り」は高年代で支持が高く、世代ごとに「懐かしい行事」が異なる。

今後取り組んでいくべき方向性

鹿野祭りの担い手確保、持続可能性を高める体制整備を最優先課題とする。

土曜夜市・まちのみせなど若い世代の支持が高い企画に運営資源を厚く配分し、継続性を担保する。

世代ごとに響く行事が異なるため、行事カレンダーを整理し重複と負担を平準化する。

中学生が運営側に加われる役割（出店・広報・記録）を設け、担い手の入口をつくる。

Q8 思い入れの深いイベント・行事 全回答（1／3）

Q7で選んだ中で特に思い入れの深いもの（原文のまま掲載・全152件）

・鹿野に嫁に来て、まだ慣れなかった地で、鹿野ふるさとミュージカルに参加したことをきっかけに、鹿野の知り合いが一気に増えて、打ち解けることができたので、鹿野ふるさとミュージカルへの思い入れが深い。（40代以下・女性）

・空き家活用の観点で良いイベントだなと思う。空き家を活用しつつ、鹿野町外からも人を呼び込めていい反面、地元民がもっと参加出来るよう参加費に関しては差をつけるべきだと思う。（40代以下・女性）

・土曜夜市（40代以下・男性）

・世代間交流の体育行事は、おばあちゃんと参加できることや、地域の方と交流する機会になるから（40代以下・女性）

・ハーフマラソンたくさんの人が集まる（70代以上・男性）

・子供のころに、見た行列、屋台の風景。（60代以下・男性）

・鹿野ミュージカル 子供が参加させてもらい、観に行っていた（60代以下・女性）

・わったいな祭り、気軽に参加できるイメージが強いため（40代以下・男性）

・わったいなまつり。出店していたから。（60代以下・男性）

・土曜夜市 出店者側でしたが、子どもたちに楽しんで貰い、楽しかった記憶を残して貰いたい気持ちでやっていた（60代以下・男性）

・土曜夜市、子供の頃の楽しみ（60代以下・男性）

・金曜夜市 いろんな出店があって楽しかったから（40代以下・女性）

・小さかった子供達をヘリコプターに寄せ、鹿野町周辺をみて楽しかった事（60代以下・女性）

・町並みに様々なお店が出店されて見るだけで楽しいから（40代以下・女性）

・鹿野祭り、楽しい思い出がたくさんあるからです（40代以下・女性）

・鹿野祭り 私にとって鹿野の象徴となっているから（60代以下・男性）

・土曜夜市。子どもの頃の思い出が良いから。（40代以下・男性）

・人がたくさん集まって、活気がある（60代以下・男性）

・鹿野祭り 嫁いで来てから恒例の行事で盛り上がっているのが頼もしいと思ったから。（60代以下・女性）

・わったいな祭りはいろんなところからたくさんの人が来て知人と会えたり話せたりするのが楽しみです（60代以下・女性）

・町店 楽しいから（中学生・男性）

・友達がやっていてその店に行くから（中学生・男性）

・鹿野祭りで屋台がたくさんあって面白かった（中学生・男性）

・町店 自分たちで出店しているから（中学生・女性）

・地区運動会で、集落に住んでいる人と交流ができるいい機会だから（中学生・女性）

・鹿野祭り、山を笛吹いて登ったり大変な思いもしたけど地域の人の温かさを知れたから（中学生・女性）

・鹿野祭りは、住民含めて鹿野にいる人がみんな楽しめる祭りだと思ったから。（中学生・女性）

・週末だけの町の店 出店していたから（中学生・男性）

・地区運動会 地区で協力して、戦うのが楽しいから。（中学生・女性）

・地区運動会です。理由は、同じ地区に住んでいる人たちと協力するのが楽しいからです。（中学生・女性）

・学校行事 兄たちがやっていた運動会は今より迫力があり、見ていて面白かったから（中学生・男性）

・週末だけのまちのみせ 同級生が出店していたから（中学生・男性）

・川遊び、ヤマメの掴み取りなど子供が楽しんでいる（40代以下・女性）

・普段この街に無いお店の出店が楽しみです（60代以下・女性）

・街が賑やかくなるから（40代以下・女性）

・学校行事の文化祭。子供あの成長が見れるので楽しみです。（40代以下・女性）

・ここ数年で祭りの形態は変わってきていますが、祭りを支えて来た町民の想い、心意気は次の世代にも伝えていけたらと思っています。鹿野の風土として。（60代以下・女性）

・楽しかった（中学生・女性）

・鹿野祭りは大変だけれども、誇れるものだと思います。（40代以下・女性）

・町店は出店がバラエティに飛んでおり、道すがらに興味のわいたお店を覗いていくのが楽しい（40代以下・男性）

・おもしろい（中学生・男性）

・鹿野祭り、世代を超えて受け継がれてきた、かけがえのないもの。（70代以上・女性）

・鹿野祭りで鹿野の町を歩くと、昔の町並みを感じることが出来る。（40代以下・女性）

・鹿野祭りでたくさんの人との出会い（40代以下・男性）

・鷲峯走破大会 鹿野に帰って来て、町民は走らないけんと言われ、苦しかったが、完走出たこと。また、走破後の親睦会で仲間に入れてもらったこと（70代以上・男性）

・鹿野祭りの伝統は大事だと思う。もっと早く終了した方がいいと思う。（60代以下・女性）

・こどものころは河内川で遊ぶことも多かったが、今は草木が多くとても遊べないし、こどもを遊ばせることもできない（40代以下・男性）

・鹿野まつりです。（40代以下・女性）

・金曜夜市。親とも友達とも思い出があるから。（40代以下・女性）

・鹿野祭り 子供が大人になる 少年が男になる 少女が笑顔になる 鹿野が大好きな大人が責任を持つ そんな日（60代以下・男性）

・鹿野まつりと演劇祭 伝統と現在のまつり続いてほしいから 鳥の演劇祭は海外からの客が多く来られるので大変貴重なイベントだと思う（60代以下・男性）

Q8 思い入れの深いイベント・行事 全回答（2／3）

Q7で選んだ中で特に思い入れの深いもの（原文のまま掲載・全152件）

- ・鹿野祭り ふるさとミュージカル 鳥の演劇祭 は、知り合いが参加していてわくわく((o(^-^)o))します。（70代以上・女性）
- ・土曜夜市続けていきたいので （40代以下・男性）
- ・鹿野祭りは嫁いできて初めて知りましたが、他にはないお祭りでワクワクします。（40代以下・女性）
- ・友達と行って楽しかった （中学生・男性）
- ・思い出はなし 楽しいから （中学生・男性）
- ・土曜夜市を友達と回った （中学生・男性）
- ・鹿野祭り 最近見たから （中学生・男性）
- ・友達と祭りに行った （中学生・男性）
- ・土曜夜市など街が盛り上がるイベントが楽しかった。（中学生・女性）
- ・（新）土曜夜市 楽しいから （中学生・男性）
- ・お祭り 楽しいから （中学生・男性）
- ・鹿野祭り 歩いたから （中学生・男性）
- ・鹿野祭り 景色が良かった （中学生・男性）
- ・まちみせ 友達と一緒に食べ歩きするのが楽しかったから。（中学生・男性）
- ・土曜夜市、いろいろと楽しから （中学生・男性）
- ・地区運動会 理由は同じ地区の人と関われるから （中学生・女性）
- ・土曜夜市 たった一日しかないけど楽しいから （中学生・男性）
- ・土曜夜市 楽しかったから （中学生・男性）
- ・川や山での遊び：楽しいから （中学生・男性）
- ・運動会・・・みんなと協力したりさんこと音頭を伝統に合わせて浴衣を着て踊ったから （中学生・女性）

- ・美味しい食べ物や、友達といっしょにまわって楽しかったから （中学生・女性）
- ・鹿野祭り 楽しいから （中学生・男性）
- ・地区運動会 防災運動会という、普段は体験できないことに参加できたから。（中学生・男性）
- ・土曜夜市 人が集まって楽しく取り組めるから （中学生・女性）
- ・いろいろなお店があり見ただけでも楽しいからです。（あと少し運動にもなる） （中学生・男性）
- ・週末だけのまちみせ 理由：友達や家族と行くのが楽しいから。（中学生・女性）
- ・運動会 （中学生・男性）
- ・地区運動会 地域の人と協力してしたから （中学生・男性）
- ・土曜夜市。毎年行っていたから。 （中学生・男性）
- ・土曜市で友達といって楽しかったから （中学生・女性）
- ・鹿野祭り 楽しかったから （中学生・男性）
- ・まちみせ 友達と回ったり美味しい店があったりしてたのしかったから（中学生・女性）
- ・（新）土曜夜市 色々なお店に行けるから （中学生・女性）
- ・鹿野祭り （中学生・男性）
- ・鷺峰山麓ハーフマラソン 毎年、ボランティアに参加しているから （中学生・女性）
- ・土曜夜市 友達と一緒にまわったから （中学生・女性）
- ・地区運動会：幅広い世代が集まっておじいちゃんやおばあちゃんが頑張って走ったりしているのを普段見ないから楽しい （中学生・女性）
- ・土曜夜市 友達と一緒に行って遊んだから （中学生・男性）
- ・土曜夜市がとても賑わっていてとても楽しかった （中学生・女性）

- ・学校行事 学校のみならずたくさん交流して楽しく活動できるから （中学生・女性）
- ・町店が楽しかった （中学生・女性）
- ・文化祭 つくったものを発表したのが楽しかった （中学生・男性）
- ・鹿野祭りで小さい頃からあり特に思い入れがあります （中学生・男性）
- ・たのしかったから （中学生・男性）
- ・ハーフマラソン 県外や外国からも来てくれて鹿野の歴史を感じてもらえたから。（中学生・女性）
- ・川や山での遊び ヤマメが美味しかったから （中学生・男性）
- ・年齢とともにいろんな意味がわかるようになって面白い。（60代以下・女性）
- ・地区運動会 館長ファッション （40代以下・男性）
- ・わったいな祭り。河川敷でお店が出て鹿野の町中にもお店が出てトレセンで子供の出展を見るのが楽しみでした。（40代以下・女性）
- ・土曜夜市とても賑わっていて楽しかった （40代以下・男性）
- ・街に活気があり、多くの観光客があり、鹿野の城下町の良さを見てもらえる、楽しいイベントです。（60代以下・女性）
- ・青年部や子ども会合同でする納涼祭は、婦人たちは何もしなくて食べて飲んで気持ちよく帰っていける。（60代以下・女性）
- ・最後のリレーがいいですね。（60代以下・男性）
- ・（旧）土曜夜市、金曜夜市。中学生の時に夜に私服の同級生と過ごせる数少ない機会だった。ドキドキした。（40代以下・男性）
- ・ハーフマラソンの10kmの部に参加したが、楽しめた。（40代以下・男性）
- ・鹿野祭り、子供の頃から参加していて、とても大切に思うから。（60代以下・男性）
- ・川の遊び 親子でのヤマメとりが楽しかった （40代以下・男性）

Q8 思い入れの深いイベント・行事 全回答（3／3）

Q7で選んだ中で特に思い入れの深いもの（原文のまま掲載・全152件）

- ・鹿野祭り、本祭りで朝夜明け近くまで歩いたこと。（60代以下・男性）
- ・ふるさとミュージカルは子ども時代に出演経験があるため（40代以下・男性）
- ・鹿野祭り 普段会えない人に会えるから（60代以下・男性）
- ・特になし（60代以下・女性）
- ・ふるさとミュージカル。鹿野トレセンでの上演時代からコーラスで参加していて、毎年の恒例行事になっている。（60代以下・女性）
- ・盆踊りを教わって、やぐらを組んで、太鼓の演奏で踊っていた風物詩を、当たり前にも思っていました。が、いつのまにか太鼓もなくなってさびしくなりました。（60代以下・女性）
- ・鹿野まつり。いつもは静かな町なのに、祭りの日だけは町民や元住民、遠方の親族などでわちゃわちゃになるのが凄く楽しいです。（40代以下・女性）
- ・鹿野祭りです。初めて見た時に、この閑静な街にこんな盛り上がる祭りがあるのかと驚き、活気に魅力を感じました。また、かつては花火も打ち上がり、その盛り上がりぶりが移住後初めての祭りで特に印象に残っています。（70代以上・女性）
- ・運動会や学校行事では子どもたちの成長を見ることができ毎回楽しみにしてます（40代以下・女性）
- ・以前は、老人会などミュージカルが地元民で、運営・参加されてたこと（60代以下・女性）
- ・子どもの頃からの伝統行事であり、思い出がたくさんある。（70代以上・男性）
- ・子どもたちが自然の中で十分に遊べる環境が近くにあり、子ども塾などで地域の方が見守って活動してくれているため。（60代以下・女性）
- ・鷲峯山麓ハーフマラソン/みんなが協力しているから（60代以下・男性）
- ・地区運動会。部落の大イベント楽しい一日でした。年代もなく一生懸命の一日やった感があり年に一回の最高でしたが…さみしくなり、残念！（中学生・男性）
- ・川で魚のつかみ取り（40代以下・女性）

- ・町中に人がいっぱいいる光景（70代以上・男性）
- ・運動会は今は不参加ですが、以前大勢の人が参加していたのを思い出します（60代以下・女性）
- ・川や山での遊び、昔は川や山で子どもたちと楽しく過ごしていたから。（60代以下・女性）
- ・今はもうできないが（川や山での遊び）昔はきれいな水で泳いだりできた（60代以下・女性）
- ・土曜夜市は旧の方がにぎやかだったと思う。（60代以下・男性）
- ・地域一体となり楽しむことができて、その後の反省会（懇親会）でのコミュニケーションができるのがよい（70代以上・女性）
- ・子どもの頃の土曜夜市が楽しかった（60代以下・女性）
- ・地区運動会…形が変わり縮小されていますが、いつの時代でも運動会という行事はなくてはならないもの地域の皆さんが集まって、楽しい時間を過ごせると思うから。（中学生・男性）
- ・盆踊り/たくさんの人が踊るころ楽しかったです。鹿野まつり/ずーと続けてほしいで。（70代以上・女性）
- ・「いんしゅう鹿野盆踊り」は後継者難で廃止となったが、何とか工夫して再開できないかと思っています。（70代以上・男性）
- ・ふるさとミュージカルが2月の寒い時で、孫たちが出ていたので見に行きたいと思うけれど、出られない。今年は8月にあるとのことで見に出たいと思います。（70代以上・女性）
- ・鹿野祭り・・・接待に大変だけど残しておきたい行事（70代以上・女性）
- ・鹿野まつり（60代以下・女性）
- ・昔は、楽しみが少なかったので土曜夜市楽しみでした。（60代以下・女性）
- ・昔は町に活気があってよかったな。始めてみたら？夜市（70代以上・女性）
- ・全てです。なつかしいですね。もう一度、復活しないでしょうか？（70代以上・男性）

- ・ふるさとミュージカル、コーラスで参加したり、親族が出演したり、顔見知りの方が役者さんを演じられたりその後も町中の方と顔見知りとなり往来で立ち話出来たり"馴染み"という関係がありがたいと・・・（70代以上・女性）
- ・いんしゅう鹿野盆踊り。参加する町民等の活気が好ましい。楽しく過ごす場があるのが嬉しい。（70代以上・女性）
- ・いんしゅう鹿野盆踊り。町民同志の交友関係を高める。鹿野町に住む楽しさの一助になる。（70代以上・男性）
- ・河内川での水遊び。よく川で魚取りや水遊びをしたのが今も思い出話で出てきます。金曜夜市。よく友達と夏休み集まって遊んだから。子供だけで遊んでも安心して行かせられるから。（40代以下・男性）
- ・鹿野祭り。集まる場所（40代以下・男性）
- ・鹿野祭りはお嫁にくる前に大きなお腹で体験。そして子供が生まれて家族で体験できたことがこれからも続けていけると子供の成長も感じられて良い思い出だなと思った。（40代以下・女性）
- ・鹿野には市内のように子どもが遊ぶ場所が少ない。楽しかったと思えるものが無いと県外などに出てしまう。（40代以下・男性）
- ・鹿野祭り、ミュージカル、家族が出ていて関わっているから（40代以下・女性）
- ・鹿野祭り、ミュージカル、家族が出ていて関わっているから（40代以下・女性）
- ・私は県外から結婚を機に鳥取へ来ました。夫の育った町に家を建て、夫の母校に子どもたちが通う姿に感慨深く、鹿野ならではのお祭りや土曜夜市の雰囲気には…いいところだな…と思わされます。ほっとできる帰ってきたい場所だと思います。（40代以下・男性）
- ・毎年子供と一緒に参加しているので、楽しい思い出があります（40代以下・女性）
- ・鷲峯走破大会 完走出来た事（旧）夜市は子と、（新）夜市は孫と楽しめた（70代以上・女性）
- ・わったいな祭り、土曜夜市、金曜夜市での出店が楽しかった（60代以下・女性）

Q8 思い入れの深いイベント・行事 分析と今後の方向性

この設問の結果から読み取れることと、今後取り組んでいくべき方向性

結果から読み取れること

- 祭りに関する記述は「準備から関わる時間」「地区で一体になる感覚」など、当日より過程を価値とする声が多い。
- 中学生・若年層は夜市やまちのみせについて「友達と歩ける」「町が明るくなる」といった日常延長の楽しさを語る。
- 高年代では、規模が縮小した行事への惜しむ声、担い手不足への危機感が繰り返し現れる。
- 行事が世代間交流の数少ない接点になっていることを示す記述が複数ある。

今後取り組んでいくべき方向性

- 準備段階への参加を明示的に募集し、「本番だけ」でない関わり方を設計する。
- 縮小した行事は復元ではなく、現在の人員規模やニーズに合わせた形へ再設計する。
- 中学生・高校生の参加枠を常設し、世代間交流の接点を意図的に増やす。
- 各行事の運営ノウハウを文書化し、担い手交代に耐える仕組みにする。

Q9 「この人、すごいな」と思う方 全回答（1／3）

周囲で頼りにしている人・助けられている人（原文のまま掲載・全129件）

・鳥カフェで働いている徳岡さん

・鹿野ふるさとミュージカルに長年出演しており、誘ってくれた、山本七海さん

・いつも親切で、何でもできる古田さん、みんなに優しく、困った時に助けてくださる伊井さん、いつも明るく接してくださる伊吹さん

・箱庭雑貨店さんは古くからいるかのように町をささえてくださっている

・関わりが少なく分からない

・ゴミ置き場のネットを出したり片付けたりして下さる方

・マラソン大会を作った長谷川誠一さん

・町のためにいろいろ活動してくださっている岡田さん

・いつも笑顔で接客する夢こみちの名物店員の岡田さん、笑顔とおもてなしの心、いつも素敵な気遣いをしてくださる童里夢のスタッフの皆さん、鹿野地区公民館の重鎮、異動せず鹿野にずっといて欲しい頼れる山本さん、鹿野の素敵な写真を撮ってくれる杉野さん、鹿野の素敵な写真を撮ってくれる三谷さん、鹿野のことをいつも発信してくれる日本海新聞鹿野通信部の池本さん、

・鹿野を盛り上げている「いんしゅう鹿野まちづくり協議会」の皆さま

・近所の小学生。合ったことなかったのに小学生の方から挨拶してくれて嬉しかったです

・元気な瑛大さん

・場を盛り上げてくれる鈴木さん

・野菜や食べものをおすそ分けしてくれる人

・いつも野菜をくれる方（名前わかりません）

・いつも会ったら挨拶を返してくれる方々

・毎朝挨拶をしていろいろ教えてくれる安岡さん

・いつも横断歩道に立っておられる方。

・名前は、覚えてないんですけど、いつも会った人には、必ず元気に挨拶をしていてすごいなと思いました。

・母

・場を盛り上げてくれる鈴木瑛太さん

・わからな事を教えてくださる岡田嘉一さん

・いつも大橋で朝旗持ちをしてくださっている、年配の方に感謝します。

・ゴミ回収業者さん

・毎朝、横断歩道に立ってるお巡りさん。雨の日も立っていて、子供達の登校を見守りありがとうございます。

・山根快心

・雪が降った時の各家が自分の家の前をキレイに雪かきされてること、家の前に花を植えたり各自きれいにされてること、住民一人ひとりのお陰で街中がきれいなんだと思います。

・鹿野の医療を一手に支えている乾医院の乾先生

・地味に優しいこうさん

・誰にでも笑顔でおられる岡田実さん

・村上公民館長・森村体育協会会長 お二人供、地域のリーダーとして、率先、先頭に立ち町民を導いて頂いている。

・岡田よしかず氏の存在

・久野勇さん 大変お世話になりました

・困ったら快く相談にのってくださる足立雅子さん

・住民の方みなさん。

・幼稚園でたけのこ掘り、しいたけの植菌、芋の苗植えなどのお世話をしてくださる地域のみなさん

・挨拶してくれる人がいる

・安岡はおもろい

・陽人、会長をしている

・いつも仲良く接してくれる岸本さん

・大橋の近くで挨拶をしてくれる地域のおじさん

・いつも優しく接してくれる先生

・毎朝元気に挨拶をしている山下さんすごい

・いつも優しい地域の人

・毎朝横断歩道のところで挨拶しているおじさん

・場を盛り上げる江谷くん

・委員長をしている同級生や上級生はすごいな。勉強や生活態度が完璧な山下翔生さんすごいな。

・声がでかい乾くん

・会う時に毎回話しかけてくれる遠藤かつおさん

・優しくて可愛い佐藤さん 勉強を教えてくれる三島さん

・いつもやさしい木村くん

・小さなことでもありがとうという岸本さん

・声が大きい乾くん

・いつも話を聞いてくれる先生

Q9 「この人、すごいな」と思う方 全回答（2／3）

周囲で頼りにしている人・助けられている人（原文のまま掲載・全129件）

- ・通学路にいる安全パトロールをしているかた
- ・いつも農作業や公民館の仕事を頑張っている横山さん
- ・近所の人たち

- ・毎朝元気な挨拶をしている乾くん
- ・毎朝元気な挨拶をしてくれる杉原さん

- ・山本さん。演劇に熱心に取り組んでいるから。
- ・杉原さんはいつも大きな声で挨拶してくれる

- ・毎朝元気な挨拶をしてくれる杉原さん
- ・場を盛り上げてみんなを笑わせてくれる江谷くん

- ・いつでもどこでも面白い秦君
- ・場の雰囲気を楽しませてくれる秦さん

- ・面白い話で笑わせてくれる小川さん いつも挨拶をしてくださる廣田さん
いつも面白い自分のおじいちゃん

- ・毎朝元気にあいさつをしてくれる乾さん
- ・いつもおもしろいことをしてくれる江谷くん、いつも元気な人井伊くん
- ・たくさんお出かけにつれていってくれるお母さん

- ・いつも挨拶を欠かさない石尾さん
- ・かずまさんがばをもりあげてる

- ・勝田に公民館の山下さん

- ・いつも空気を明るくする安岡くん

- ・町民個々全ての人 小さくても大きくてもなんらかの役割をみんな持っている

- ・小鷲河地区公民館の職員さん。小鷲河の事を盛り上げようと日々頑張ってくれています。

- ・鬼入道の畑作りを頑張っている道盛さん、朝の挨拶運動をしている安岡さんと鈴木さん

- ・学校応援団の人たち

- ・谷口かずまさん

- ・家族。
- ・日野久子さんがいつも花がありますよ。

- ・地域の様々な役をやってこられた岡田嘉一さん。ふるさと鹿野の運営やまちづくりを担われてきた長尾さん。空き家管理やよその方を招き入れいているいんしゅう鹿野まちづくり協議会の佐々木さん、小林さん、向井さん。鹿野のカリスマ美容師の三谷健吾さん。公私関係なくまちづくりに関わっておられる小林支所長。流郷元消防団長。ターミーさん。ミュージカルの浩四郎さん徳岡さん長谷川先生。めっちゃ美味しい料理作るさくらの大將。乾医院。稲垣歯科。子ども食堂の白鳥さん。ディアーズの勝田さん。鳥の劇場の皆さん。城山保全の豊さん。亡くなられたけど和久さん、大石さん、永原隆さん、小川さん、久野さん、諷人さん。土曜夜市の風海さん。すごい人、素敵なお人、書ききれません。

- ・筒井さんは町の事を一番に考えてがんばっておられて感心する。

- ・町の皆さんに顔が知られている祖母

- ・色々な助言や声をかけてくれる椿酒店さん

- ・子ども食堂の食材としての畑作り、鹿野学園通学時の交通指導員、町内会イベント、お年寄りの移動補助（車の無い方の送り迎え）をしている紺屋町の伊井さん。すべてボランティアです。

- ・佐々木ターミーさん いつもパワーをいただいている

- ・くのさん。困ってる人に手をさしのべてくれる。

- ・厳しい指摘もしてくれる、岡田モータースの岡田嘉一さん。

- ・岡田モータースの嘉一さん

- ・前田さんです。公民館単位だけでなく、街でも顔が効き、鹿野城下町の街中ガイド、ジオガイドとしても活躍しておられるからです。

- ・勝谷地区公民館の方には子育てをする中でたくさん助けていただいてます。ありがたいです。

- ・色々な活動されるてる紙原さん

- ・居住して5、6年まだわからない

- ・いろいろ部落の人に助けてもらっている

- ・地域の人

- ・農機を直せる上加藤さん

- ・機会を直せる加藤さん

- ・草刈りを行ってくれる浜田様と他数人の方

- ・農機具修理ができる加藤修一さん

- ・通学路にいつも立っていてくれる方

- ・草刈りをしてくれる兄

- ・田・畑・林をきれいにしてくれている村の方々

- ・毎回鹿野町を新聞等で出して下さる伊井さんと小林あや子さん（ボランティアに一生懸命な方）

- ・学校ボランティアの方々

- ・岡田みのりさん いつも笑顔であいさつしてくれる

- ・ハス畑を整備される加治町の原さん

- ・いつも花壇を綺麗にしてくれる人

Q9 「この人、すごいな」と思う方 全回答（3／3）

周囲で頼りにしている人・助けられている人（原文のまま掲載・全129件）

- ・坂口英司さんが毎年雪の時、何回も道をあけて下さいます。とてもありがたく思っています。
- ・伊井照幸
- ・消防団の皆様
- ・村上諭史さん。30～40代の方々が遊んでいたことを今の小さい子に体験してもらおうとイベントをしているから
- ・鹿野祭りの実行委員
- ・保育園の先生方
- ・鹿野祭に関わる全ての方、土曜夜市や町店を支える方
- ・村上恵子さん
- ・こじか園の先生方、スタッフの人、乾医院の人たち
- ・村上恵子さん
- ・気高木工の岩竹さん

※質問の意図と明らかに異なる回答については、掲載を見送らせていただきました。

Q9 「この人、すごいな」と思う方 分析と今後の方向性

この設問の結果から読み取れることと、今後取り組んでいくべき方向性

結果から読み取れること

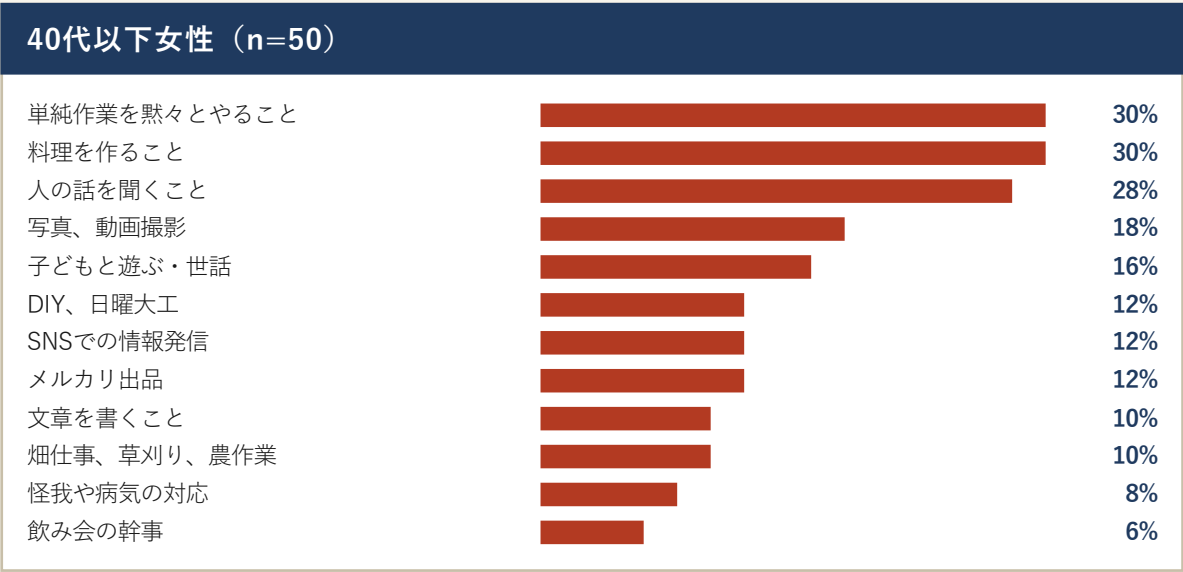
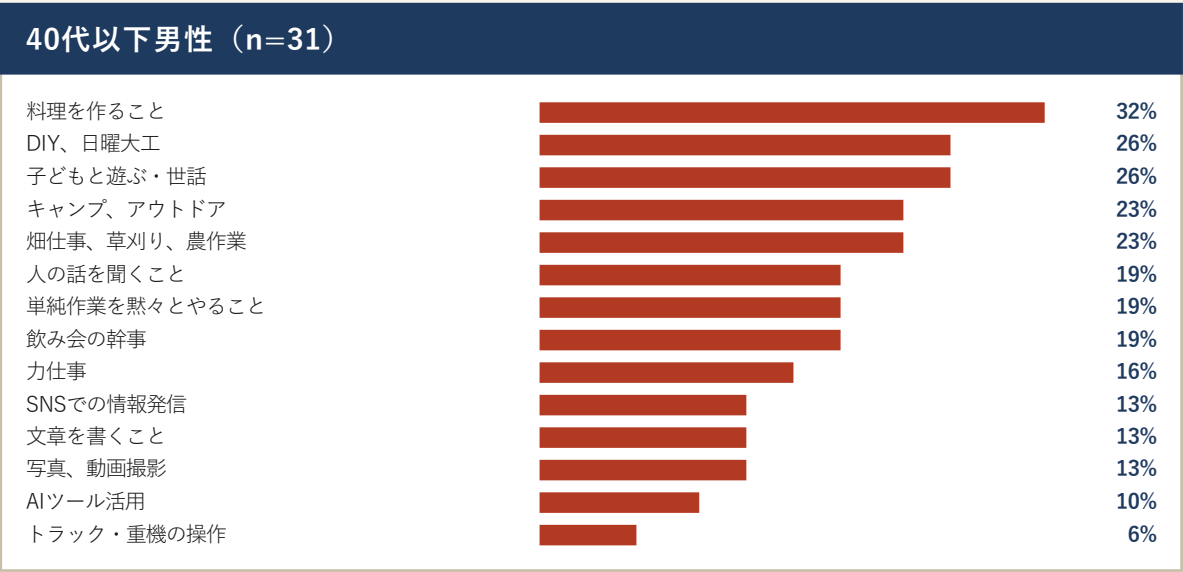
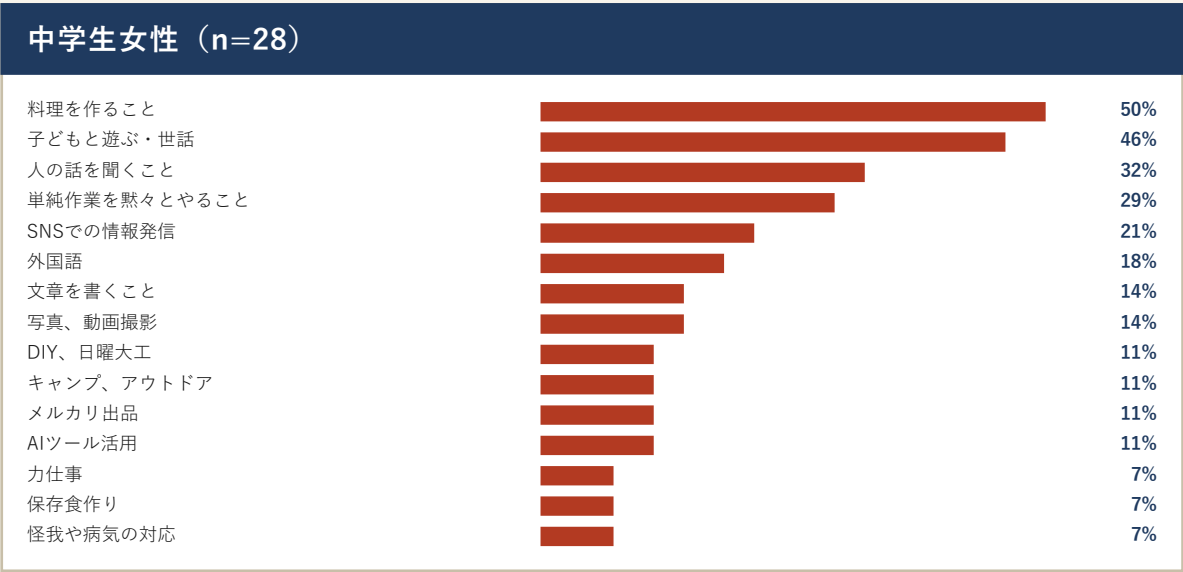
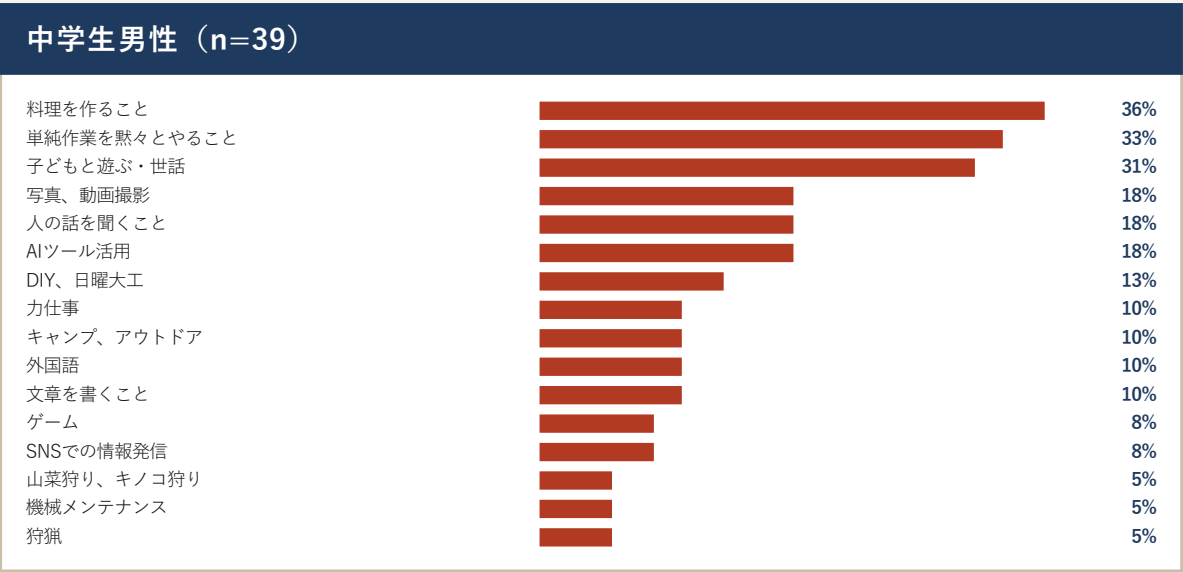
- 具体的な個人名が数多く挙がり、地域の支え合いが特定の人物に強く依存している構造がみえる。
- 自治会長・民生委員・消防団など役職者に加え、日常的な声かけや草刈りを担う人への感謝が目立つ。
- 中学生からは家族・先生・近所の高齢者など、身近な大人を挙げる回答が多い。
- 同じ人物が複数回答から挙がる例があり、負担の集中が懸念される。

今後取り組んでいくべき方向性

- 挙げた人材を「地域の得意技リスト」として整理し、活動ごとに協力を依頼できる状態にする。
- 特定個人への負担集中を避けるため、役割の分担と後継づくりを計画的に進める。
- 感謝が可視化される機会（表彰・紹介記事）を設け、担い手の動機づけを強める。
- 中学生が挙げた身近な大人を、学校と地域をつなぐ橋渡し役として位置づける。

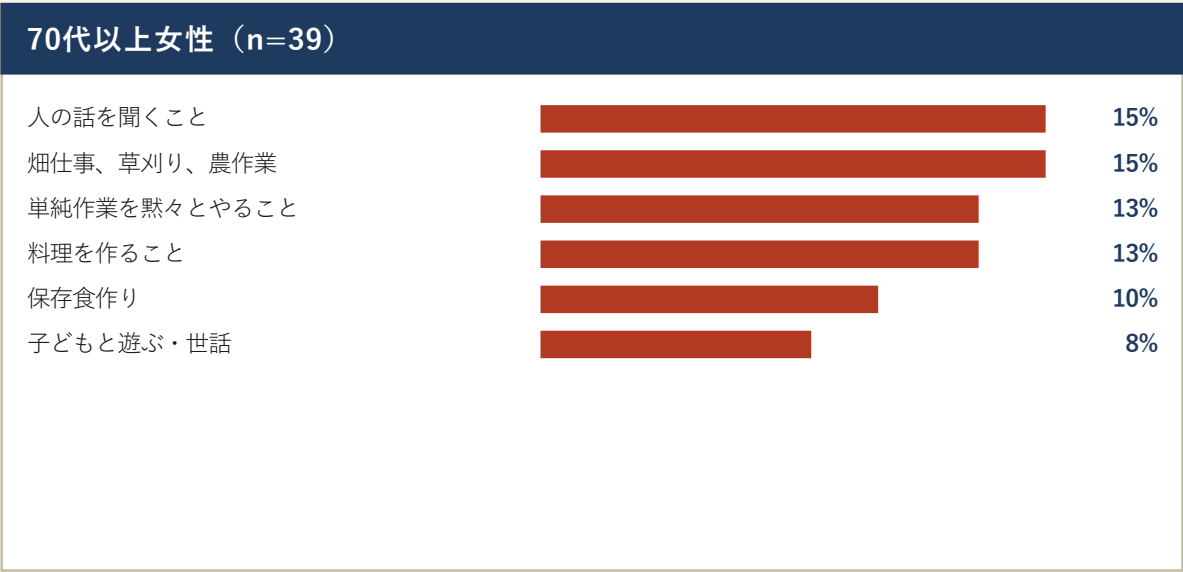
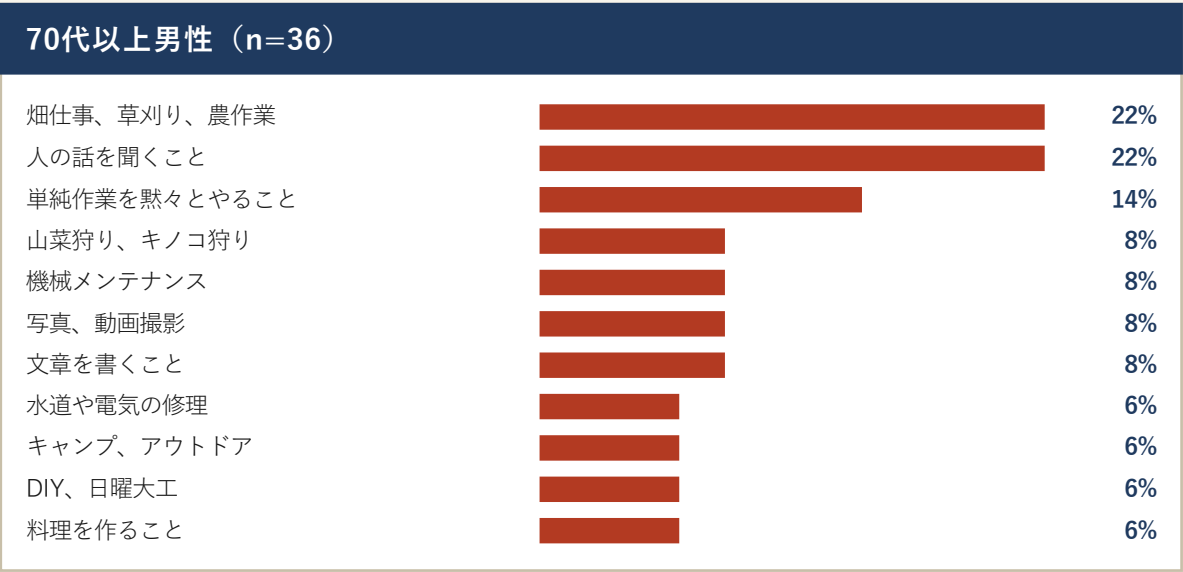
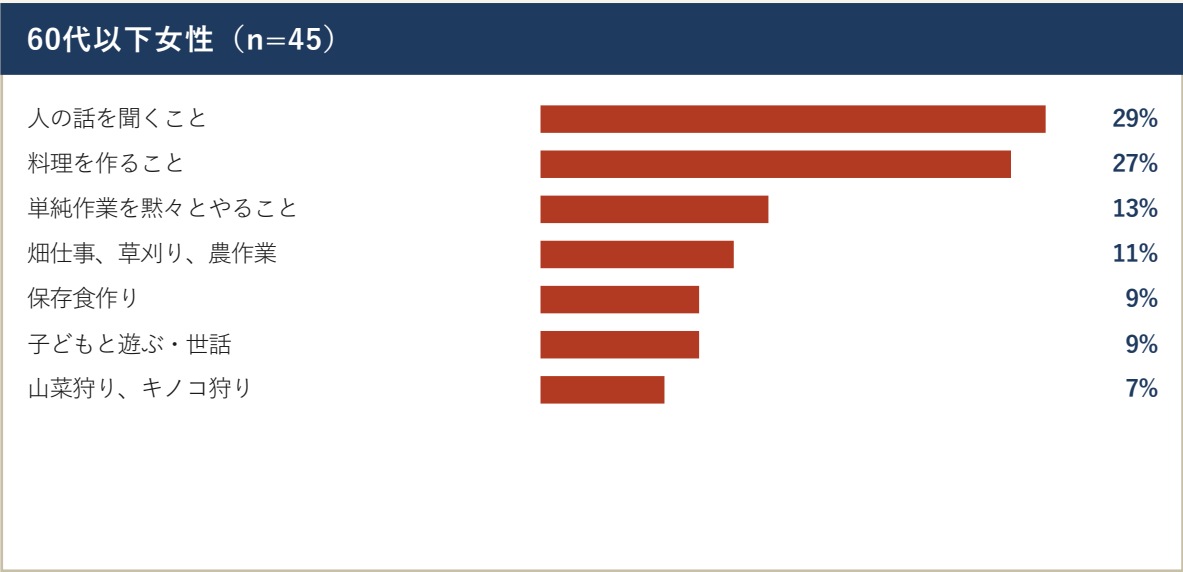
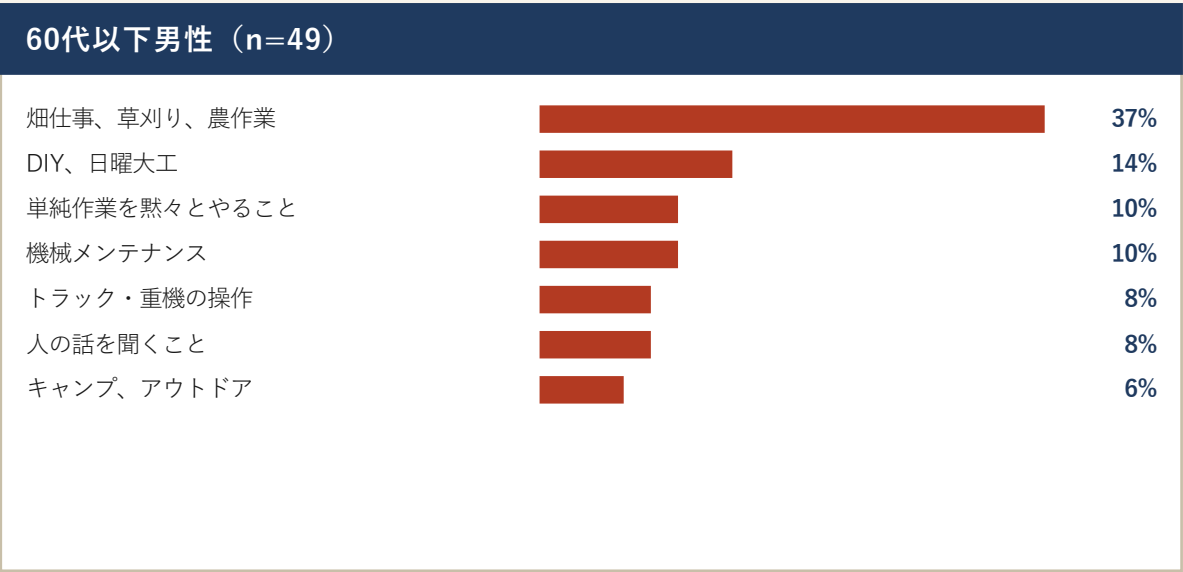
Q10 好きなこと・ちょっと得意なこと（中学生・40代以下）

各属性の回答者数に占めるチェック率。回答率5%以上の項目をすべて掲載。



Q10 好きなこと・ちょっと得意なこと（60代以下・70代以上）

各属性の回答者数に占めるチェック率。回答率5%以上の項目をすべて掲載。



Q10 好きなこと・得意なこと 分析と今後の方向性

この設問の結果から読み取れることと、今後取り組んでいくべき方向性

結果から読み取れること

- 全体では「料理」「人の話を聞く」「単純作業を黙々と」が上位で、日常の助け合いに直結するスキルが厚い。
- 60代以上の男性は「畑仕事・草刈り」「機械メンテナンス」「重機操作」が高く、災害時や維持管理で即戦力になる。
- 中学生は「AIツール活用」「SNS発信」「写真・動画撮影」の比率が他世代より高い。
- 40代以下は子育て・DIY・アウトドアなど、企画運営に活かせる得意分野が幅広い。

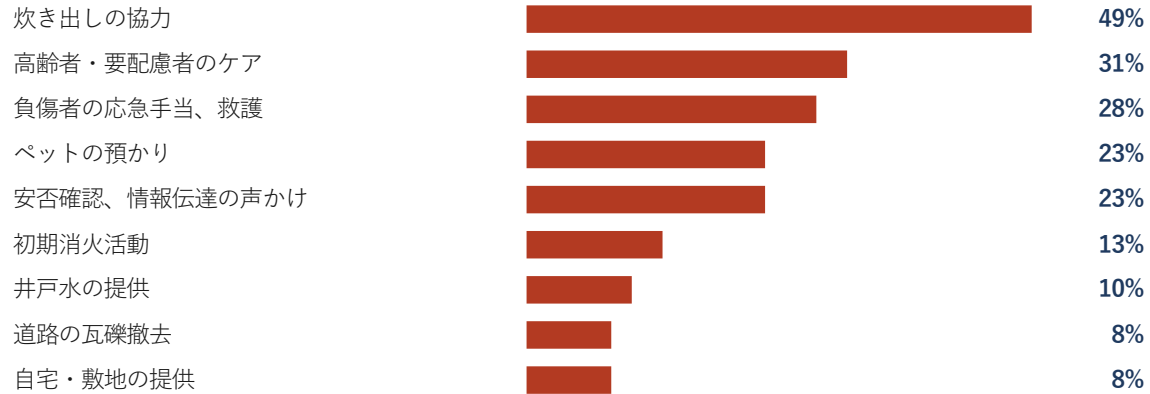
今後取り組んでいくべき方向性

- 得意分野を登録できる人材バンクを整備し、行事や有事に呼びかけられる体制をつくる。
- 中学生のデジタルスキルを地域広報（SNS・動画）に活かす協働メニューを用意する。
- 農作業・機械操作の技能を、若年層への講習という形で継承する場を設ける。
- 「単純作業を黙々と」「人の話を聞く」といった控えめな得意を活かせる小さな役割を用意する。

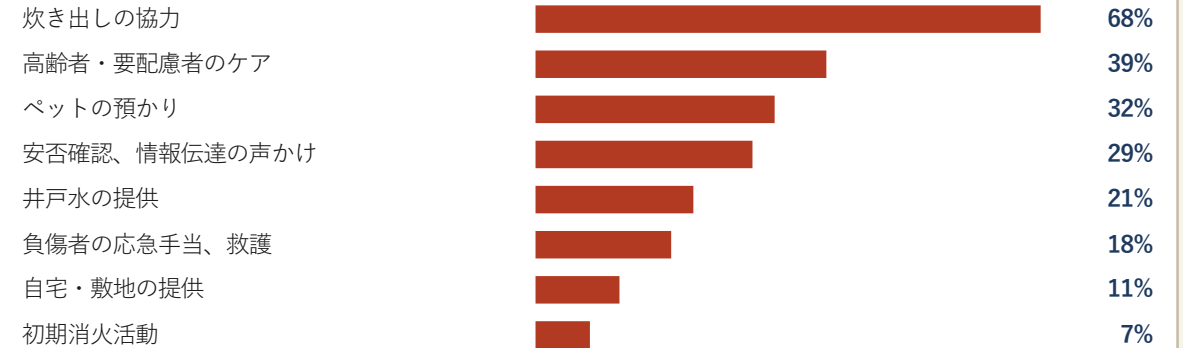
Q11 災害時に自分ができること（中学生・40代以下）

各属性の回答者数に占めるチェック率。回答率5%以上の項目をすべて掲載。

中学生男性（n=39）



中学生女性（n=28）



40代以下男性（n=31）

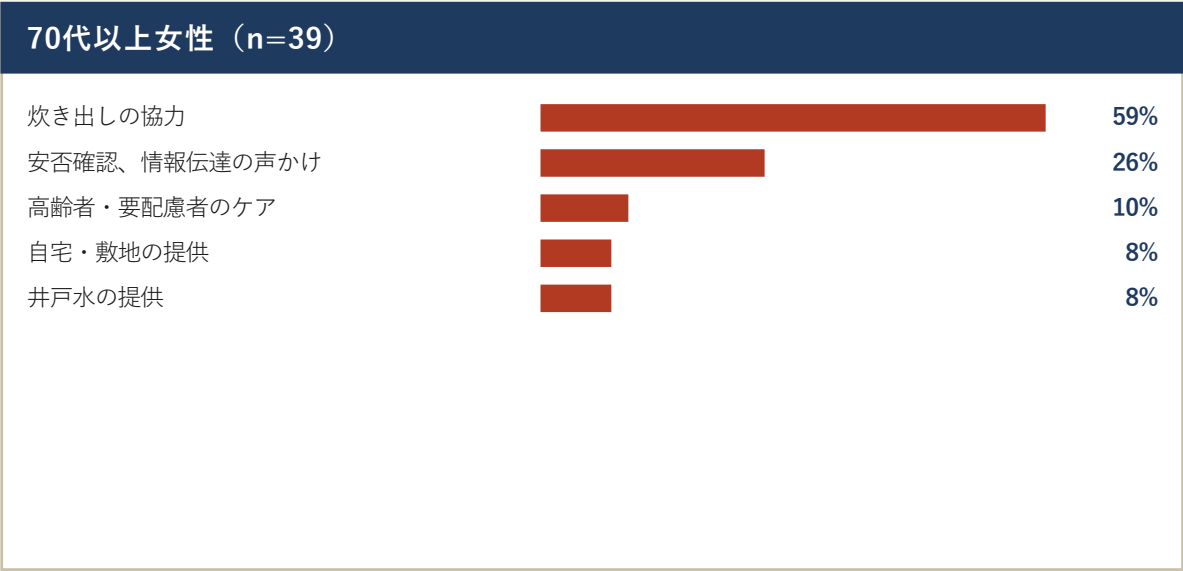
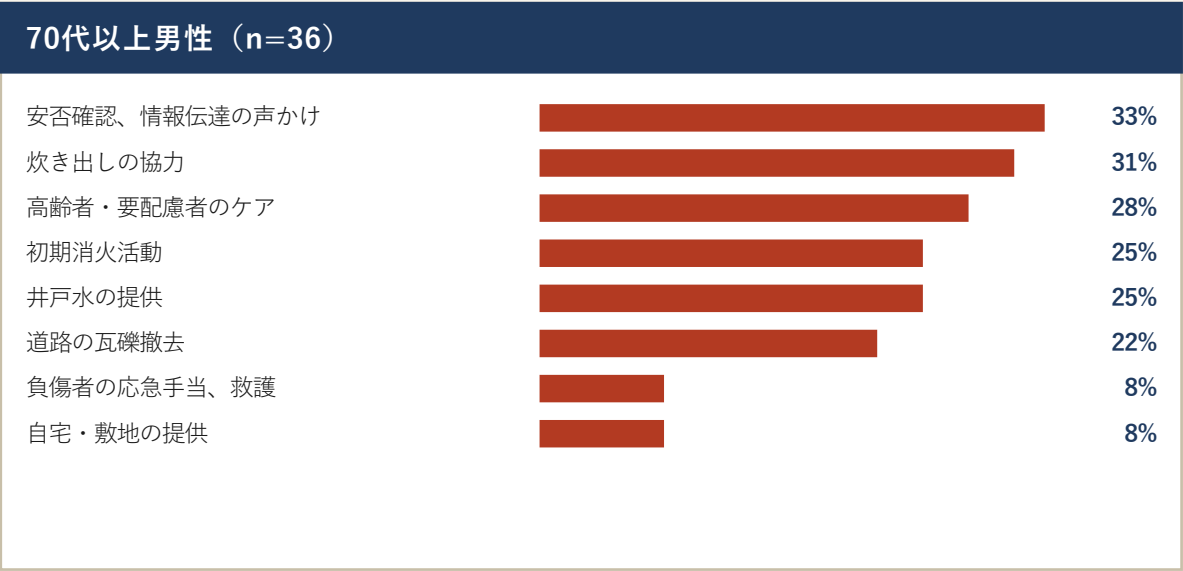
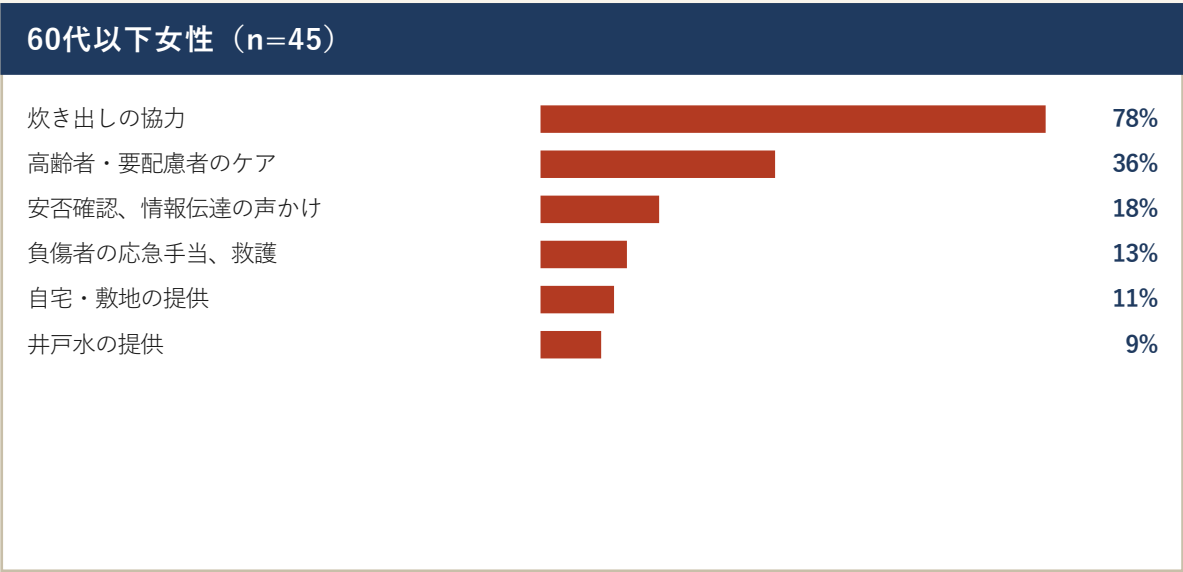
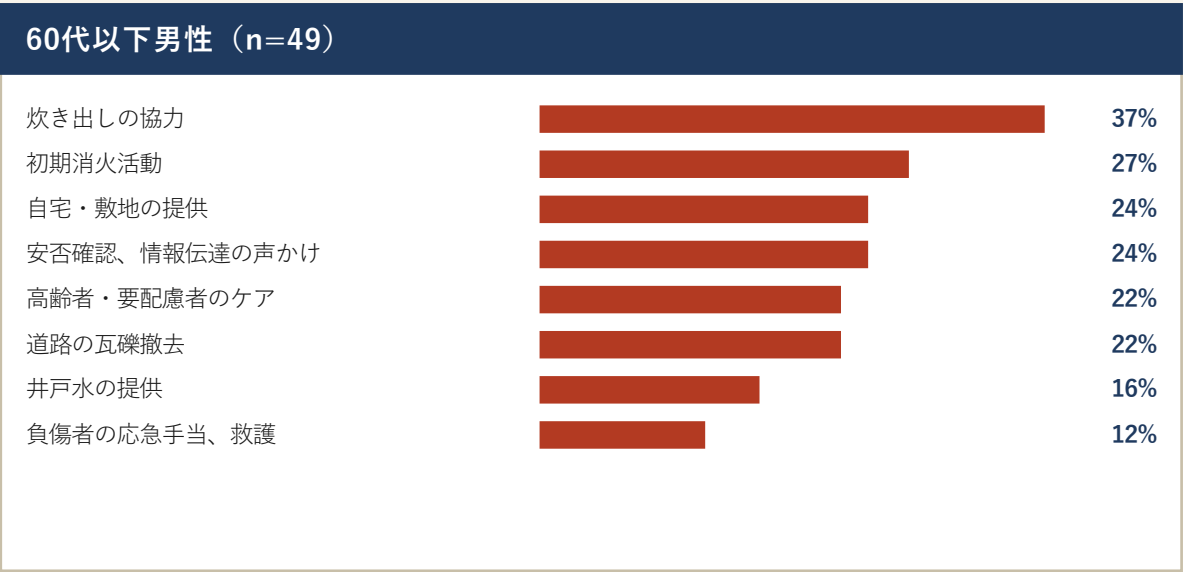


40代以下女性（n=50）



Q11 災害時に自分ができること（60代以下・70代以上）

各属性の回答者数に占めるチェック率。回答率5%以上の項目をすべて掲載。



Q11 災害時にできること 分析と今後の方向性

この設問の結果から読み取れることと、今後取り組んでいくべき方向性

結果から読み取れること

- 「炊き出しの協力」が170件で最多。特に女性各層で6～8割と高く、支援活動の中核になり得る。
- 「初期消火」「瓦礫撤去」は40代以下男性・60代以下男性・70代以上男性に集中し、力仕事の担い手が男性に偏る。
- 中学生も「炊き出し」「高齢者のケア」「ペットの預かり」で高い意欲を示し、戦力として想定できる。
- 「安否確認・声かけ」は全属性で2～4割あり、初動の情報伝達を担える人材は広く分布している。

今後取り組んでいくべき方向性

- 炊き出し・安否確認・要配慮者支援を軸に、属性別の役割分担を明記した地区防災計画へ更新する。
- 重機・チェーンソーの講習会を開催するとともに、操作可能者を事前登録し、資機材の所在と併せて共有する。
- 中学生を含めた実践的な避難・炊き出し訓練を年1回実施する。
- ペット同行避難や要配慮者名簿など、意欲が示された分野の運用ルールを先に整える。

Q12 重要度－満足度ギャップ（8属性別） 1／3

数値＝重要度平均－満足度平均。各属性列で上位10項目＝赤、下位10項目＝青。うちトップ5・ワースト5は濃い色＋太字で強調。

項目（1～38）	中学男	中学女	40代男	40代女	60代男	60代女	70代＋男	70代＋女
1. 地域の祭りや伝統行事の保存や継承	0.23	0.00	0.60	0.18	0.25	0.33	0.37	0.52
2. 地区運動会などのスポーツ交流行事の開催	-0.05	-0.11	0.33	-0.02	-0.08	0.00	0.14	0.13
3. 高齢者の介護予防につながる活動	0.15	0.04	0.57	0.48	0.54	0.41	0.53	0.70
4. 子どもたちが楽しめる活動	0.31	0.14	0.93	0.38	0.53	0.67	0.64	0.66
5. 火災や有事、災害への備え	0.38	0.43	0.90	0.84	0.98	0.92	0.76	1.09
6. 鳥獣害対策	0.36	0.14	0.83	0.57	1.10	0.83	1.11	1.02
7. 道路や河川の清掃、美化	0.51	0.64	0.83	0.48	0.94	0.67	0.77	0.90
8. 家の周りの雪対策	0.33	0.46	1.03	0.76	0.76	0.60	0.54	0.91
9. 空き家の管理や移住支援活動	0.64	0.71	1.13	0.77	0.81	0.62	0.76	0.86
10. 農地や山林の維持管理、耕作放棄地対策	0.62	0.50	1.30	0.75	1.18	1.02	1.12	1.18
11. 自家用車以外の移動手段確保、移動支援	0.56	0.36	1.33	1.00	1.31	1.16	1.00	1.35
12. 高齢者や障がい者への生活支援	0.46	0.54	0.77	0.68	0.83	0.63	0.80	0.93
13. 広報誌や回覧板、チラシでの地域情報発信	-0.08	0.11	0.40	0.16	0.12	0.28	-0.02	0.34

Q12 重要度－満足度ギャップ（8属性別） 2／3

数値＝重要度平均－満足度平均。各属性列で上位10項目＝赤、下位10項目＝青。うちトップ5・ワースト5は濃い色＋太字で強調。

項目（1～38）	中学男	中学女	40代男	40代女	60代男	60代女	70代＋男	70代＋女
14. インターネットやSNSでの地域情報発信	0.54	0.29	1.20	0.48	0.62	0.27	0.24	0.62
15. 特産品や土産物の開発	0.28	0.04	0.60	0.27	0.69	0.41	0.60	0.66
16. 地域内の就職先、雇用機会の確保	0.64	0.18	1.20	0.75	1.35	1.00	1.09	0.97
17. ご近所で助け合う仕組み、自治会活動	0.21	0.36	0.73	0.33	0.60	0.57	0.50	0.83
18. 住民が集まり、交流する機会の確保	0.21	0.21	0.73	0.07	0.42	0.52	0.27	0.70
19. 高齢者同士の交流機会、敬老会活動	0.15	0.29	0.10	-0.02	0.23	0.15	0.18	0.44
20. 子育て世代の交流機会	0.44	0.07	0.93	0.39	0.58	0.48	0.60	0.52
21. 運動やスポーツに親しむ機会	0.41	0.18	0.60	-0.04	0.14	0.34	0.30	0.32
22. 文化や芸術に親しむ機会	0.03	0.14	0.33	-0.06	0.17	0.22	0.27	0.25
23. 出会いの場づくり、婚活支援	0.49	0.14	0.50	0.09	0.69	0.55	1.19	0.58
24. 史跡や名所の保全活動	0.31	0.25	0.70	0.22	0.50	0.38	0.44	0.44
25. 住民の学びの場（講座、サークル等）づくり	0.21	0.57	-0.03	-0.08	0.27	0.29	0.19	0.33
26. 観光資源の活用、収益化	0.56	0.50	1.27	0.34	0.65	0.62	0.59	0.57

Q12 重要度－満足度ギャップ（8属性別） 3／3

数値＝重要度平均－満足度平均。各属性列で上位10項目＝赤、下位10項目＝青。うちトップ5・ワースト5は濃い色＋太字で強調。

項目（1～38）	中学男	中学女	40代男	40代女	60代男	60代女	70代＋男	70代＋女
27. 日々の悩みや困りごとを相談できる窓口	0.44	0.79	0.50	0.36	0.67	0.62	0.66	0.42
28. AIなどの最先端技術に触れる機会	0.59	0.29	0.73	0.48	0.49	0.46	0.86	0.22
29. 地域外の方と交流する機会	0.56	0.25	0.73	0.24	0.38	0.36	0.55	0.29
30. 外国、異文化の方と交流する機会	0.59	0.57	0.87	0.22	0.40	0.50	0.45	0.25
31. 地元で買い物や通院ができる環境	1.18	0.75	1.59	1.42	1.15	0.96	0.74	0.88
32. 地域の歴史（亀井さん等）の継承	0.13	0.32	0.27	0.20	0.38	0.31	0.27	0.27
33. 何かをやろう！という地域内の雰囲気	0.31	0.54	0.87	0.48	0.62	0.54	0.48	0.56
34. まちづくりに様々な住民の声を聞く機会	0.51	0.50	0.90	0.52	0.58	0.67	0.55	0.56
35. 地域の子どもたちと大人たちと繋がる機会	0.44	0.43	0.60	0.20	0.44	0.52	0.59	0.51
36. 新しい移住者と地元住民との交流の機会	0.79	0.43	0.97	0.26	0.44	0.62	0.62	0.47
37. こじか園や鹿野学園に住民が関わる機会	0.51	0.29	0.57	0.12	0.23	0.43	0.48	0.36
38. 色々な仕組みを見直し、改善していく雰囲気	0.92	0.39	1.17	0.82	0.79	0.81	0.72	0.55

ギャップ上位10項目（濃い色＝トップ5）

ギャップ下位10項目（濃い色＝ワースト5）

Q12 属性別 重要度ランキング TOP10（中学生・40代以下）

各属性の重要度平均（4点満点）が高い順の上位10項目。

中学生男性（n=39）			中学生女性（n=28）		
1	地元で買い物や通院ができる環境	3.72	1	火災や有事、災害への備え	3.61
2	子どもたちが楽しめる活動	3.59	2	道路や河川の清掃、美化	3.50
3	観光資源の活用、収益化	3.54	3	高齢者・障がい者の生活支援	3.46
4	仕組みを見直す雰囲気	3.54	4	地元で買い物や通院ができる環境	3.46
5	火災や有事、災害への備え	3.49	5	祭り・伝統行事の継承	3.43
6	移住者と地元住民の交流	3.49	6	史跡や名所の保全活動	3.43
7	家の周りの雪対策	3.46	7	子どもたちが楽しめる活動	3.39
8	高齢者・障がい者の生活支援	3.46	8	家の周りの雪対策	3.32
9	こじか園・鹿野学園への関与	3.46	9	空き家管理・移住支援	3.32
10	祭り・伝統行事の継承	3.44	10	農地・山林の維持管理	3.32
40代以下男性（n=31）			40代以下女性（n=50）		
1	子どもたちが楽しめる活動	3.77	1	火災や有事、災害への備え	3.58
2	地元で買い物や通院ができる環境	3.76	2	地元で買い物や通院ができる環境	3.58
3	家の周りの雪対策	3.70	3	家の周りの雪対策	3.54
4	祭り・伝統行事の継承	3.67	4	高齢者・障がい者の生活支援	3.36
5	火災や有事、災害への備え	3.67	5	道路や河川の清掃、美化	3.32
6	農地・山林の維持管理	3.60	6	子どもたちが楽しめる活動	3.30
7	移動手段の確保・移動支援	3.60	7	仕組みを見直す雰囲気	3.28
8	空き家管理・移住支援	3.57	8	移動手段の確保・移動支援	3.24
9	ネット・SNSでの発信	3.57	9	鳥獣害対策	3.22
10	仕組みを見直す雰囲気	3.57	10	空き家管理・移住支援	3.18

Q12 属性別 重要度ランキング TOP10（60代以下・70代以上）

各属性の重要度平均（4点満点）が高い順の上位10項目。

60代以下男性（n=49）			60代以下女性（n=45）		
1	地元で買い物や通院ができる環境	3.57	1	火災や有事、災害への備え	3.57
2	火災や有事、災害への備え	3.44	2	地元で買い物や通院ができる環境	3.45
3	移動手段の確保・移動支援	3.44	3	子どもたちが楽しめる活動	3.34
4	鳥獣害対策	3.41	4	鳥獣害対策	3.34
5	家の周りの雪対策	3.40	5	家の周りの雪対策	3.34
6	農地・山林の維持管理	3.39	6	移動手段の確保・移動支援	3.32
7	道路や河川の清掃、美化	3.35	7	高齢者・障がい者の生活支援	3.29
8	空き家管理・移住支援	3.31	8	道路や河川の清掃、美化	3.27
9	高齢者・障がい者の生活支援	3.29	9	農地・山林の維持管理	3.25
10	地域内の雇用の確保	3.29	10	祭り・伝統行事の継承	3.21
70代以上男性（n=36）			70代以上女性（n=39）		
1	高齢者・障がい者の生活支援	3.25	1	火災や有事、災害への備え	3.59
2	火災や有事、災害への備え	3.23	2	家の周りの雪対策	3.50
3	鳥獣害対策	3.23	3	移動手段の確保・移動支援	3.44
4	ご近所の助け合い・自治会	3.12	4	地元で買い物や通院ができる環境	3.39
5	子どもたちが楽しめる活動	3.09	5	道路や河川の清掃、美化	3.29
6	農地・山林の維持管理	3.09	6	鳥獣害対策	3.26
7	移動手段の確保・移動支援	3.09	7	ご近所の助け合い・自治会	3.24
8	地域内の雇用の確保	3.09	8	高齢者の介護予防活動	3.21
9	出会いの場づくり、婚活支援	3.09	9	子どもたちが楽しめる活動	3.21
10	家の周りの雪対策	3.06	10	農地・山林の維持管理	3.21

Q12 属性別 重要度ランキング WORST10（中学生・40代以下）

各属性の重要度平均（4点満点）が低い順の下位10項目。

中学生男性（n=39）			中学生女性（n=28）		
1	広報誌・回覧板での発信	2.95	1	出会いの場・婚活支援	2.64
2	地区運動会などの交流行事	3.00	2	AIなど最先端技術の機会	2.82
3	住民の学びの場づくり	3.00	3	就職先・雇用機会の確保	2.89
4	出会いの場・婚活支援	3.03	4	子育て世代の交流機会	2.89
5	外国・異文化の方との交流	3.05	5	地区運動会などの交流行事	2.93
6	住民が交流する機会	3.08	6	文化・芸術に親しむ機会	3.04
7	高齢者同士の交流機会	3.08	7	外国・異文化の方との交流	3.04
8	文化・芸術に親しむ機会	3.08	8	鳥獣害対策	3.07
9	悩み・困りごとの相談窓口	3.08	9	地域外の方との交流	3.11
10	ご近所の助け合い・自治会	3.15	10	移動手段の確保・移動支援	3.14
40代以下男性（n=31）			40代以下女性（n=50）		
1	住民の学びの場づくり	2.77	1	出会いの場・婚活支援	2.52
2	高齢者同士の交流機会	2.87	2	地区運動会などの交流行事	2.56
3	地域の歴史の継承	2.90	3	外国・異文化の方との交流	2.72
4	出会いの場・婚活支援	2.97	4	高齢者同士の交流機会	2.74
5	広報誌・回覧板での発信	3.00	5	住民の学びの場づくり	2.74
6	悩み・困りごとの相談窓口	3.00	6	AIなど最先端技術の機会	2.74
7	地区運動会などの交流行事	3.03	7	運動・スポーツの機会	2.76
8	特産品・土産物の開発	3.03	8	地域外の方との交流	2.78
9	文化・芸術に親しむ機会	3.07	9	住民が交流する機会	2.80
10	AIなど最先端技術の機会	3.10	10	文化・芸術に親しむ機会	2.80

Q12 属性別 重要度ランキング WORST10（60代以下・70代以上）

各属性の重要度平均（4点満点）が低い順の下位10項目。

60代以下男性（n=49）			60代以下女性（n=45）		
1	地区運動会などの交流行事	2.27	1	地区運動会などの交流行事	2.70
2	運動・スポーツの機会	2.49	2	AIなど最先端技術の機会	2.74
3	外国・異文化の方との交流	2.49	3	地域外の方との交流	2.74
4	AIなど最先端技術の機会	2.60	4	ネット・SNSでの発信	2.77
5	地域外の方との交流	2.67	5	外国・異文化の方との交流	2.79
6	文化・芸術に親しむ機会	2.69	6	特産品・土産物の開発	2.81
7	住民の学びの場づくり	2.71	7	高齢者同士の交流機会	2.86
8	こじか園・鹿野学園への関与	2.71	8	出会いの場・婚活支援	2.86
9	出会いの場・婚活支援	2.73	9	運動・スポーツの機会	2.91
10	子どもと大人が繋がる機会	2.79	10	文化・芸術に親しむ機会	2.93
70代以上男性（n=36）			70代以上女性（n=39）		
1	外国・異文化の方との交流	2.35	1	AIなど最先端技術の機会	2.35
2	地区運動会などの交流行事	2.44	2	外国・異文化の方との交流	2.42
3	地域の歴史の継承	2.55	3	出会いの場・婚活支援	2.55
4	地域外の方との交流	2.58	4	地域外の方との交流	2.55
5	住民の学びの場づくり	2.59	5	地区運動会などの交流行事	2.60
6	文化・芸術に親しむ機会	2.61	6	移住者と地元住民の交流	2.64
7	ネット・SNSでの発信	2.62	7	運動・スポーツの機会	2.66
8	運動・スポーツの機会	2.67	8	住民の学びの場づくり	2.66
9	何かをやろうという雰囲気	2.70	9	悩み・困りごとの相談窓口	2.67
10	観光資源の活用、収益化	2.72	10	こじか園・鹿野学園への関与	2.70

Q12 属性別 満足度ランキング TOP10（中学生・40代以下）

各属性の満足度平均（4点満点）が高い順の上位10項目。

中学生男性（n=39）			中学生女性（n=28）		
1	子どもたちが楽しめる活動	3.28	1	祭り・伝統行事の継承	3.43
2	祭り・伝統行事の継承	3.21	2	子どもたちが楽しめる活動	3.25
3	地域の歴史の継承	3.18	3	高齢者の介護予防活動	3.18
4	高齢者の介護予防活動	3.15	4	火災や有事、災害への備え	3.18
5	家の周りの雪対策	3.13	5	史跡や名所の保全活動	3.18
6	火災や有事、災害への備え	3.10	6	広報誌・回覧板での発信	3.14
7	特産品や土産物の開発	3.10	7	特産品や土産物の開発	3.11
8	史跡や名所の保全活動	3.10	8	地区運動会等の交流行事	3.04
9	地区運動会等の交流行事	3.05	9	運動やスポーツに親しむ機会	3.04
10	文化や芸術に親しむ機会	3.05	10	住民の交流機会の確保	3.00
40代以下男性（n=31）			40代以下女性（n=50）		
1	祭り・伝統行事の継承	3.07	1	祭り・伝統行事の継承	2.98
2	子どもたちが楽しめる活動	2.83	2	子どもたちが楽しめる活動	2.92
3	史跡や名所の保全活動	2.83	3	こじか園・鹿野学園への関与	2.90
4	住民の学びの場づくり	2.80	4	文化や芸術に親しむ機会	2.86
5	火災や有事、災害への備え	2.77	5	史跡や名所の保全活動	2.86
6	高齢者の交流・敬老会	2.77	6	道路や河川の清掃、美化	2.84
7	高齢者の介護予防活動	2.73	7	広報誌・回覧板での発信	2.82
8	文化や芸術に親しむ機会	2.73	8	住民の学びの場づくり	2.82
9	こじか園・鹿野学園への関与	2.73	9	運動やスポーツに親しむ機会	2.80
10	地区運動会等の交流行事	2.70	10	家の周りの雪対策	2.78

Q12 属性別 満足度ランキング TOP10（60代以下・70代以上）

各属性の満足度平均（4点満点）が高い順の上位10項目。

60代以下男性（n=49）			60代以下女性（n=45）		
1	祭り・伝統行事の継承	2.83	1	祭り・伝統行事の継承	2.88
2	広報誌・回覧板での発信	2.77	2	広報誌・回覧板での発信	2.83
3	家の周りの雪対策	2.65	3	史跡や名所の保全活動	2.81
4	高齢者の交流・敬老会	2.62	4	高齢者の介護予防活動	2.79
5	ご近所の助け合い・自治会	2.60	5	家の周りの雪対策	2.74
6	史跡や名所の保全活動	2.60	6	高齢者の交流・敬老会	2.71
7	住民の交流機会の確保	2.58	7	文化や芸術に親しむ機会	2.71
8	子どもたちが楽しめる活動	2.57	8	地域の歴史の継承	2.71
9	高齢者の介護予防活動	2.56	9	地区運動会等の交流行事	2.70
10	子育て世代の交流機会	2.54	10	子どもたちが楽しめる活動	2.67
70代以上男性（n=36）			70代以上女性（n=39）		
1	広報誌・回覧板での発信	2.79	1	広報誌・回覧板での発信	2.84
2	祭り・伝統行事の継承	2.63	2	祭り・伝統行事の継承	2.65
3	ご近所の助け合い・自治会	2.62	3	家の周りの雪対策	2.59
4	高齢者の交流・敬老会	2.56	4	文化や芸術に親しむ機会	2.56
5	住民の交流機会の確保	2.55	5	子どもたちが楽しめる活動	2.55
6	家の周りの雪対策	2.51	6	地域の歴史の継承	2.55
7	火災や有事、災害への備え	2.47	7	史跡や名所の保全活動	2.53
8	子どもたちが楽しめる活動	2.45	8	高齢者の介護予防活動	2.52
9	高齢者・障がい者の生活支援	2.45	9	地元で買い物や通院ができる環境	2.52
10	史跡や名所の保全活動	2.44	10	火災や有事、災害への備え	2.50

Q12 属性別 満足度ランキング WORST10（中学生・40代以下）

各属性の満足度平均（4点満点）が低い順の下位10項目。

中学生男性（n=39）			中学生女性（n=28）		
1	外国・異文化の方との交流	2.46	1	外国・異文化の方との交流	2.46
2	就職先・雇用機会の確保	2.54	2	出会いの場・婚活支援	2.50
3	出会いの場・婚活支援	2.54	3	悩み・困りごとの相談窓口	2.50
4	地元で買い物や通院ができる環境	2.54	4	AIなど最先端技術の機会	2.54
5	仕組みを見直す雰囲気	2.62	5	空き家管理・移住支援	2.61
6	悩み・困りごとの相談窓口	2.64	6	住民の声を聞く機会	2.64
7	移動手段の確保・移動支援	2.67	7	住民の学びの場づくり	2.68
8	空き家管理・移住支援	2.69	8	観光資源の活用、収益化	2.68
9	移住者と地元住民の交流	2.69	9	就職先・雇用機会の確保	2.71
10	地域外の方との交流	2.72	10	地元で買い物や通院ができる環境	2.71
40代以下男性（n=31）			40代以下女性（n=50）		
1	観光資源の活用、収益化	2.17	1	地元で買い物や通院ができる環境	2.16
2	地元で買い物や通院ができる環境	2.17	2	移動手段の確保・移動支援	2.24
3	就職先・雇用機会の確保	2.20	3	AIなど最先端技術の機会	2.26
4	移動手段の確保・移動支援	2.27	4	就職先・雇用機会の確保	2.29
5	農地・山林の維持管理	2.30	5	空き家管理・移住支援	2.41
6	外国・異文化の方との交流	2.30	6	農地・山林の維持管理	2.43
7	ネット・SNSでの発信	2.37	7	出会いの場・婚活支援	2.43
8	AIなど最先端技術の機会	2.37	8	仕組みを見直す雰囲気	2.46
9	地域外の方との交流	2.40	9	外国・異文化の方との交流	2.50
10	移住者と地元住民の交流	2.40	10	地域外の方との交流	2.54

Q12 属性別 満足度ランキング WORST10（60代以下・70代以上）

各属性の満足度平均（4点満点）が低い順の下位10項目。

60代以下男性（n=49）		
1	就職先・雇用機会の確保	1.94
2	出会いの場・婚活支援	2.04
3	外国・異文化の方との交流	2.09
4	AIなど最先端技術の機会	2.11
5	移動手段の確保・移動支援	2.12
6	農地・山林の維持管理	2.21
7	地域外の方との交流	2.29
8	鳥獣害対策	2.31
9	特産品・土産物の開発	2.31
10	悩み・困りごとの相談窓口	2.31

60代以下女性（n=45）		
1	就職先・雇用機会の確保	2.14
2	移動手段の確保・移動支援	2.16
3	農地・山林の維持管理	2.23
4	AIなど最先端技術の機会	2.29
5	外国・異文化の方との交流	2.29
6	出会いの場・婚活支援	2.31
7	地域外の方との交流	2.38
8	仕組みを見直す雰囲気	2.38
9	特産品・土産物の開発	2.40
10	住民の声を聞く機会	2.40

70代以上男性（n=36）		
1	外国・異文化の方との交流	1.90
2	出会いの場・婚活支援	1.91
3	AIなど最先端技術の機会	1.93
4	農地・山林の維持管理	1.97
5	就職先・雇用機会の確保	2.00
6	地域外の方との交流	2.03
7	移動手段の確保・移動支援	2.09
8	鳥獣害対策	2.12
9	観光資源の活用、収益化	2.12
10	特産品・土産物の開発	2.19

70代以上女性（n=39）		
1	就職先・雇用機会の確保	1.91
2	出会いの場・婚活支援	1.97
3	農地・山林の維持管理	2.03
4	移動手段の確保・移動支援	2.09
5	特産品・土産物の開発	2.10
6	ネット・SNSでの発信	2.13
7	AIなど最先端技術の機会	2.14
8	外国・異文化の方との交流	2.17
9	移住者と地元住民の交流	2.17
10	観光資源の活用、収益化	2.20

Q12 重要度・満足度 分析と今後の方向性

この設問の結果から読み取れることと、今後取り組んでいくべき方向性

結果から読み取れること

全体で重要度が最も高いのは「火災や有事、災害への備え」(3.52)、次いで「地元で買い物や通院ができる環境」(3.49)、「家の周りの雪対策」(3.42)。

ギャップが最大なのは「地元での買い物・通院」(1.10)、「移動手段の確保」(1.04)、「農地・山林の維持管理」(0.97)、「地域内の雇用」(0.92)で、暮らしの基盤が最大の不足領域。

満足度が高いのは祭り・伝統行事(2.94)や広報誌・回覧板(2.85)で、既存の地域運営は一定の評価を得ている。

中学生男性は「地元での買い物・通院」(ギャップ1.18)と「仕組みを見直す雰囲気」(0.92)が突出し、若年層ほど利便性と変化を求めている。

今後取り組んでいくべき方向性

買い物・通院・移動手段を一体で捉えた生活支援策（移動販売、乗り合い、送迎）を最優先で検討する。

農地・山林の維持と鳥獣害対策は、担い手確保と外部支援の導入を組み合わせで取り組む。

満足度の高い祭り・広報は強みとして維持し、投入資源を不足領域へ再配分する。

「仕組みを見直す雰囲気」への不満に応え、意思決定への若年層の参加枠を制度として設ける。

Q12 属性別ワースト10 分析と今後の方向性

重要度・満足度が下位の項目から読み取れることと、今後の方向性

結果から読み取れること

重要度ワーストは全属性で共通し、「外国・異文化の方との交流」「出会いの場・婚活支援」「AIなど最先端技術の機会」「地区運動会などの交流行事」が最下位層に並ぶ。

ただし世代差もあり、40代以下男性は「住民の学びの場」(2.77)、中学生男性は「広報誌・回覧板での発信」(2.95)が最下位。学びや情報伝達そのものではなく、現在の「形」（趣味中心の講座・紙の回覧）が若年層に響いていないと読める。

満足度ワーストは生活基盤に集中し、「就職先・雇用機会の確保」(60代以下男性1.94、70代以上女性1.91)、「移動手段の確保」「地元で買い物や通院ができる環境」が全世代で下位。

中学生・40代以下では「外国・異文化の方との交流」(2.46)や「悩み・困りごとの相談窓口」(2.50)の満足度も低く、若年層の相談先と外の世界とのつながりが不足している。

今後取り組んでいくべき方向性

重要度が低い分野も一律に廃止せず、まず縮小・統合の対象として整理する。特にAI・新技術は中学生の期待が高く、交通や防災の課題解決に使う道具として位置づけ直す。

満足度ワーストの雇用・移動・買い物は、重要度も高くギャップも最大の重点投資領域。移動販売や送迎、地域内の働き口づくりを優先する。

学びの場は、従来の活動に加え、交通・防災・空き家などの地域課題解決に直結する社会教育（AI活用を含む）を新たな柱として拡充していく。

中学生・若年層向けに、気軽に相談できる窓口と地域外・多様な人と出会う機会を、既存の学校行事や活動に組み込む形で用意する。

学ぶ意欲自体はQ13に表れており、防災・子ども・歴史・料理など幅広い分野で「教えられる」「関われる」と答えた住民が多い。テーマを地域課題側に設定し直せば担い手は集まる。

Q13 自由記述（項目番号別） 全回答（1／4）

Q12の項目番号ごとに自由記述をまとめて掲載（原文のまま・回答者の属性つき）

1. 地域の祭りや伝統行事の保存や継承（言及19件）

- ・祭が好きだから（60代以下・男性）
- ・一番地域の中で参加しやすい行事だし鹿野の伝統行事にすこし興味を持っている（中学生・女性）
- ・楽しいから（中学生・女性）
- ・できそう（中学生・女性）
- ・なんとなく大事だと思ったから（中学生・女性）
- ・素晴らしい伝統を受け継ぐべきだから（中学生・男性）
- ・自身も移住者であり、商店を経営しているため（60代以下・男性）
- ・鹿野祭りを継承していくためにも若い力をどんどん入れるべき。旧勝谷、小鷲河などから（40代以下・男性）
- ・上町で若連中に参加している（40代以下・男性）
- ・多くの人々の交流の場、思い出の場となっているので（60代以下・男性）
- ・（番号のみで理由の記載なし）9件：40代以下・女性、中学生・女性×3、60代以下・男性×3、中学生・男性×2

2. 地区運動会などのスポーツ交流行事の開催（言及8件）

- ・役員として活動している地区の運動会は継続していきたい。集落の人たちと一致団結するよい機会となるから。そして子どもたちが鹿野町の魅力を感じ、大人になったときに鹿野に戻ってきたいという思いを持たせることが将来を見据えた地域活性につながると思う（40代以下・男性）
- ・体を動かすのが好きだから（中学生・女性）
- ・地域ボランティアなどで地域に貢献できるから（中学生・女性）
- ・上町で体育部に参加（40代以下・男性）
- ・（番号のみで理由の記載なし）4件：中学生・女性×2、70代以上・男性、中学生・男性

3. 高齢者の介護予防につながる活動（言及4件）

- ・しゃんしゃん体操をつうじて行っている（60代以下・女性）
- ・そういう仕事をしているから（60代以下・女性）
- ・（番号のみで理由の記載なし）2件：70代以上・男性、70代以上・女性

4. 子どもたちが楽しめる活動（言及20件）

- ・子供の意見も提供できる（中学生・男性）
- ・子ども含め、人と話すこと、関わるのが好きだから（70代以上・女性）
- ・子ども会でかつどうしているから（40代以下・男性）
- ・子供の楽しみが一番だから（中学生・男性）
- ・子供だから（中学生・男性）
- ・ボランティアには参加できそうだから（中学生・男性）
- ・子供達を楽しめる活動 理由 みんなと交流したいから（中学生・男性）
- ・子供と楽しみたいから（中学生・男性）
- ・子供が好きだから（中学生・女性）
- ・子供と遊んだり面倒見たりするのが得意だから（中学生・女性）
- ・子どもが好きだから（40代以下・女性）
- ・子どもたちが鹿野は楽しいと思いつけるような活動ができればいいなと思います（40代以下・女性）
- ・実際に私に子どもがいるので子供が楽しめる場所があればいいなと思う（40代以下・女性）
- ・（番号のみで理由の記載なし）7件：40代以下・男性、中学生・女性×2、60代以下・男性、中学生・男性、60代以下・女性、70代以上・男性

5. 火災や有事、災害への備え（言及8件）

- ・そういうときに人間力や地域力が出るから（40代以下・女性）
- ・いつ起こるか分からないし訓練は大事だと思うから（中学生・女性）
- ・消防団として地域防災に協力したい（40代以下・男性）
- ・町内会内の各戸の連携、町内会相互の連携、地区間の連携を今より強くしていきたいため（60代以下・男性）
- ・（番号のみで理由の記載なし）4件：60代以下・男性×2、70代以上・男性、中学生・男性

6. 鳥獣害対策（言及2件）

- ・猪、鹿、他が家の前まで行動範囲が、迫っている（60代以下・男性）
- ・獣害の予防（70代以上・男性）

7. 道路や河川の清掃、美化（言及10件）

- ・出来る範囲で協力できそう（60代以下・男性）
- ・綺麗にしたいから（中学生・男性）
- ・ボランティアとして（中学生・男性）
- ・耕作放棄地や歩道の雑草が気になり、どうにかしたいと思っているから（40代以下・女性）
- ・町内会でもやっている（40代以下・女性）
- ・少しでも協力できると思うから（60代以下・女性）
- ・河内川が汚いので草取りをするべき（40代以下・男性）
- ・（番号のみで理由の記載なし）3件：60代以下・女性、60代以下・男性、中学生・男性

8. 家の周りの雪対策（言及11件）

- ・冬になったら家の周りなどの雪かきをしているから（40代以下・女性）

Q13 自由記述（項目番号別） 全回答（2／4）

Q12の項目番号ごとに自由記述をまとめて掲載（原文のまま・回答者の属性つき）

・雪が多いから（中学生・女性）

・役立ち感が味わえるから（40代以下・女性）

・ついでに出来るところはやっている（60代以下・男性）

・手伝えそうだから（中学生・男性）

・機械での除雪は限られた人しか使えないのでできる限り人力でできる所はしている（40代以下・女性）

・（番号のみで理由の記載なし）5件：中学生・女性、60代以下・男性×2、70代以上・男性、中学生・男性

9. 空き家の管理や移住支援活動（言及1件）

・いろんな店があって欲しいから（中学生・男性）

10. 農地や山林の維持管理、耕作放棄地対策（言及4件）

・家の近くなら何か育ててみたい（60代以下・男性）

・農作業が好きだから（40代以下・女性）

・（番号のみで理由の記載なし）2件：70代以上・男性×2

11. 自家用車以外の移動手段確保、移動支援（言及2件）

・高齢化と免許返納の傾向を考えれば電話で送迎するタイプの小型バスの需要は高まっていくと思われる。運転であれば普通免許の範囲であれば自分含め協力可能な人々はいるとされる（40代以下・男性）

・（番号のみで理由の記載なし）1件：60代以下・男性

12. 高齢者や障がい者への生活支援（言及3件）

・子ども含め、人と話すこと、関わるのが好きだから（70代以上・女性）

・（番号のみで理由の記載なし）2件：70代以上・男性、40代以下・男性

13. 広報誌や回覧板、チラシでの地域情報発信（言及1件）

・広報や情報発信が好きだから（40代以下・女性）

14. インターネットやSNSでの地域情報発信（言及9件）

・広報や情報発信が好きだから（40代以下・女性）

・SNSで何かを投稿するのが好きだから（中学生・女性）

・しかのを発信したいから（中学生・男性）

・知名度を上げて移住者を増やすべきだから（中学生・男性）

・できそう（40代以下・男性）

・インターネットなどのデザインを考えるのが得意なので（中学生・女性）

・自分の職場でも業務で行っているので、街の四季の見どころなどを発信するのは苦ではないと思う（70代以上・女性）

・約1年半住んでいるけれど、知らないことがまだまだあるからもっと知りたい！（40代以下・女性）

・（番号のみで理由の記載なし）1件：60代以下・男性

15. 特産品や土産物の開発（言及10件）

・なにか作ったり考えたりすることが好きだから（40代以下・女性）

・ものを作るのが好きだから（中学生・中性）

・鹿野が有名になってほしいから（中学生・女性）

・楽しそうだから（中学生・男性）

・もっとたべたいから（中学生・男性）

・農業と温泉地、空き家を活かした観光開発が拡大できたらいいなとおもいます（60代以下・女性）

・自身も移住者であり、商店を経営しているため（60代以下・男性）

・新しいことを考えるのが好きだから（60代以下・女性）

・あったら面白そう（中学生・男性）

・（番号のみで理由の記載なし）1件：60代以下・男性

17. ご近所で助け合う仕組み、自治会活動（言及3件）

・昔からの馴染みの方が多いが、現在の近況や実態がわかりにくいので、定期的に顔を合わせる機会があれば困っている事に協力しやすい（60代以下・女性）

・ボランティアに参加し何か協力してみたい（40代以下・女性）

・集まる機会が少なくなっているから（40代以下・男性）

18. 住民が集まり、交流する機会の確保（言及2件）

・少しでも手伝いたいと思う（60代以下・女性）

・他の町内の人、あまり知らないので交流しておぼえる（70代以上・女性）

19. 高齢者同士の交流機会、敬老会活動（言及3件）

・年寄りの遊び場が欲しい（70代以上・男性）

・（番号のみで理由の記載なし）2件：40代以下・女性、70代以上・男性

20. 子育て世代の交流機会（言及5件）

・子ども含め、人と話すこと、関わるのが好きだから（70代以上・女性）

・少子化対策は大事だから（中学生・女性）

・少子高齢化だから（中学生・男性）

・自分も子育てしているから（40代以下・女性）

・（番号のみで理由の記載なし）1件：40代以下・女性

21. 運動やスポーツに親しむ機会（言及13件）

・スポーツが得意だから（中学生・男性）

Q13 自由記述（項目番号別） 全回答（3／4）

Q12の項目番号ごとに自由記述をまとめて掲載（原文のまま・回答者の属性つき）

- ・地域のひとと親しむことができるから（中学生・女性）
- ・体を動かすのが好きだから（中学生・男性）
- ・体を動かすのが好きだから（中学生・女性）
- ・球技などのチームスポーツをしたい（40代以下・男性）
- ・日々運動を教えているため（40代以下・男性）
- ・集落のグループでスポーツに取り組むのは楽しい（40代以下・女性）
- ・スポーツが好きだから（中学生・男性）
- ・（番号のみで理由の記載なし）5件：中学生・男性×3、70代以上・男性、中学生・女性

22. 文化や芸術に親しむ機会（言及4件）

- ・文化、芸術が好きだから（40代以下・女性）
- ・機会を作ってもらえば参加して盛り上げたい（70代以上・女性）
- ・鹿野ミュージカルに参加している（60代以下・男性）
- ・（番号のみで理由の記載なし）1件：中学生・男性

23. 出会いの場づくり、婚活支援（言及4件）

- ・人口減少対策 こともが過ごしやすい環境 将来人口が増える仕組みづくりが必要（40代以下・男性）
- ・自身も移住者であり、商店を営んでいるため（60代以下・男性）
- ・町内に結婚してない方が多いので、子どもの声が少ない。次世代のために必要と思うので（60代以下・女性）
- ・結婚をされない方が多いので親の気持ちでわかるから何とかならないだろうか（70代以上・女性）

24. 史跡や名所の保全活動（言及3件）

- ・鹿野の史跡や歴史、亀井さんが好きだから（40代以下・女性）

- ・守りたい史跡があるから（60代以下・男性）
- ・（番号のみで理由の記載なし）1件：60代以下・男性

25. 住民の学びの場（講座、サークル等）づくり（言及3件）

- ・韓国語講座楽しく受講してます（60代以下・女性）
- ・好奇心があるうちにいろんなことをしてみたい（70代以上・女性）
- ・（番号のみで理由の記載なし）1件：60代以下・男性

26. 観光資源の活用、収益化（言及3件）

- ・自身も移住者であり、商店を営んでいるため（60代以下・男性）
- ・（番号のみで理由の記載なし）2件：60代以下・男性、中学生・男性

28. AIなどの最先端技術に触れる機会（言及4件）

- ・電子機器の使い方に慣れているから（中学生・男性）
- ・将来役に立ちそう（中学生・女性）
- ・AIを活用した仕事をしているため（40代以下・女性）
- ・（番号のみで理由の記載なし）1件：中学生・男性

29. 地域外の方と交流する機会（言及1件）

- ・子ども含め、人と話すこと、関わるのが好きだから（70代以上・女性）

30. 外国、異文化の方と交流する機会（言及2件）

- ・子ども含め、人と話すこと、関わるのが好きだから（70代以上・女性）
- ・外国に行きたい（中学生・女性）

31. 地元で買い物や通院ができる環境（言及5件）

- ・買い物できるところが少ないかも？（中学生・男性）

- ・しかのに買い物ができるところができたりすれば遠出しなくてもいいから（中学生・男性）

- ・近所に買い物できるところがないと思ってしまう。大きい店をおいてほしい（40代以下・女性）

- ・近所に気軽に買い物に行きたい（40代以下・女性）
- ・（番号のみで理由の記載なし）1件：中学生・女性

32. 地域の歴史（亀井さん等）の継承（言及7件）

- ・鹿野の史跡や歴史、亀井さんが好きだから（40代以下・女性）
- ・鹿野の歴史を学んでみたいと思います（70代以上・女性）
- ・他の県の人に亀井さんのことを教えてあげる活動があったときにその活動がとても楽しかったから（中学生・女性）
- ・歴史が好きだから（60代以下・女性）
- ・自身も地域の歴史を勉強中で若い人にも一緒に勉強したい（70代以上・男性）
- ・（番号のみで理由の記載なし）2件：中学生・女性、70代以上・男性

33. 何かをやろう！という地域内の雰囲気（言及5件）

- ・何かやろうという気持ちがないと鹿野はぜんぜん発展しないため（中学生・男性）
- ・地域の子どもや大人や高齢者などと交流して仲を深めたかったから（中学生・女性）
- ・自身も移住者であり、商店を営んでいるため（60代以下・男性）
- ・兄が土曜夜市開催（40代以下・男性）
- ・（番号のみで理由の記載なし）1件：中学生・女性

34. まちづくりに様々な住民の声を聞く機会（言及3件）

- ・まちづくりに興味があるから（60代以下・男性）

Q13 自由記述（項目番号別） 全回答（4／4）

Q12の項目番号ごとに自由記述をまとめて掲載（原文のまま・回答者の属性つき）

- ・話を聞くのが得意だから（中学生・男性）
- ・子ども含め、人と話すこと、関わるのが好きだから（70代以上・女性）

35. 地域の子どもたちと大人たちと繋がる機会（言及7件）

- ・子ども含め、人と話すこと、関わるのが好きだから（70代以上・女性）
- ・地域の人たちとたくさん交流したいから（中学生・女性）
- ・人と関わるのが好きだから（中学生・女性）
- ・大人と子供が交流できる機会に関わりたい（40代以下・男性）
- ・火の用心の拍子木をたたく位しか協力できないかな。高齢者には子ども達や地域住民との交流が少ないように思えます。もっと幅広く交流する機会があればいいな（70代以上・女性）
- ・寺小屋をやっているの（60代以下・男性）
- ・（番号のみで理由の記載なし）1件：中学生・女性

36. 新しい移住者と地元住民との交流の機会（言及5件）

- ・近所の移住者はわかるが、町内の他の地区の移住者と交流する事が無いので幅広く交流出来る場があれば良い（60代以下・女性）
- ・子ども含め、人と話すこと、関わるのが好きだから（70代以上・女性）
- ・移住者なので、新しい移住者が話を聞きに来るので（40代以下・女性）
- ・自身も移住者であり、商店を経営しているため（60代以下・男性）
- ・（番号のみで理由の記載なし）1件：中学生・男性

37. こじか園や鹿野学園に住民が関わる機会（言及6件）

- ・ボランティア活動などで、地域の住民と関われる気がするから（中学生・女性）

- ・子供と大人が交流する機会が増えれば地域が活性化されると思う（中学生・女性）
- ・子供と関わるのが好きだから（中学生・男性）
- ・子供と遊んだり面倒見たりするのが得意だから（中学生・女性）
- ・保護者会を通じて何かできるかもしれないので（60代以下・女性）
- ・（番号のみで理由の記載なし）1件：40代以下・女性

38. 色々な仕組みを見直し、改善していく雰囲気（言及5件）

- ・子ども含め、人と話すこと、関わるのが好きだから（70代以上・女性）
- ・昔からの伝統を大切にしつつ、持続可能なかたちで続けられるように若い人の意見を積極的に取り入れてほしい（40代以下・女性）
- ・考え方、仕組みをアップデートしたいと思っていたから（中学生・女性）
- ・仕組みを見直していく姿勢が好きだから（40代以下・女性）
- ・雰囲気づくりできるから（60代以下・男性）

番号の記載がない意見（全体へのコメント）

- ・仕事をしているとプライベートでその他活動をする元気はない（40代以下・女性）
- ・何ができるかわかりませんが、協力できることがあればしたいと思います（40代以下・女性）
- ・思うことはありますが、年齢的にも自信が…。若い方にやって欲しいです（70代以上・女性）
- ・高齢者なのでどこまで関われるかわかりません（70代以上・男性）

Q13 自由記述 分析と今後の方向性

この設問の結果から読み取れることと、今後取り組んでいくべき方向性

結果から読み取れること

141人の記述の多くが「～が好きだから」「仕事で扱っているから」「教えているため」など、個人の興味・特技・仕事の経験に根ざしている。分野ごとの担い手候補が町内に豊富にいる。

「できそう」「機会を作ってもらえば参加したい」という記述が多く、条件を整えば動ける層が厚い。裏を返せば、きっかけと声かけがないために動けていない。

受け皿となる既存活動はあるが、活動日を知らない・声をかけられていない・仕事や育児家事で時間が合わない、といった障壁で結びついていない可能性がある。

買い物・通院・移動、空き家・農地、鳥獣害などの具体的な困りごとと、自治会運営の負担・取組の可視化を求める声も一定数ある。

今後取り組んでいくべき方向性

誰がどの分野に関心・特技を持つかを人材バンクとして可視化し、企画ごとに個別に声をかけられる状態をつくる。

待ちの募集をやめ、興味・実利に沿った小さな入口を用意して個別に誘う。役や責任は付けず、ライトな関わりから始める。

既存活動の年間予定と参加方法を事前に広く告知し、短時間・単発・休日や夜間など参加しやすい枠を用意する。

困りごとは施策台帳として担当と時期を明示し、各取組の進捗を定期的に住民へ公開する。

Q13 自由記述 得意分野・関わる意欲のジャンル傾向

どの分野に得意や意欲を持つ人が多いかの傾向と、そこから考えられる方向性

結果から読み取れること

言及が多いのは子どもの活動(20件)、祭り・伝統行事(19件)、運動・スポーツ(13件)、雪対策(11件)、清掃・美化と特産品開発(各10件)。子ども・伝統・スポーツ・生活実務・ものづくりに意欲が集中している。

清掃・美化(10件)や雪対策(11件)は「ついでにやっている」「できる範囲で」という記述が多く、すでに日常的に動いている層が厚い分野。

SNS発信・デザイン・AI(14番9件・28番4件)は「仕事で行っている」「業務で使っている」など職業経験を持つ人が回答しており、専門性のある人材が潜在している。

一方、高齢者・障がい者支援、移動支援、空き家管理はQ12の重要度が高いのに言及が1～3件と少なく、住民の善意だけでは担い手が集まりにくい分野。

今後取り組んでいくべき方向性

この5ジャンルを優先し、住民が短時間で関われる小さな企画を継続的に用意する。

すでにやっている行為を活動として位置づけ直し、「ついで参加」の形で見える化・合流できる仕組みをつくる。

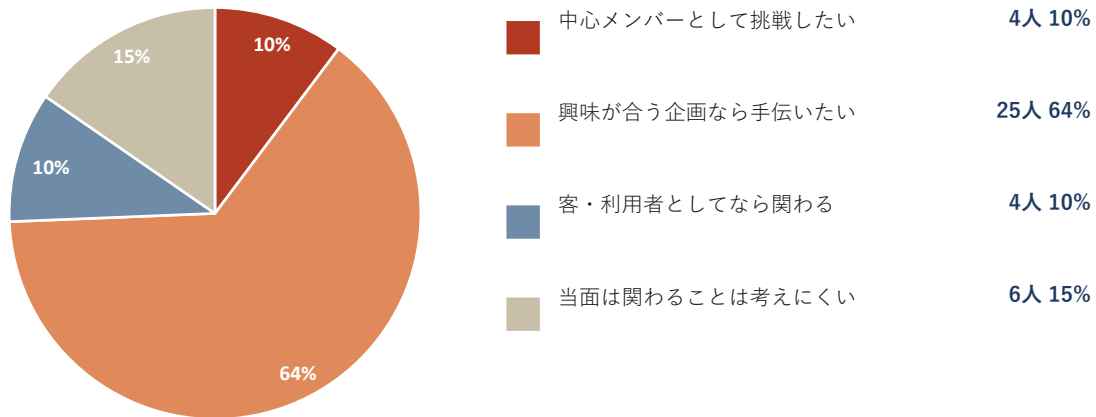
スキルを短時間だけ提供するプロボノ型の関わり方（広報物制作、SNS運用、講座の講師など）を用意する。

意欲が集まりにくい分野は専従の有給職員と外部連携で担い、住民には負担の軽い役割のみを求める。

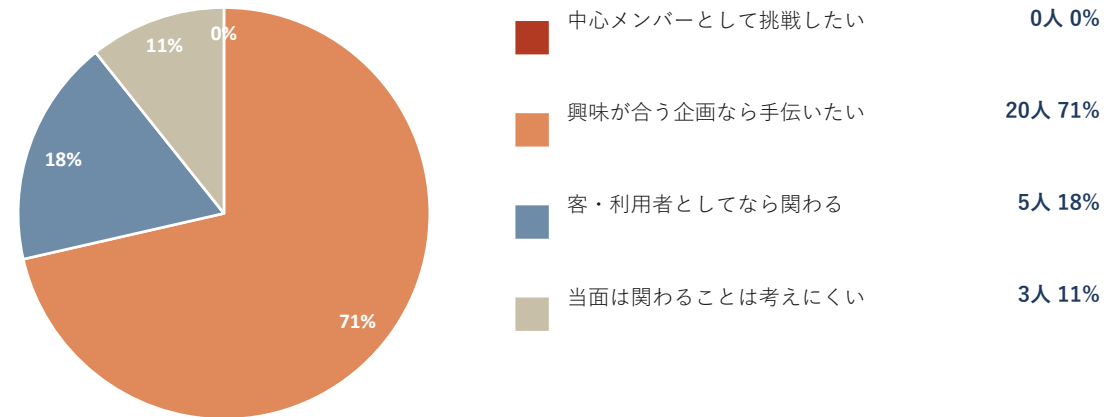
Q14 企画への参加意向（中学生・40代以下）

各属性の回答内訳（円グラフ・回答数と構成比）。

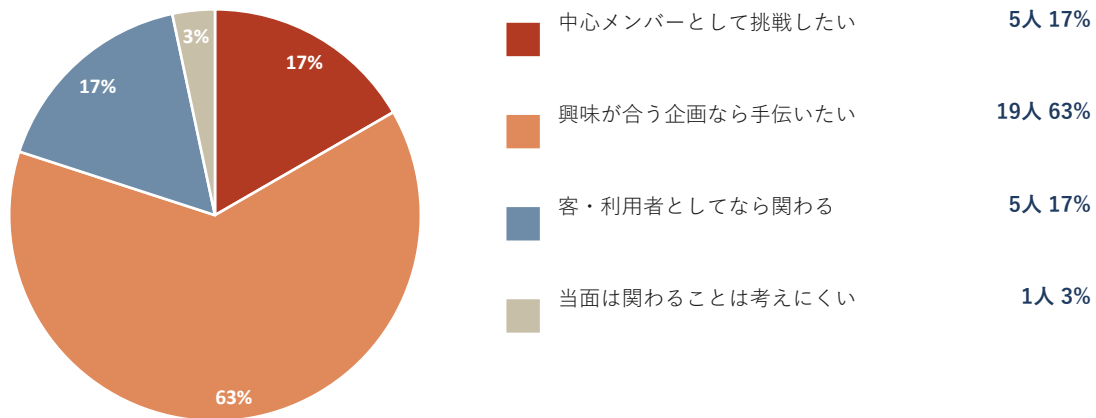
中学生男性（n=39）



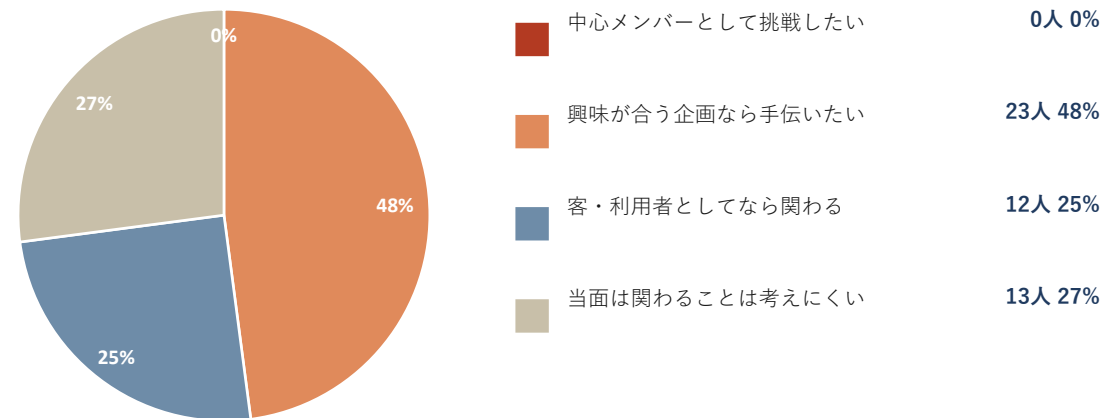
中学生女性（n=28）



40代以下男性（n=31）



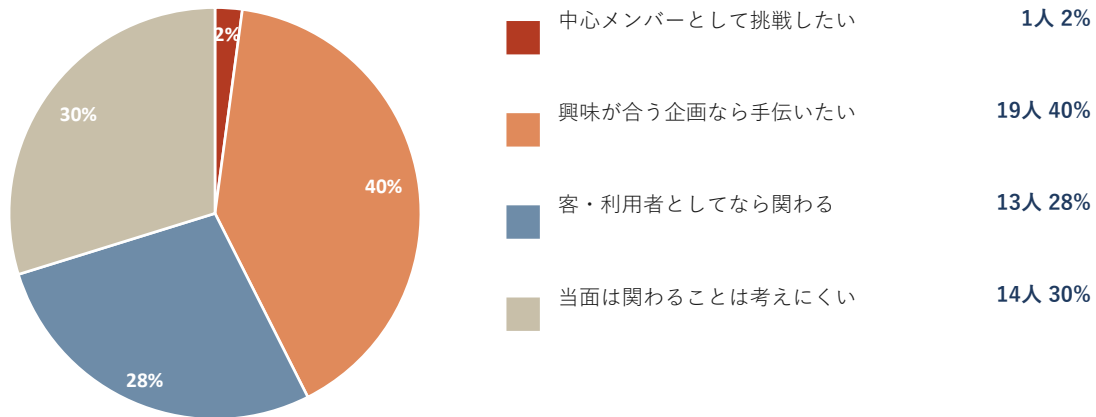
40代以下女性（n=50）



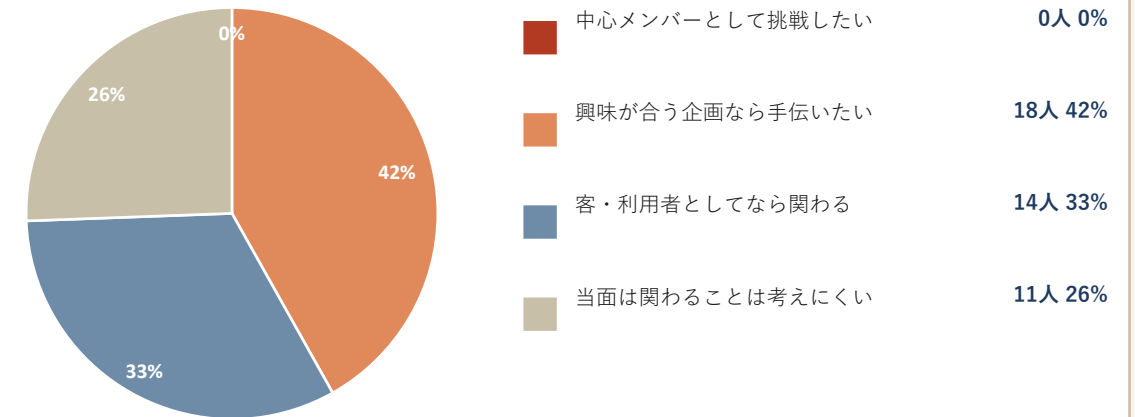
Q14 企画への参加意向（60代以下・70代以上）

各属性の回答内訳（円グラフ・回答数と構成比）。

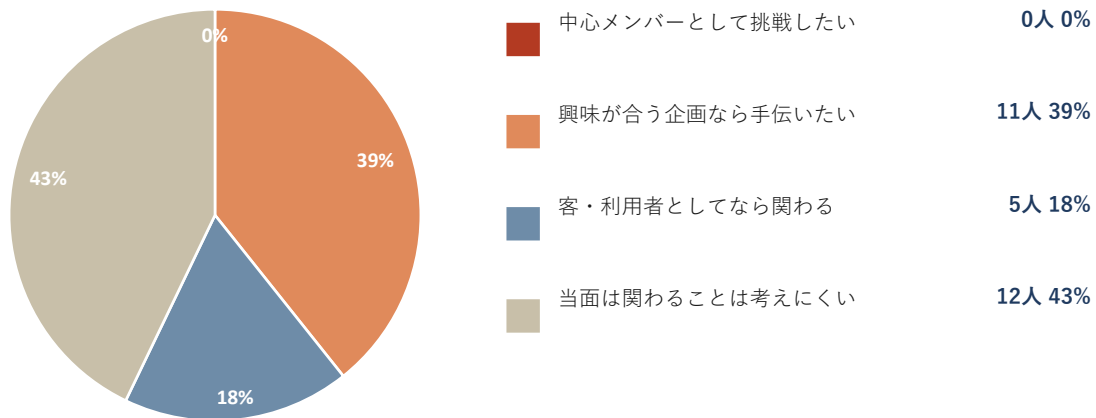
60代以下男性（n=49）



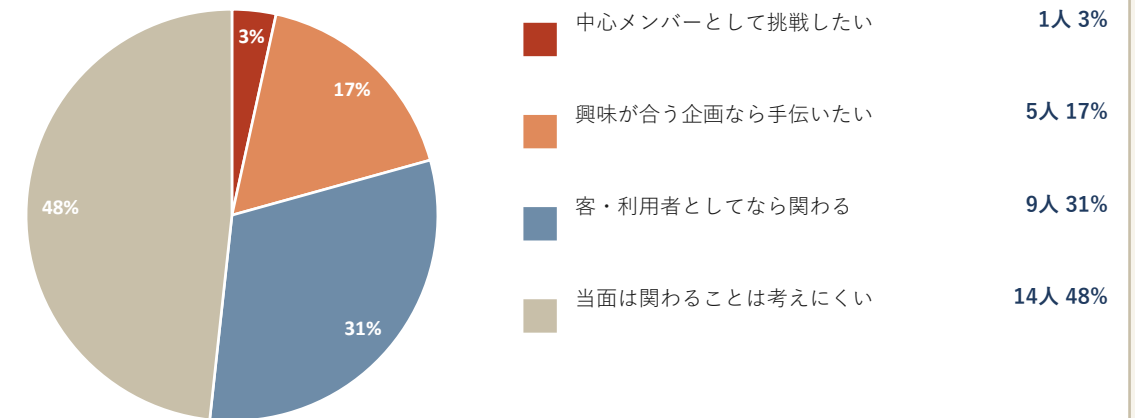
60代以下女性（n=45）



70代以上男性（n=36）



70代以上女性（n=39）



Q14-2 中心メンバーとして試したいアイデア 全回答（1／1）

「自分が中心メンバーになって試してみたい」と回答した方の企画案（原文のまま掲載・回答16件のうち具体案の記載があった12件）

- ・手話サークル、応急手当（40代・女性）
- ・スマホで過疎地区の不便を解消（70代・男性）
- ・祭り（中学生・男性）
- ・高齢者と運動会（中学生・男性）
- ・剣道や野球（中学生・男性）
- ・徒競走（中学生・男性）
- ・イベント（40代・男性）
- ・鹿野祭り（60代・男性）
- ・防災、救援について、町内会内の各戸の連携、町内会相互の連携、地区間の連携を今より強くしていきたいため）（60代・男性）
- ・郷土の歴史に関する芝居（50代・男性）
- ・花植え（80代・女性）
- ・夏に子供達が集まってキャンプをする。学校で肝試しか川遊びなど。小鷺河小学校ならできるかと（30代・男性）

Q14 企画への参加意向 分析と今後の方向性

この設問の結果から読み取れることと、今後取り組んでいくべき方向性

結果から読み取れること

「興味が合う企画なら手伝いたい」が140件で最多。潜在的な協力者は全体の4割超にのぼる。

中学生は男女とも6〜7割が「手伝いたい」と回答し、参加意欲が最も高い層である。

「中心メンバーとして挑戦したい」は11件と少数だが、40代以下男性16%・中学生男性10%と若年層に偏在する。

70代以上は「当面関わることは考えにくい」が3〜4割で最も高く、体力・年齢を理由とする記述が伴う。

今後取り組んでいくべき方向性

「手伝いたい」層を活かすため、単発・短時間で参加できる役割を企画ごとに用意する。

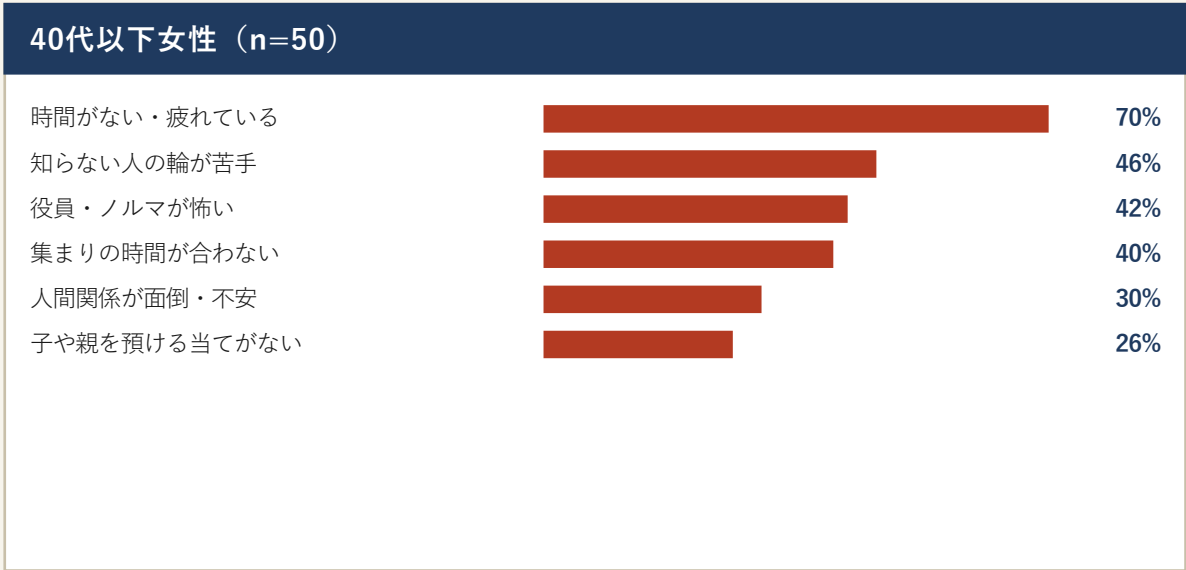
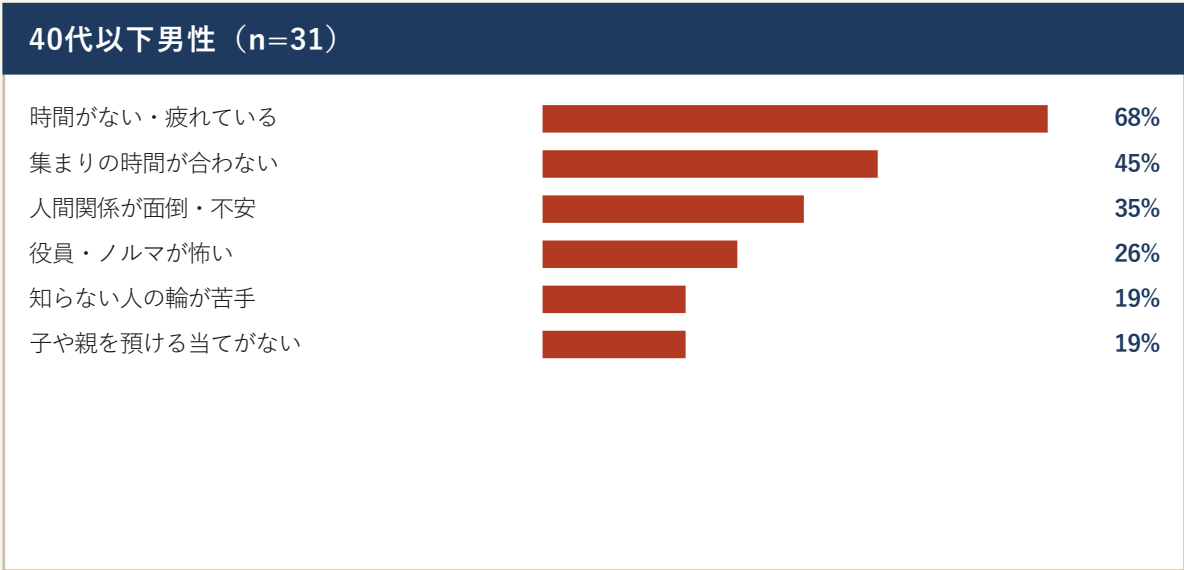
中心メンバー志望の少数（11名）には個別に伴走し、小さな企画を実際に立ち上げる支援を行う。

中学生の参加意欲を受け止める常設の受け皿（学校連携の企画枠）を設ける。

高齢層には「担い手」ではなく「利用者・語り手」としての参加導線を明示する。

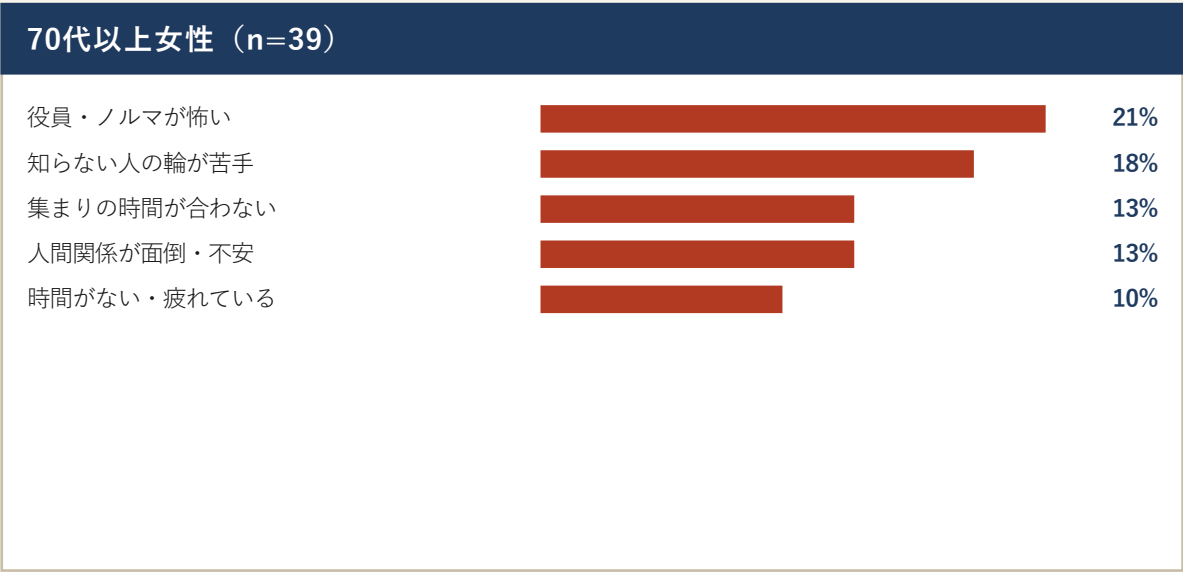
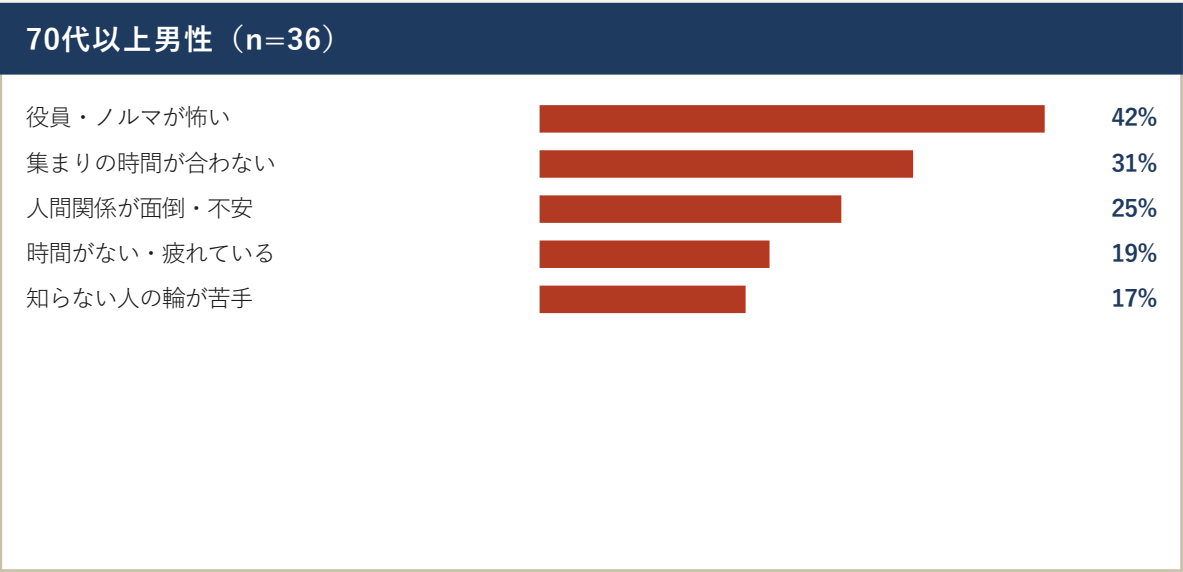
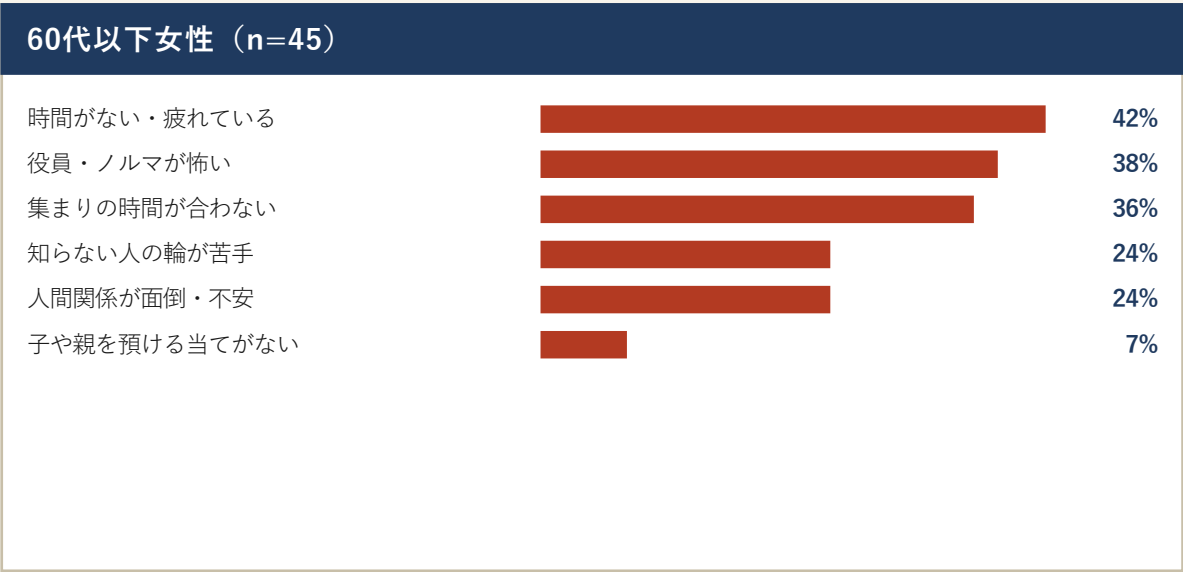
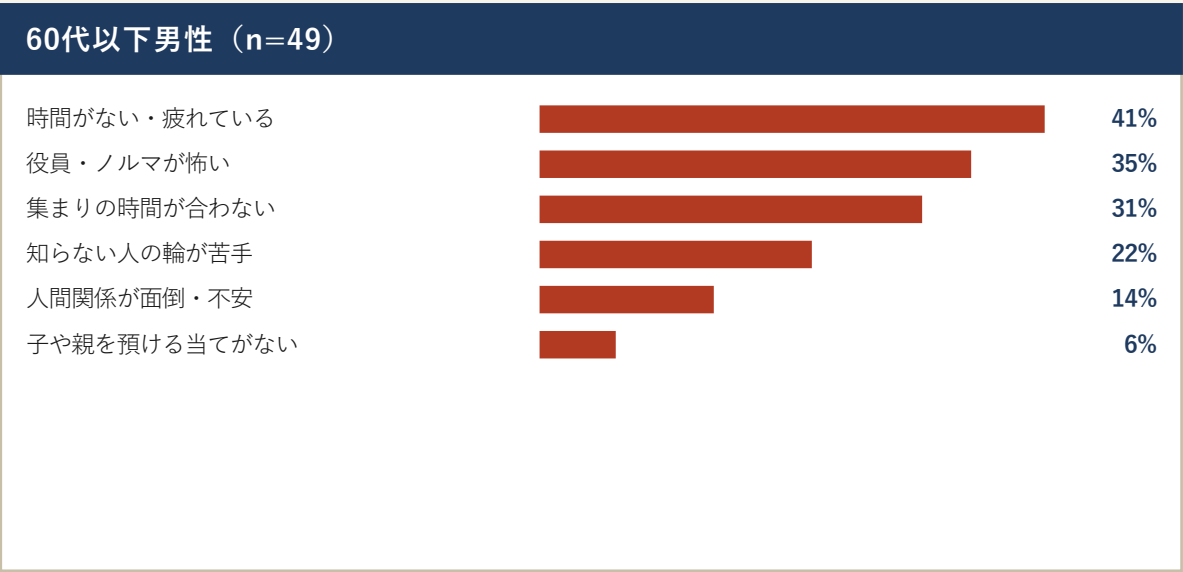
Q15 地域活動に関わるうえでの障壁（中学生・40代以下）

各属性の回答者数に占めるチェック率。回答率5%以上の項目をすべて掲載。



Q15 地域活動に関わるうえでの障壁（60代以下・70代以上）

各属性の回答者数に占めるチェック率。回答率5%以上の項目をすべて掲載。



Q15 地域活動の障壁 分析と今後の方向性

この設問の結果から読み取れることと、今後取り組んでいくべき方向性

結果から読み取れること

「時間がない・疲れている」が133件で最多。40代以下では男女とも7割前後に達する。

「役員・ノルマが怖い」は99件で、60代以下・70代以上でも4割前後と全世代共通の不安になっている。

中学生は「知らない人の輪が苦手」「人間関係が面倒」が5割前後で、心理的なハードルが中心。

40代以下女性は「子や親を預ける当てがない」が26%と高く、ケア負担が参加を直接妨げている。

今後取り組んでいくべき方向性

短時間・単発で完結する参加メニューを標準化し、「一度関わると抜けられない」構造を解消する。

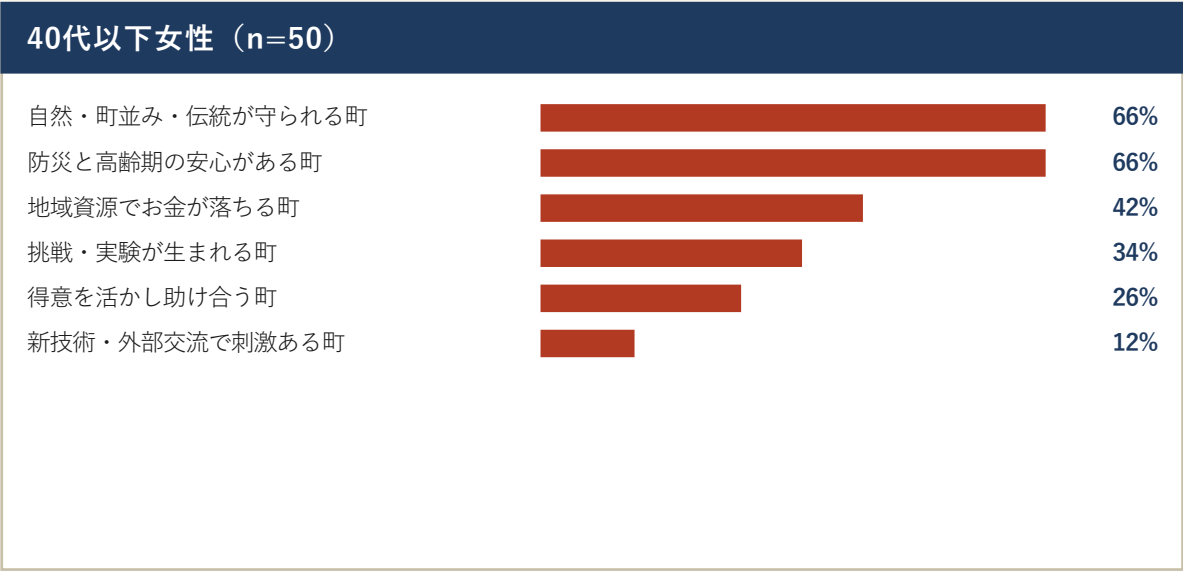
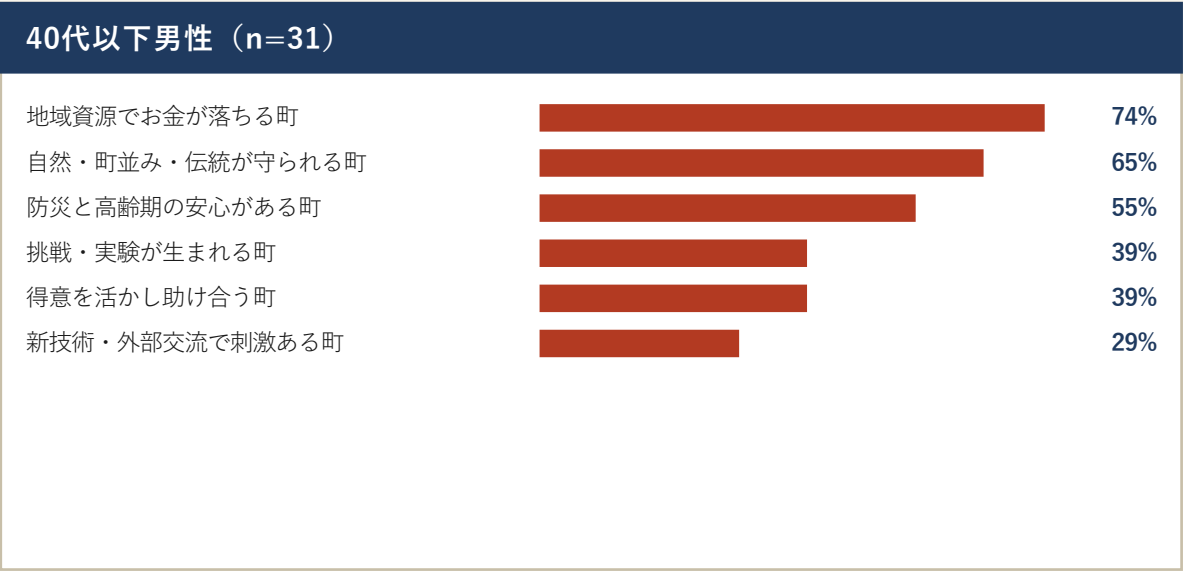
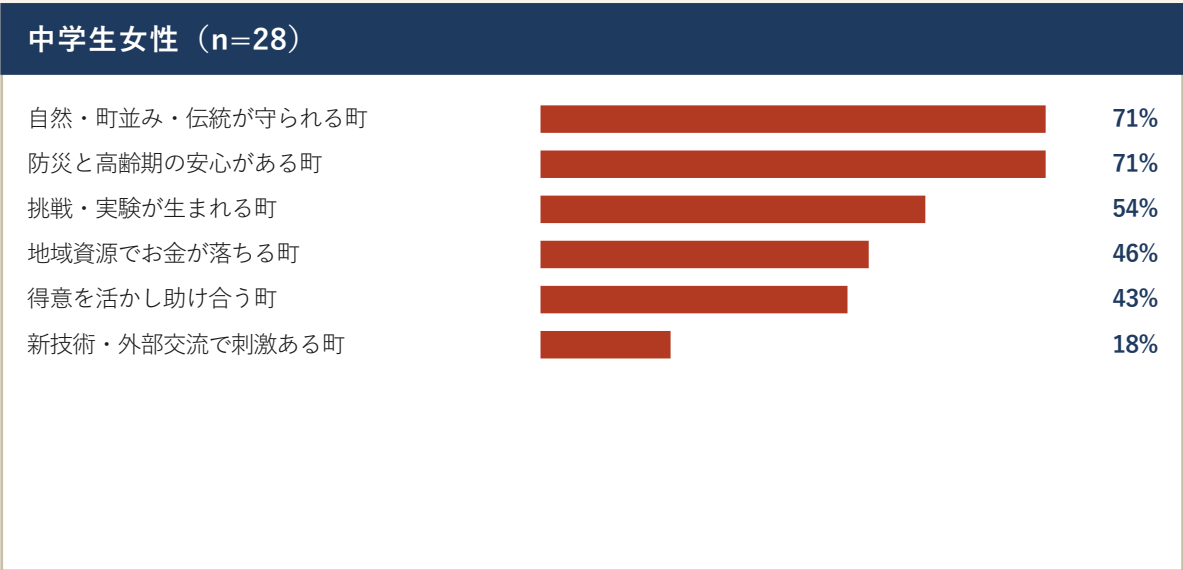
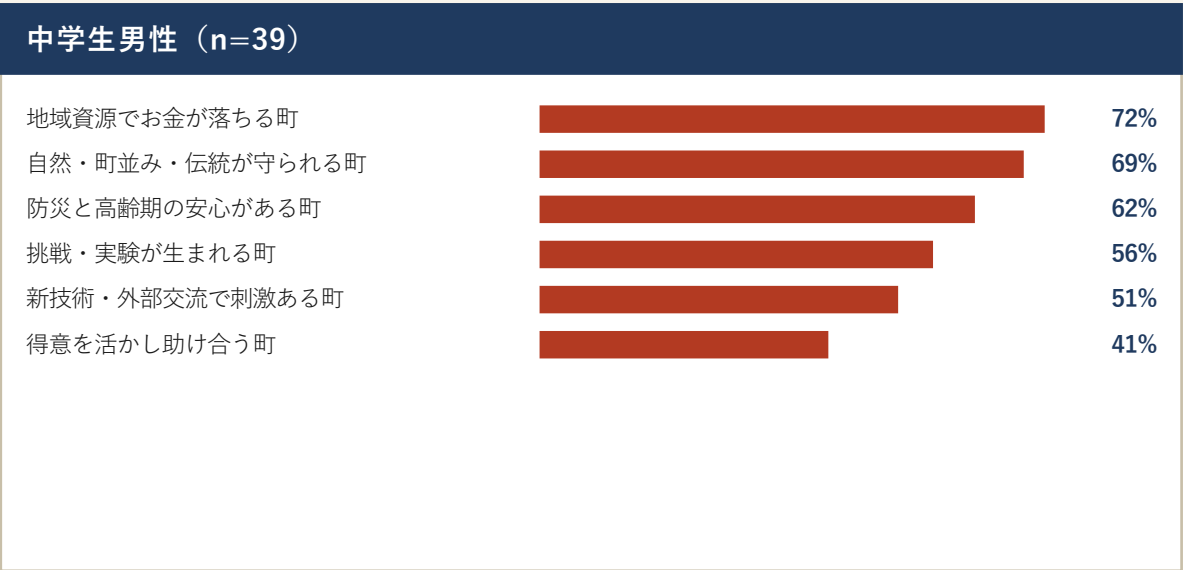
役員任期と業務量を明文化し、引き受けやすい役割設計へ見直す。

初参加者向けの案内役を置き、知らない人の輪に入りやすい運営を徹底する。

活動時に託児・見守りを用意し、子育て・介護層の参加障壁を下げる。あるいは、子どもとも一緒に参加できる内容に変更する。

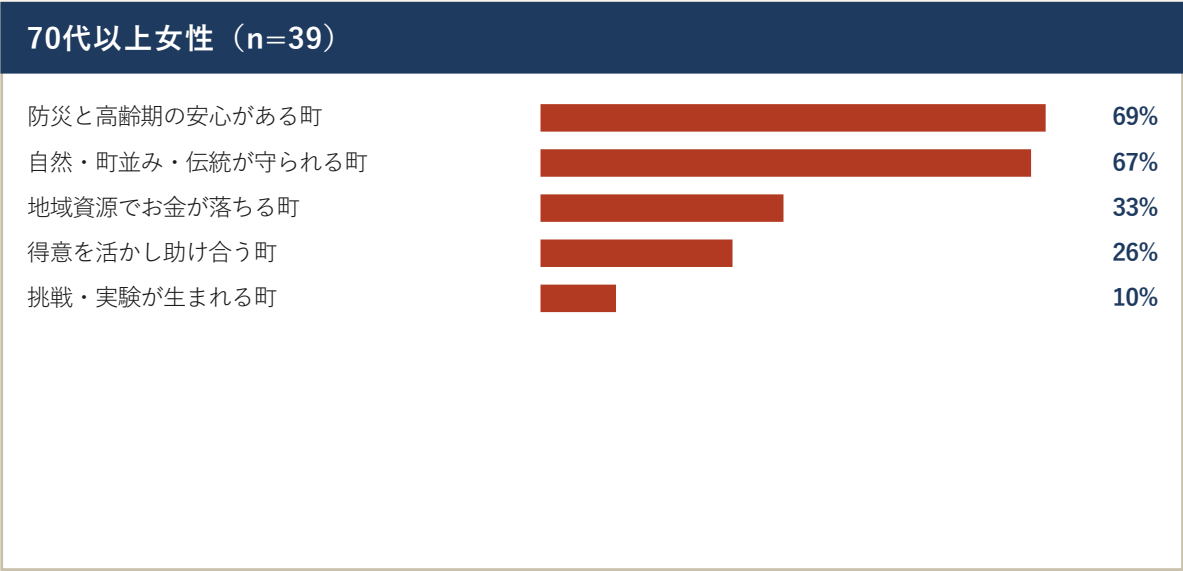
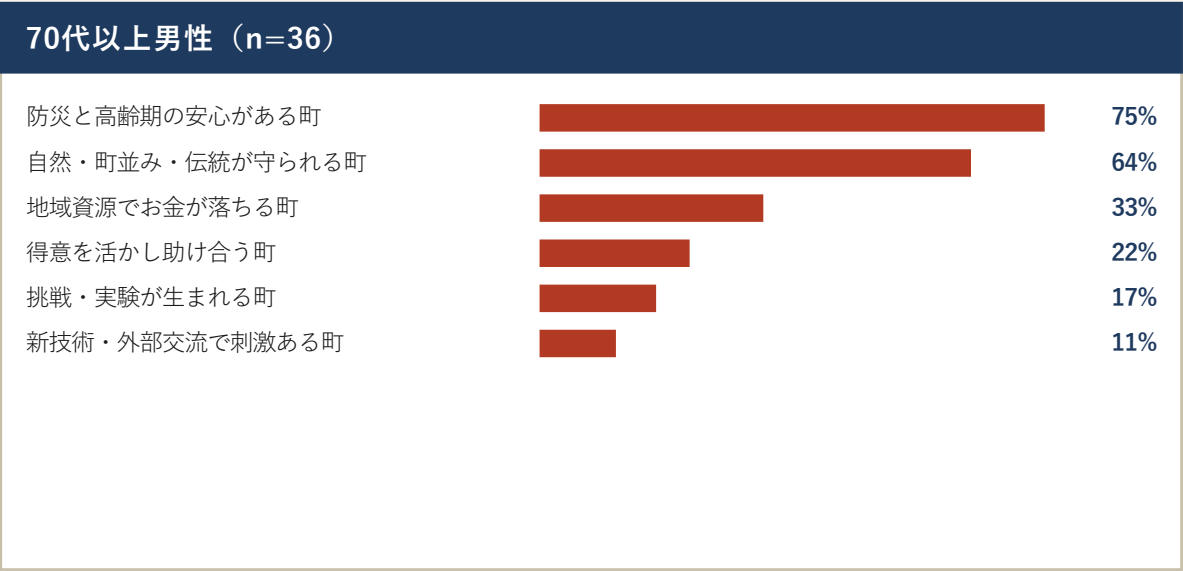
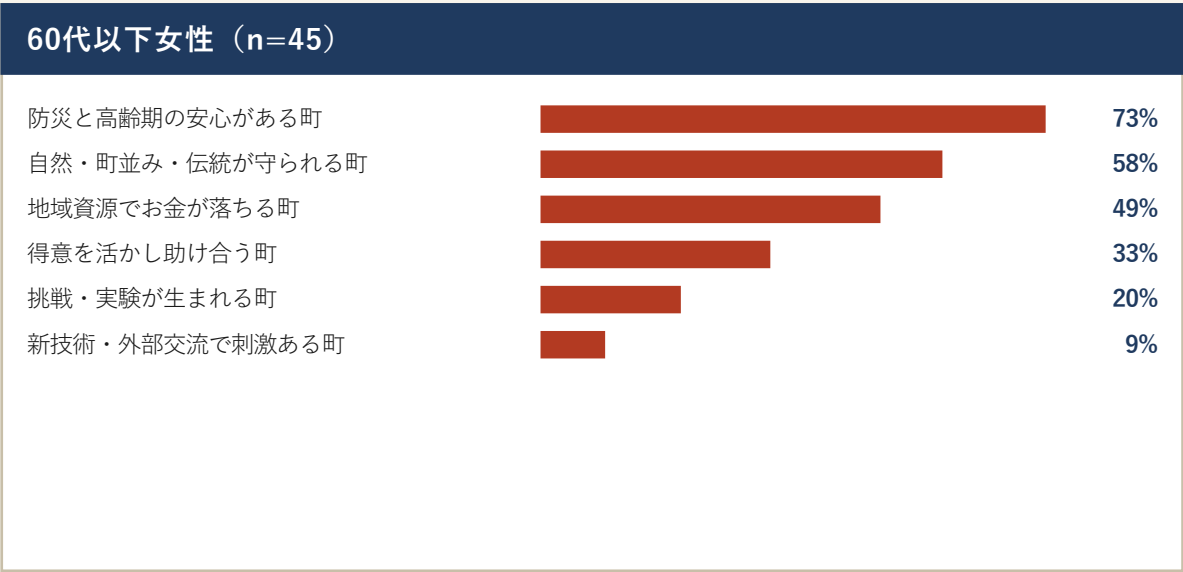
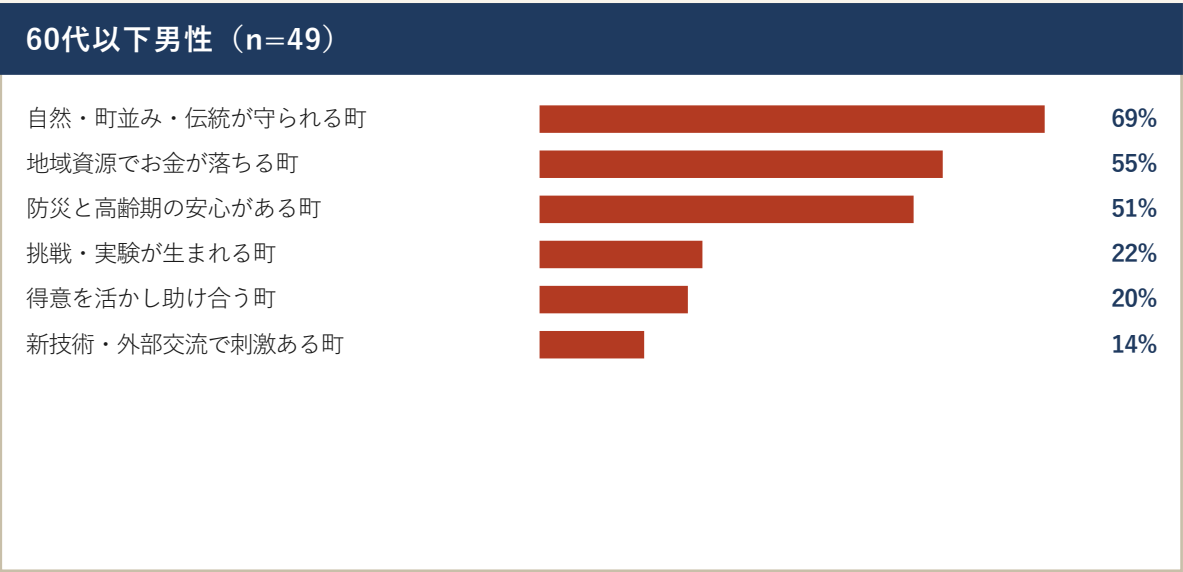
Q16 10年後の鹿野の理想像（中学生・40代以下）

各属性の回答者数に占めるチェック率。回答率5%以上の項目をすべて掲載。



Q16 10年後の鹿野の理想像（60代以下・70代以上）

各属性の回答者数に占めるチェック率。回答率5%以上の項目をすべて掲載。



Q16 10年後の理想像 分析と今後の方向性

この設問の結果から読み取れることと、今後取り組んでいくべき方向性

結果から読み取れること

「自然・町並み・伝統が守られる町」209件と「防災と高齢期の安心がある町」206件がほぼ並んで最多。

「地域資源でお金が落ちる町」は159件で、特に中学生男性72%・40代以下男性74%と若年男性で高い。

「挑戦・実験が生まれる町」は中学生で5割超と突出し、世代が下るほど変化への期待が強い。

「新技術・外部交流で刺激ある町」は中学生男性51%に対し70代以上は1割前後で、最も世代差が大きい。

今後取り組んでいくべき方向性

保全（景観・伝統）と安心（防災・福祉）を計画の二本柱として明確に位置づける。

地域資源の収益化は若年層の期待が高い分野であり、実験的な小規模事業から着手する。

中学生・若年層が主体となる「挑戦の場」を制度化し、失敗を許容する小さな予算枠を設ける。

新技術・外部交流は世代差が大きいため、高齢層には対面の学びの場を並行して用意する。

総括 調査結果からの示唆と今後の方向性 1／4

全設問を通じて読み取れることと、鹿野まちづくり計画で取り組むべき方向性。

① 共有された「守りたいもの」

城跡公園の桜（全属性8～9割）と鹿野祭りは、世代・性別を越えた共通の価値。計画の中心軸に据えられる。

「城下町の街並み」「お堀端」など歴史的景観への支持も厚く、景観保全は合意形成しやすい領域。

Q16でも「自然・町並み・伝統が守られる町」が最多で、保全志向は全世代で一致している。

② 最大の不足は暮らしの基盤

Q12のギャップ上位は買い物・通院(1.10)、移動手段(1.04)、農地山林(0.97)、雇用(0.92)。

いずれも重要度が高く満足度が低い「最優先で手を打つべき」領域である。

防災（重要度3.52で最上位）と雪対策も満足度が追いつかず、満足度ワースト10でも雇用・移動手段・買い物が全世代で下位に並ぶ。

③ 世代で異なる情報と関心

情報経路は回覧板・新聞（高年代）とインスタ・検索（40代以下）、掲示物（中学生）に三分される。

中学生は「挑戦」「新技術」「変化する仕組み」への期待が突出し、既存の運営への不満も示す。

同じ内容を複数経路で届ける運用と若年層の意思決定参加が鍵。40代以下は「住民の学びの場」、中学生は「広報紙・回覧板」の重要度が最下位で、既存の伝え方が届いていない。

総括 調査結果からの示唆と今後の方向性 2／4

全設問を通じて読み取れることと、鹿野まちづくり計画で取り組むべき方向性。

④ 参加意欲と障壁

「興味が合えば手伝いたい」140件に対し、障壁は時間不足133件、役員・ノルマへの不安99件。

意欲はあるが仕組みが受け止めきれていない状態であり、参加設計の見直しが最も費用対効果が高い。

中心メンバー志望は貴重な核。手話サークル、防災の連携強化、子どもキャンプ、郷土史の芝居など具体案も挙がっており、個別の伴走支援で形にする。

⑤ 今後の重点方向

第一に生活基盤(買い物・移動・防災・雪)、第二に景観と祭りの継承、第三に参加しやすい仕組み。重要度が全属性で低い分野は縮小・統合し、資源を振り向ける。

短時間・単発で参加できる役割設計と、託児・見守りの併設を標準にする。

中学生を含む若年層の参加枠を制度として確保し、10年後の担い手を今から育てる。学びの場は趣味中心から、地域課題の解決に必要な社会教育へ重心を移す。

⑥ 進め方

本調査（回答総数322件・うち属性が特定できた有効回答317件）の8分類クロス集計を基礎資料とし、施策ごとに対象属性を明示する。

取組の進捗を定期公開し、次回調査で満足度の変化を検証する。

回答が少なかった周辺集落には、別ルートでの意見収集を補う。

総括 調査結果からの示唆と今後の方向性 3／4

今後の推進体制と、住民の関わり方の設計について。

⑦ 今の体制では実現できない

Q12で多くの住民が必要を感じている領域（買い物・通院、移動手段、防災、農地・山林）は、現在の体制のままでは実行できない。

分野ごとに関係する組織を棚卸しし、役割分担を整理する。重複する場合は統合して効率化を図る。

専従の有給職員を確保し、地域内で「手伝ってもいい」と考えている人たちにタスクを振り、進行管理する存在が必要。

⑧ 役を押し付けない関わり方

一度ボランティアで関わると役を押し付けられ、負担や責任が増えることへの忌避感が強いことがQ15で明らかになった。

本人が「やりたい」という気持ちを示した場合を除き、担当への任命や役の付与はなるべく避ける。押し付けられれば従来型の地域の圧力になる。

興味・好奇心・実利に沿った設計で、ライトに関わる入口をいくつも用意する。活動日を知らない、声をかけられていない、時間帯が合わないという障壁を、告知と個別の声かけで解く。

⑨ 仕組みづくりと裾野の拡大

専従職員の役割は自ら動くことではなく、町の人たちや隠れた資源が自発的に動き続ける仕組みをつくり、調整し、実行する。

人材育成、社会教育、自治をベースにした社会システムづくりを中長期の柱に据える。社会教育は交通・防災・空き家・AI活用など重要度の高い課題に直結するテーマを中心に置く。

桜や祭りは全属性が残したいものだが、守る活動をしている団体は広がり欠ける。Q13では料理・イベント・子ども・防災・歴史など幅広い分野で得意や意欲を示す住民が多く、募集の仕方を工夫すれば裾野は広げられる。

総括 推進体制と資源配分 4／4

誰が担い、誰が回し、どこに人と資金を振り向けるかという体制の設計。

⑩ 有給職員が担うべき役割

「興味が合えば手伝いたい」は140件、Q13でも得意分野や意欲を示す住民が多い。ボランティアで動ける人は各分野に確かに存在している。

有給の専従職員の仕事は自ら作業を抱えることなく、担い手の把握とマッチング、日程調整、声かけ、進行管理といったマネジメントである。

募集の型、活動記録、引き継ぎを整え、担当者が代わっても動き続ける仕組みをつくることを職員の主業務に位置づける。

⑪ 担い手が集まりにくい重点分野

買い物・通院、移動支援、農地・山林、雪対策、高齢者支援は重要度が高い一方、Q13での言及は少なく、住民の善意だけでは埋まらない。

この領域まで職員が自前で抱えるとすぐ手一杯になり、本来のマネジメント業務まで止まってしまう。

アルバイト雇用や外部委託でマンパワーを確保し、職員はその財源確保と管理・進行に注力する体制に切り替える。

⑫ 財源と資源の振り向け方

既存事業を棚卸しし、重要度が低い分野の予算と人手を、生活基盤の課題と課題解決型の社会教育へ再配分する。

交付金・補助金、企業版ふるさと納税、地域おこし協力隊などの外部資源は、雇用とマネジメント人件費に充てる。

学んだ人が担い手として戻る循環をつくる。交通・防災・空き家・AI活用など課題に直結する社会教育を人材育成の柱に据える。